

^{ムイ}森^{カジ}ヌ風 Spo-Park 構想

令和 6 年 3 月

豊見城市

目次

はじめに.....	1
構想策定の背景・目的	1
1. 各種調査の結果概要	2
(1) 市民アンケート	2
(2) 障がい者アンケート	3
(3) 利用団体・スポーツ関連団体アンケート	3
(4) 中央公民館利用者アンケート及び管理者ヒアリング	3
(5) 社会福祉センター利用者アンケート及び管理者ヒアリング	3
(6) その他施設管理者等アンケート	3
2. 本市のスポーツ施設等に関する課題	4
(1) 前提条件	4
(2) 新規利用の増加	4
(3) 恒常的利用の促進	4
(4) アクセシビリティの向上	4
3. 森×風 Spo-Park エリアの将来像及び基本方針	5
(1) 前提条件	5
(2) 森×風 Spo-Park エリアの将来像	5
(3) 将来像の実現に向けた基本方針	6
4. 森×風 Spo-Park エリア内のゾーニング	7
(1) ゾーニングの整理	7
5. ゾーン別に想定される機能イメージ	9
(1) スポーツゾーンに集積される機能イメージ	9
(2) ウェルネスゾーンに集積される機能イメージ	12
(3) ビジネスゾーンに集積される機能イメージ	13
(4) 憩いゾーンに集積される機能イメージ	13
(5) その他全体共有の機能イメージ	14
6. 森×風 Spo-Park 構想エリアの設定及びエリア内ゾーニング配置案の作成	15
(1) 各機能の機能相関図	15
(2) 施設整備に関する事業者ヒアリング調査の実施	16
(3) 各エリアのゾーニングの検討	21
7. 導入機能案の事業手法の検討・整理	22
(1) 想定される整備内容	22
(2) 民間活力の導入範囲の整理	23
(3) 想定される事業手法・スキーム案	24
(4) 民間活力の導入に関する事業者ヒアリング調査の実施	28
(5) ヒアリング調査結果を踏まえた事業手法の検討	32
8. 実現方策の検討	34
(1) 事業スケジュール	34
(2) 事業実施に向けた課題	35

資料編	38
（１）各種調査の全体像	38
（２）市民アンケート調査の結果	39
（３）施設整備に関する事業者ヒアリング調査結果	83
（４）民間活力の導入に関する事業者ヒアリング調査結果	91
（５）本構想の策定体制	110
（６）本構想の策定経過	111
（７）策定懇話会及び施設整備検討委員会名簿	113

はじめに

構想策定の背景・目的

本市では、これまでに市民の健康増進やレクリエーション、交流の場として、屋内スポーツ振興の核となる市民体育館や陸上競技場、瀬長島野球場、総合公園庭球場、豊崎にじ公園庭球場、豊崎海浜公園庭球場、総合公園水泳プール、与根体育施設などスポーツ施設の整備を行ってきました。

しかし、第5次豊見城市総合計画で掲げる「スポーツコンベンションの推進」や「多彩なスポーツ事業の実施」、スポーツ・レクリエーションを通じた「健康づくり」「介護予防の推進と生きがいづくり」「新たな観光プログラムの展開」等の充実を図るためには、本市が所有する各種スポーツ施設の更なる充実を図っていくことが必要です。

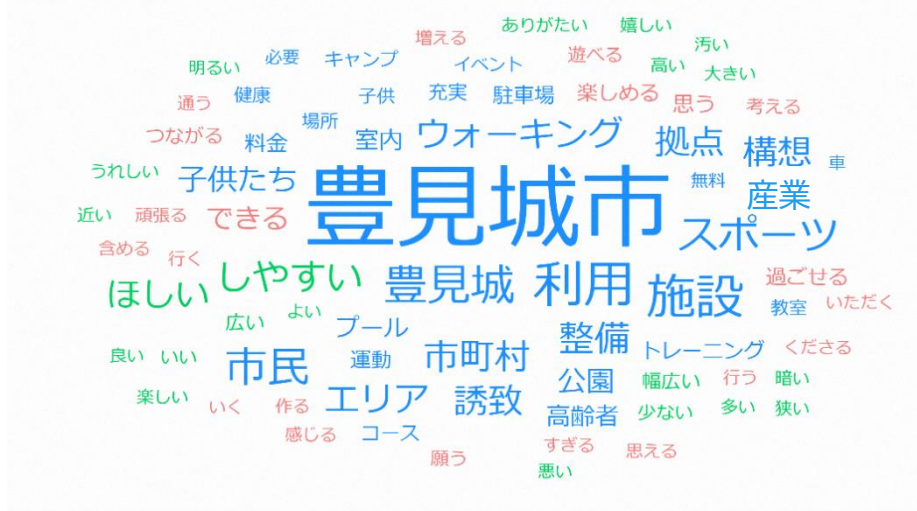
このような背景を踏まえ、豊見城総合公園を中心としたエリアを対象区域とし、スポーツとヘルスケア・医療等を通じたまちづくりに加え、経済の活性化等を図るため、基本的な考え方や方向性を示すとともに、その実現に向けた事業手法や事業スケジュール等を整理した基本構想を策定します。

構想策定にあたっては、市民や障がい者、利用団体等へアンケートやヒアリング調査を実施し、本市のスポーツ施設等に関する課題を抽出・整理し、課題解決を図るための将来像を以下のように定め、この将来像の実現に向けた基本方針をそれぞれ整理しました。

本構想の将来像

「スポーツでつなぐ ひと・にぎわい・みどり彩る ^{とよ}響むまち」

また、将来像と基本方針に基づき、エリア内におけるゾーンの設定、想定される機能を整理し、ゾーニング配置案を検討しました。さらに、事業者ヒアリングによる意見聴取等を行い、これらの結果を反映し、具体的な整備に関して事業手法や実現方策について検討・整理を行いました。



1. 各種調査の結果概要

本構想策定にあたり、各種調査を実施しました。それぞれの結果を以下に整理します。

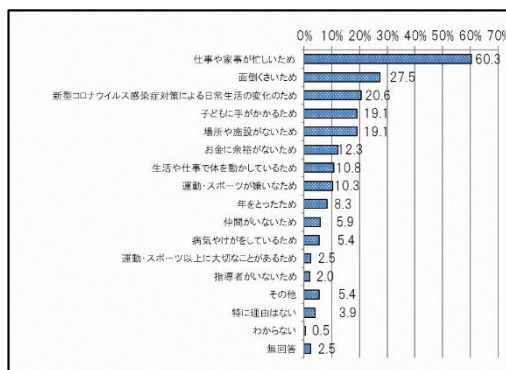
(1) 市民アンケート

① スポーツの実態について

運動不足を感じる割合が高いものの、一方で健康状態や体力の状況は悪くないと自覚している割合が高いため、運動やスポーツに対する動機付けは、健康効果以外のアプローチが必要な可能性があります。

ウォーキングやランニング、自転車等個人で自由に楽しみやすいスポーツの割合が高くなる傾向にあります。その他競技の傾向では、ゴルフ系をグラウンドゴルフに合算すると自転車を上回る割合になり、県や市の特徴と言えます。

週1日以上スポーツ実施率は56.0%と県による調査（県民の体力・スポーツに関する意識調査）の58.3%（R3）とほぼ同程度の水準でした。スポーツの阻害要因はメンタル的な側面によるところが大きいため、潜在的な利用者を新規獲得するためには施設・設備の機能性よりも気軽さや楽しさ等のアピールが有用であると考えます。



スポーツ観戦については、オリンピックイヤーであったことを踏まえ、オリンピック系の回答を除外すると、プロバスケットボールや学生スポーツの割合が高く、特に学生スポーツの観戦対象化は地域の強みであると言えます。

② 公園の利用状況やニーズについて

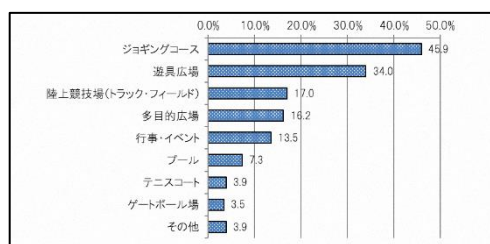
公園の利用状況をみると、市民のスポーツ実施率に比べ公園利用率は低いですが、「日常的に運動をしているが、公園は利用したことがない層」の存在をポテンシャルと捉えることもできると考えます。

さらに、陸上競技場やプール、テニスコート等の社会体育施設以外の機能の使用頻度が高いことからスポーツの場としてではなく、純然たる“公園”として市民に認知、利用されている実態が伺えます。

導入機能に関するニーズではヘルスケア機能が最も高くなっています。また、住民が直接的に恩恵を享受する機能ではないコンベンション機能でも一定程度ニーズが確認できアウトリーチ展開の可能性も残す結果となりました。

ソフト事業展開のニーズに関しては、イベント開催が比較的高く、誘客効果が期待できる結果となっています。その他教室系に関しては、手軽さが前提条件となります。

重要視すべき項目は市民の健康増進が最も高くなっています。



(2) 障がい者アンケート

公園に対する不満は、駐車場に関する回答が市民アンケート結果よりも高い結果となっています。具体的な施設や機能としてのニーズでも駐車場が最も高いことと併せて鑑みても、障がい者（特に本アンケート回答者は全員が肢体不自由）にとって、交通手段としての車の重要度が高いことが伺えます。同様に歩行環境に対する不満の割合も高くなっています。

ソフト事業展開に関するニーズでは「リハビリ教室等」や「園内でのイベント開催」でポジティブな回答割合が高い結果となりました。

森×風 Spo-Park エリアの在り方においては、公園内のエリア分けが重要視されており、設備の充実が図られるのであれば利用料金負担が相応に高くなっても構わないという意見が多いことが確認できます。

(3) 利用団体・スポーツ関連団体アンケート

陸上競技場におけるタータンや芝生等、近年の整備については評価を得ておりますが、より高い競技レベルの団体の視点からすると土壌（硬質さ、水はけの悪さ）に不満が残る結果となっています。また、附帯施設の老朽化に関する不満（耐震面への不安、衛生面での不満）も大きく、既存設備の改善点のほかに、付加すべき機能としてはトレーニングルームやミーティングルーム、観戦環境の充実に関するニーズが高くなっています。



(4) 中央公民館利用者アンケート及び管理者ヒアリング

サークル活動のフィールドとして市内外から利用者が訪れており、多くが女性の利用者です。施設全体的な満足度としては低くないものの、個別要望としては、手続きの簡素化やクーラー代の値下げ、トイレの洋式化のニーズが高くなっています。

これに対し管理者ヒアリングからも空調の老朽化等の問題意識が確認されており、空調の機能性は快適性に留まらず、湿気による躯体の消耗にも影響するため、設備の更新が喫緊の課題です。

(5) 社会福祉センター利用者アンケート及び管理者ヒアリング

会議・研修、サークル活動のフィールドとして活用されており、ほとんどが60歳代以上の高齢者による利用です。施設全体的な満足度としては低くないものの、個別要望としては、老朽化への対応や車両動線の整理（出入り口の混雑）に関するニーズが見受けられます。

管理者ヒアリングでは、設備の劣化で修繕費が多額である課題が確認されたほか、今後の施設整備は、必要な機能や場所を担保したうえで行政との一体的な整備に賛成されています。

(6) その他施設管理者等アンケート

その他の公園や空手会館等スポーツ施設、その他観光施設等との施設間連携の可能性については、それぞれで機能性を補完しあい地域としての総合力を高めることや、連動性を高めるための拠点間における交通施策の必要性が意見として挙がり、その第一歩として情報共有による現況の整理及び整理情報の対外的な発信について連携可能であるとの回答が多く伺えました。

2. 本市のスポーツ施設等に関する課題

(1) 前提条件

陸上競技場を中心としたサッカーキャンプ、陸上競技合宿等の受入促進によるスポーツコンベンション実施の機運の高まりや、天然芝等整備された社会資本を活かしつつ、公園全体の機能向上等の見直しを図っていくことで、スポーツコンベンション以外にも地域住民利用、また趣味や健康増進としてのライトなスポーツから、トップアスリートによる本格的なスポーツまで、競技レベルに依らない多様な主体が集い活躍するスポーツ交流拠点としての再形成を目指すための本構想です。

また、これらの実現化方策として、整備から運営までの各フェーズで民間活力を導入してることが有用ですが、そのような民間参入を促すためにもエリアの創出を通じエリアの面的な魅力や価値を高めることによって市場性が高まっていくストーリーを描く必要があります。

したがって、ここで整理すべき“課題”は、“今後の公園や公園内施設の利用促進を図り、人流や往来を生み出していくために必要な考え方・方策”であるものとします。

(2) 新規利用の増加

約半数が公園を一度も利用したことがないと回答していますが、本市における運動・スポーツ実施率 56%（月に数回まで含めると 70.6%）を鑑みると、“習慣的に運動・スポーツをしているがこれまでに公園を利用していない層”が一定数見込まれ、このような未利用層の取り込みに向け、公園で運動することの価値や魅力を創出すること、そのためのニーズへの対応と阻害要因の除去を進める必要があります。

具体的には、20 歳代、50～60 歳代、女性等の層で利用が少ない状況ですが、当該層のうち 50 歳代におけるヘルスケア機能のニーズが高いことから、ヘルスケアにつながる教室やイベントの展開が新規利用の増加に効果的であることが考えられます。

(3) 恒常的利用の促進

公園利用が月 1 回未満のペースであるという回答が約 3 割を占めており、満足度の向上に向けた施設の改修・更新や新設、定期的に通ってもらう仕掛けの創出により低利用層の取り込みが必要です。具体的には、既存利用者層は定期的な無料スポーツ教室機能のニーズが高いことから、これらの展開が利用頻度の向上や恒常的利用の促進に効果的であることが考えられます。

(4) アクセシビリティの向上

(1) の前提に基づき、多様な主体のための拠点とするためには設備や機能の複合が想定されますが、無秩序に多様な要素を付加すると、異なる利用者層の共存が難しくなったり、エリアとしての位置づけや使い方が煩雑化し利用者の混乱につながったりする懸念があり、ひいては利用が阻害される要因にもなり得ます。

したがって、ゾーニングの設定やエリア拠点に関する情報整理・発信、物理的なアクセス利便の向上等により、全ての人に開かれたエリアとする必要があります。

3. 森々風 Spo-Park エリアの将来像及び基本方針

（1）前提条件

本市における総合計画や都市計画マスタープラン、健康とみぐすく 21、みどりの基本計画等の上位・関連計画では、スポーツ行政や公園行政に関して以下のような記載があります。

以下に示す本構想の方針におきましても、これらの考え方と整合性を図るものとします。

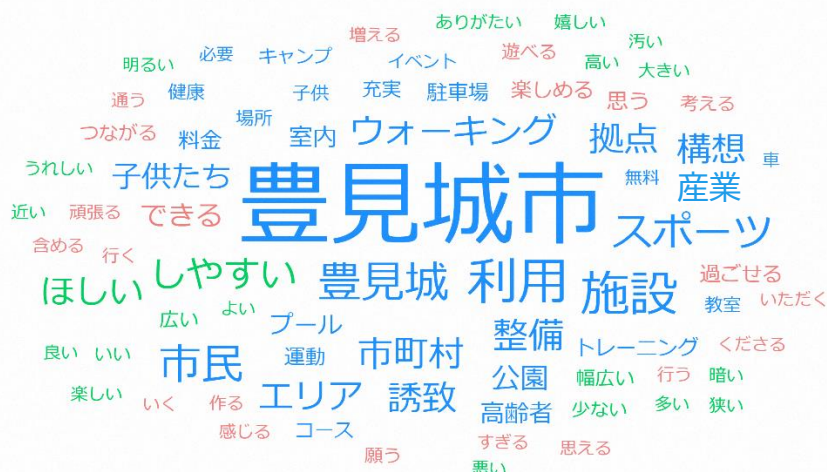
また、以降の整理については、スポーツまちづくりにおける区分¹に基づいて整理するものとします。

インナー 施策	運動施設の利用促進に向けた情報提供等、健康を支える社会環境の整備とともに、スポーツ大会や教室の開催を行います。 市街地内の避難地不足のため、適地に防災公園の機能を持つ公園を配置します。
アウター 施策	スポーツ合宿等の積極的な受入れなど、スポーツの視点から地域の活性化につながる多様な施策検討に努め、施設の充実や誘致活動等に取り組み、経済的効果・競技力の向上を目指します。
ハード 施策	豊見城総合公園は、スポーツ施設が充実しており、市民が身近に訪れる「緑の拠点」として、適切に管理し充実を図ります。また、災害時は、市街地の避難スペースとしての役割が求められ、防災公園としての機能の整備を図ります。 隣接の中央公民館は、規模の適正化や複合化等、生涯学習活動拠点として整備・充実を検討します。

（２）森×風 Spo-Park エリアの将来像

市民アンケート等から明らかになったニーズを踏まえて、本エリアの将来像を以下のとおり設定します。

スポーツでつなぐ ひと・にぎわい・みどり彩る とよ響むまち



¹ インナー（住民の健康増進、スポーツクラブの運営等を通じた地域住民向けの取組）、アウター（スポーツツーリズム、国際交流、プロスポーツ等を活用した地域外から誘客を図る取組）、ハード（スポーツ施設の整備、Walkable City の推進等の取組）

(3) 将来像の実現に向けた基本方針

各種調査結果等から導かれる森×風 Spo-Park エリアに求められる場所や空間の在り方、使われ方の方向性について以下のとおり整理しました。なお、これら基本方針のもと、DX（デジタルトランスフォーメーション）及び GX（グリーントランスフォーメーション）の視点を踏まえた整備を検討します。

① 公園・スポーツ環境としての在り方

インナー 施策	● 手軽に参加できるソフト事業の展開 ● 同行者・随行者・送迎者も楽しめる空間 ● 既存スポーツ関連施設との連携 ● イベント等の開催 ● 子どもから高齢者まで利用できるスポーツ施設 ● 利便性向上のための施設集約 ● 通念的な利用動向の平準化 ● 市民の優先利用 ● 市民が安らぐ空間
アウター 施策	● ノンプロ・プロ共有で使える場所 ● 観戦環境の整備 ● イベント等の開催 ● 国内外から誘客可能なスポーツツーリズム拠点
ハード 施策	● 既存施設の除却・移設等を含めた検討 ● プールの在り方の見直し（50m であることの有用性精査、屋内化検討） ● 維持管理費の原資を稼ぐ収益施設 ● アクセス対策 ● 誰もが使用できる場所 ● 市民がやすらぐ空間（公園等）の創出の検討

② 公園・スポーツ以外の視点

インナー 施策	● 食事等スポーツ実施以外からの健康・ヘルスケアへのアプローチの展開 ● 衛生的なサニタリー
アウター 施策	● 食事等スポーツ実施以外からの健康・ヘルスケアへのアプローチの展開 ● 滞在したくなる環境
ハード 施策	● 既存施設の移設等を含めた検討 ● 上記に伴い空いた土地のクラブハウス・スポーツコンベンション等機能による利活用可能性の検討 ● 利用者負担の肥大化しない施設管理

③ 市域一体的なエリア戦略

インナー 施策	● 市域全体での機能すみわけ ● 森×風 Spo-Park エリア内でのゾーニング及びゾーン別コンセプトワーク
アウター 施策	● コンセプトや機能ごとのブランディング及び対外的な発信 ● 森×風 Spo-Park エリアまでの交通アクセス施策の検討

④ 県域一体的なエリア戦略

他自治体を持つ機能について、積極的な活用を図ることで、県域全体での機能すみわけを行います。

4. 森々風 Spo-Park エリア内のゾーニング

(1) ゾーニングの整理

基本方針として整理した各種在り方を踏まえ、求められる機能や設備をより具体化していくうえで、類似性・親和性のある機能を集積させたゾーンを複数設定するものとします。

① ゾーン1：スポーツゾーン

コンセプト “楽しさ”を創出するスポーツゾーン

総合運動公園として、従来からの運動の場の機能に加え、高付加価値化することにより、トップアスリートから市民等利用者の多様なニーズを量的・質的に満たすことのできるエリア内の中心ゾーンとして据えます。

スポーツ本来の意味はレジャーやレクリエーションであり、自主性を持って楽しむために行うものです。スポーツ基本法にも示されているとおり、「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利」であることから、誰もがスポーツを楽しむことができるゾーンとします。

② ゾーン2：ウェルネスゾーン

コンセプト “元気”を創出するウェルネスゾーン

スポーツとヘルスケア・医療等の相乗効果を図ることで、市民等のウェルネスの向上を目指すゾーンとして捉えます。

ウェルネスとは「よりよく生きようとする生活態度」です。良好な状態である心身の健康や、生活環境、社会的環境を基盤とし、自分が望む生き方やライフスタイルデザインを確立させ、自己実現に至ることに重きを置き、疾患や障がいの有無等、病気であるか否かだけに依らず、健康を手段とし、生き生きと輝く人生を目指す姿勢や志向、概念のことです。

単に身体的な健康を目指すための手段であるヘルスケアやメディカルケアという範疇に留まらずより広義に住民の“元気”のためのゾーンとします。

③ ゾーン3：ビジネスゾーン

コンセプト “賑わい”を創出するビジネスゾーン

スポーツの持つ力や地域資源等を活用することにより、本市の新たなブランドの創出やブランド力の向上を図り、経済の活性化につながるゾーンとして捉えます。

スポーツを目的とする人、公園で遊ぶことを目的とする人のための従来の、限定的な使われ方にとらわれず、幅広い人のニーズを満たす多様なサービスが展開される空間として人の往来、“賑わい”をつくりだすゾーンとします。

公園利用者やその同行者等が寄って消費行動をする、商業施設利用者が運動に興味を抱く等、それぞれの機能性のターゲットを相互に促す好循環を構築します。

④ ゾーン４：憩いゾーン

コンセプト “安心”を創出する憩いゾーン

人々のレクリエーションの空間、良好な都市景観・都市環境を構築するための純然たる公園機能を核とするゾーンとします。防災拠点等を付加することでより多目的・多用途に資する空間とします。

5. ゾーン別に想定される機能イメージ

(1) スポーツゾーンに集積される機能イメージ

① スポーツ教室等の機会・場所

市民のスポーツ実施率向上に向け、これまでスポーツをしていない層がスポーツを気軽に始められるよう、またスポーツが習慣化していない層が手軽にスポーツを継続できる機会を創出し、誰もが親しみを持ってスポーツに接することができるスポーツ教室やイベント等ソフト事業が展開されるような空間とすることが考えられます。

② ユニバーサルデザインの導入

“誰もが”スポーツをできる環境の実践として、子どもから高齢者まで、レクリエーションから競技スポーツまで、健常者でも障がい者でも、快適にスポーツをすることができるような施設や空間とすることが考えられます。また、スポーツをする目線のみならず、“観る”視点からも施設利用者が不自由なく行動できる動線の整備や阻害要因の除去等が求められます。



出典：岡山県総合グラウンド HP

③ 大型スポーツコンベンションが開催可能な設備

プロやアマチュアスポーツの合宿・キャンプをはじめ、スポーツ大会やイベントなど、利用料収入や観戦料等の収益が期待できる大型のスポーツコンベンションが開催・誘致できるよう、対応競技種目におけるより高い規格基準を完備することが求められます。駐車台数等のキャパシティも、後述する平時の市民利用における快適性を満たす余力以上に、イベント時にも耐え得るキャパシティの確保や工夫が必要となります。



④ プロクラブチームによる利用を見据えた施設基準の完備

J 3 規格を（将来的な J 2 規格への対応も）満たすことで、沖縄 SV のホームグラウンドとして、シーズン中には平時からトップアスリートのプレーが観ることができ、オフシーズンには③のスポーツコンベンションとして様々なチームの利用を誘致できるような施設とすることが求められます。

さらに、その高水準の施設は、市民を中心にノンプロの競技者の方々も利用ができるようにし、効果的に稼働させる必要があります。

参考事例：FC 今治の里山スタジアム（愛媛県今治市）

サッカースタジアムを中心とした、試合開催日のみならず 365 日、人が集い、にぎわいを生み出す、地域に開かれた「新しい公共の場」をつくるプロジェクトです。

周辺の自然景観と一体となった緑豊かなスタジアムはコンサートやカルチャースクール、ホテルや福祉施設など、ドキドキワクワクするヒトモノコトが集う場所として運営され、世代・性・国籍・障がいの有無を問わず、背景や習慣の違いを超えた誰もがアクセスでき、それぞれの心の拠り所となる空間を目指しています。

年月を重ねるごとに豊かに成長し、多様性と可変性に満ちた「地域で育てるスタジアム」は、人と自然とともにあり続けることをコンセプトに現在もプロジェクトが進行中です。



出典：FC 今治 HP

⑤ トップアスリートの人材育成可能な場

④による施設の高質化を活かし、青少年の各種競技力向上のための取組を強化し、市内からトップアスリートを輩出すべく、市内各種競技団体や周辺施設と連携した取り組みが求められます。

⑥ 多様な附帯施設²

既存または新規に整備される体育施設においては、トレーニングセンター機能や、事務室・会議室・放送室等のコンベンションに資する附帯設備、シャワー室・更衣室・トイレ・医務室等の衛生のための施設、トレーニング室や 100m トラック、棒高跳が可能な屋内競技場等スポーツを補足するサブ機能、快適な観戦環境としてのスタンド等、多様な附帯施設・設備を設けることが考えられます。

² 同一体育施設内（例えば陸上競技場内）に附帯するものとして

⑦ 高機能設備のプロスポーツ等閑散期の一般開放

トップアスリートの来訪が減少する閑散期においては、一般利用者に同設備を利用開放する等、稼働率や収益性を維持するための施策が考えられます。

(2) ウェルネスゾーンに集積される機能イメージ

① トレーニング・リカバリー施設（ヘルス・メディカルケア）

再生医療等のクリニック・リハビリ施設・スポーツトレーナー在中トレーニング施設等を完備したリカバリー施設を設け、特にプールを活かし、水中における負荷の少ないトレーニングや温水との交代浴によるリカバリー等の展開が考えられます。

参考事例：高原ゆ（山形県上山市）

アスリートがトレーニングを行う山形県上山市の蔵王坊平アスリートヴィレッジの敷地内にあり、地下 1,000 メートルから汲み上げた源泉を使用した温泉、サウナの本場フィンランドの「セルフロウリュ」が味わえる湿式サウナ、流水機能のあるプール、最新の酸素カプセルなど、本格的なケア設備が整備されています。

周辺にはスキー場やキャンプ場もあり、アスリートだけではなく一般の方も気軽に利用できるのもポイントのひとつです。



出典：高原ゆ HP

② ウォーキングコース及び軽運動施設（ウェルネスケア）

現在、最も利用が多いジョギングコースの充実を図り、歩きたくなる・走りたいくなるしつらえを新たに、気軽にスポーツできる環境を向上させるほか、コース外でもノルディックウォーク等の“楽しむ”ことに重点を置き、理学療法的観点のみならず心の豊かさやリフレッシュにつながるような“ウェルネス”コンテンツの展開が考えられます。



出典：PARKFUL HP



出典：アソビュー！ HP

③ 食事等スポーツ以外からのアプローチ（ヘルス・ウェルネス）

心身の健康、元気のために、食事指導やヨガ（ストレッチ側面ではなくメンタルコントロール面での）等、体を動かすこと以外からのアプローチの展開が考えられます。

(3) ビジネスゾーンに集積される機能イメージ

① 飲食・物販等商業機能

カフェ・レストラン等の飲食店や商業施設、宿泊施設、スポーツ・ヘルス関連事業など、民間事業者等との連携により、スポーツや公園利用の来訪者が本来の目的とは別に消費行動を可能とする機能を整備することが考えられます。このほか、子育て支援施設などにより、来訪者がより安心してスポーツや公園利用できる機能が確保できるよう検討する必要があります。



出典：VISON HP（三重県）

② 音楽・文化イベントに対応可能な機能

イベントスペースや音楽鑑賞や観劇のためのホールの確保など、スポーツ・体育以外の使途に対応可能な空間・場所を設けることで、より多様な来訪者を誘引することを図る必要があります。

③ 会議室

スポーツコンベンションに係る会議以外でも、多目的に使用可能なカンファレンススペースを設けることが考えられます。これまでの公民館や社会福祉協議会が果たしてきた機能性を踏襲する場とすることが求められます。

(4) 憩いゾーンに集積される機能イメージ

① 公園空間

子育て世帯等の利用も多い本エリアにおいて、公園遊具や芝生広場、ベンチなど公園空間を確保することで、より多くの市民が訪れる場とすることを目指す必要があります。

② 災害時対応施設・設備

災害発生時においては、市街地の避難スペースの役割が求められます。防災備蓄倉庫やかまどベンチ、ドクターヘリの着陸機能など、防災公園としての機能を整備することが求められます。

また、楽しみながら防災危機管理に触れられる防災イベント等の展開が考えられます。



出典：LED TOKYO 株式会社
HP

(5) その他全体共有の機能イメージ

① 利便性の高い駐車場・周辺道路

市民の公園利用をはじめ、スポーツコンベンションや音楽イベントなど、多くの来訪者を受入可能とする駐車場機能を整備することが考えられます。併せて、周辺道路の環境整備に努め、より快適な交通アクセスの実現を目指す必要があります。

② 誰もが通えるための交通アクセス手段

①のほか、公園から遠方エリアに居住する子どもや高齢者等いわゆる交通弱者でも当エリアにアクセスできるよう、公共交通施策等との横断的な対応が必要です。

6. 森々風 Spo-Park 構想エリアの設定及びエリア内ゾーニング配置案の作成

(1) 各機能の機能相関図

「5. ゾーン別に想定される機能イメージ」を可視化した機能相関図は下図のとおりです。

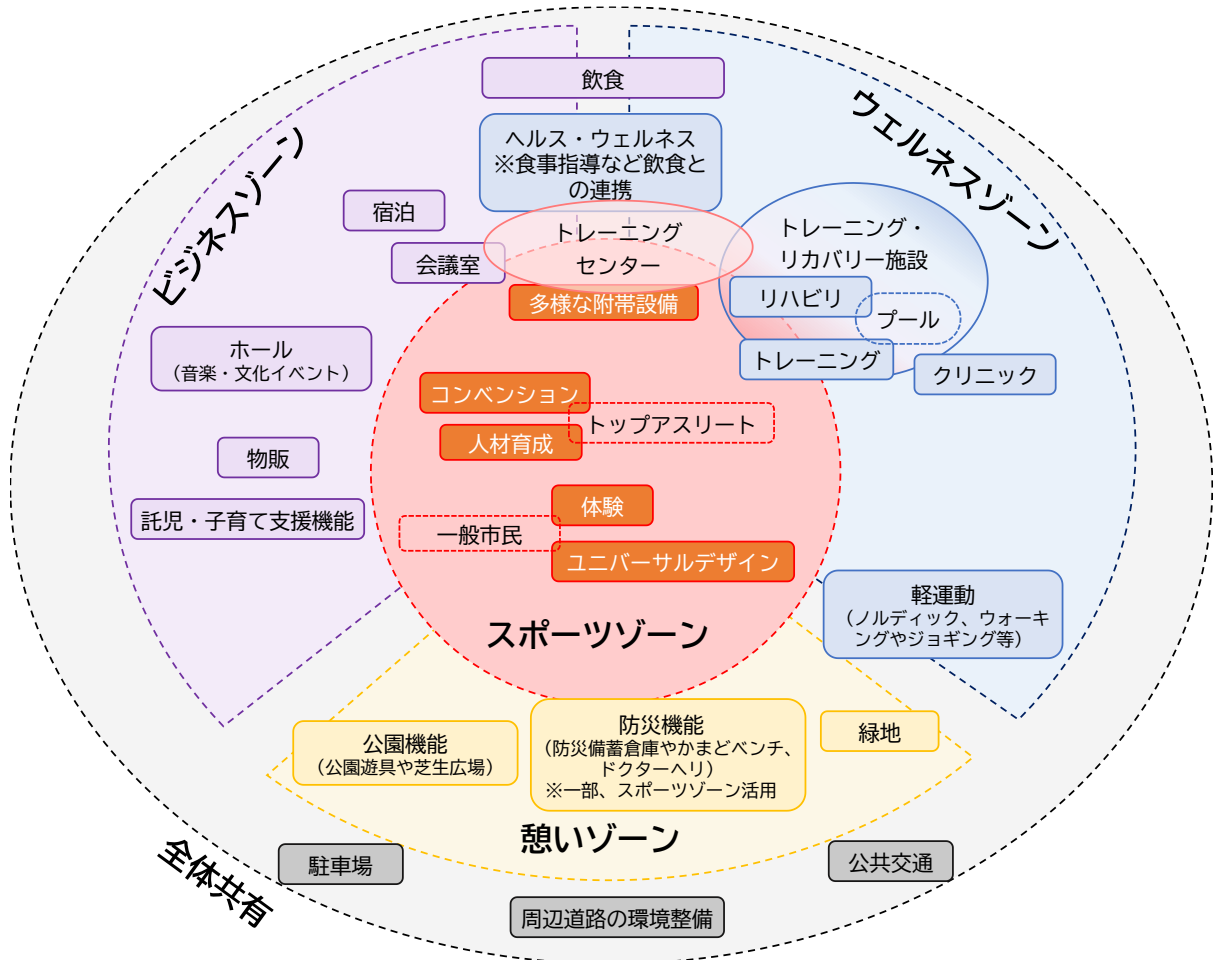


表 機能相関図の考え方

ゾーン	機能相関イメージ
スポーツゾーン	・ トップアスリートから市民等利用者の多様なニーズを量的・質的に満たすことのできるエリア内の中心ゾーン
ウェルネスゾーン	・ スポーツゾーンと連携を図りながら、スポーツとヘルスケア・医療等の相乗効果を図るゾーン
ビジネスゾーン	・ スポーツゾーンやウェルネスゾーンに関連する機能を有し、スポーツ以外の目的での来園者を受け入れるゾーン
憩いゾーン	・ 公園機能を核とし、レクリエーション空間や防災機能を有するゾーン
全体共有	・ 各ゾーンを囲うように駐車場やアクセス道路を配置

(2) 施設整備に関する事業者ヒアリング調査の実施

① 調査目的

「5. ゾーン別に想定される機能イメージ」に示す導入機能のゾーニングを検討するにあたり、近年の民間活力導入事業による複合施設整備や公園施設整備、面的整備における動向、望ましい施設配置、民間収益施設整備の可能性等について、民間事業者の意向を把握します。

② 調査方法

オンラインによるヒアリング

③ 調査の実施時期

令和5年7月～8月に実施

④ 調査対象

調査対象としては、建設事業者3者、不動産事業者2者、設計事業者1者に対して実施しました。

表 調査対象の詳細

建設事業者	不動産事業者	設計事業者
建設事業者 A	不動産事業者 D	設計事業者 F
建設事業者 B	不動産事業者 E	
建設事業者 C		

⑤ 調査項目

- (ア) 対象地の魅力や課題、民間活用における市場価値について
- (イ) 魅力的なエリア整備のアイデア
- (ウ) 来訪者を増やす工夫や導入機能のアイデア
- (エ) 望ましい配置・ゾーニングのアイデア
- (オ) 駐車場の位置や台数、または検討におけるポイント
- (カ) 常時、イベント時での動線確保の考え方
- (キ) 本エリアにおける、民間施設（休養施設、遊戯施設、運動施設、教養施設、便益施設、展望台又は集会所）の併設可能性
- (ク) 近年の複合施設整備や公園施設整備における面的整備の動向
- (ケ) まちづくりに資する整備アイデア

⑥ ヒアリング調査結果の分析

ヒアリング調査の結果を踏まえ、森ノ風 Spo-Park 構想エリアの施設整備に関するポイントを分析します。

■対象エリアの評価

<主な意見>

- 那覇空港や豊見城 IC から近く、アクセス性が高い点は魅力的ですが、整備にあたっては魅力ある施設や目的性のあるコンテンツを整備し、本エリアへの誘導が必要です。また、本エリアだけではなく、周辺施設や地域との連携が必要です。
- 大きな課題として、都市公園のため利活用に制限があり、また、市街化調整区域のため、民間収益施設の建設に制限がかかります。

<整備のポイント>

現状のアクセス性は魅力である一方、今後の整備にあたっては、施設の魅力向上、周辺施設や地域との連携による付加価値の向上等、面的な魅力や価値を高めることが求められます。

■整備アイデアについて

<主な意見>

- スポーツ施設を計画するうえでは人が集まるまちの拠点を想定する必要がある、平時における利用促進のための補完する機能を考える必要があります。
- 市場価値を高めるアイデアとして、スポーツゾーンに人が集まれる施設を整備し、付随してウェルネスやビジネスゾーンを整備することで、周辺ゾーンとの相乗効果による魅力及び集客力の向上が期待できます。
- プロスポーツと一般市民の利用が両立することが望ましいです。ウェルネスやリハビリに用いるような機材等をプロだけでなく市民も使えるような在り方がよいと考えます。
- 市民利用とプロスポーツのキャンプに特化した施設をつくり、付随した施設、マグネットになる施設をつくってもよいと考えます。
- ターゲット層をあまり絞り込まない方が来訪者は増える傾向にあるため、施設利用者の間口を広げ、通年で賑わいをつくる工夫が必要です。
- 駐車場は、多目的広場や防災のための広場等、機能転換できるとよいと考えます。
- プロや専門チームの利用による認知度向上だけでなく、地域の方にも体験してもらったり発信したりできると持続可能性が高まります。

<具体的な施設整備アイデア>

- レジャーやキャンプ、レクリエーションが体験できる施設
- プロチーム向けのクラブハウス（空調付きのロッカールーム、ミーティングルーム、シャワールーム等）
- 合宿施設（合宿所、セミナールーム、会議室等）
- 屋内プール

<整備のポイント>

施設整備内容の検討にあたっては、既存施設の改善・更新のみならず、スポーツを目的としない人々も集まれる拠点となることも念頭に置いた整備内容を検討し、将来的なスポーツ施設の利用者増加を図ることが望ましいです。目的別にゾーン分けするとともに、ターゲットのすみ分け、ゾーン間による相乗効果を見据えて配置検討する必要があります。

施設利用のターゲットについてはプロスポーツチームと一般市民（団体）の両者を対象とし、施設利用者の間口を広げて検討・整備することで、更なる利用促進が期待されます。そのため、興行やイベント時以外でも恒常的な利用に寄与する施設整備、サービス提供も図り、人々を引き付ける工夫が必要です。

■ゾーニングについて

<主な意見>

- 中央（スポーツゾーン）に屋内スポーツ施設を設け、隣接してサブ施設、また周辺には憩いゾーンを設け、ランニングなどを楽しめるように整備するとよいと考えます。
- プールをテニスコートやビジネスゾーンと一体的にする等、ビジネスゾーンとウェルネスゾーンを一体的に整備し、複合施設でまとめて整備してもよいと考えます。
- スポーツよりもウェルネスの色を強くイメージした施設がよいと考えます。
- 各機能をどのように有機的につなげていくかが重要です。
- 中央公民館は老朽化しており、利用頻度が高くなる規模を検討し、コンパクトな公民館がよいと考えます。民間施設との併設も考えられます。

<整備のポイント>

エリアのメイン機能であるスポーツゾーンを中心に、ビジネスゾーン、ウェルネスゾーンを配置することが望ましいです。

また、隣接するゾーン間での機能連携、相乗効果を図るとともに、ウェルネスゾーンについては機能を充実させることで、一般市民の利用促進が期待されます。

■駐車場について

<主な意見>

- 十分な駐車スペースを確保できない場合は立体駐車場の可能性もあります。駐車場を集約して歩行者のアクセス面を検討する必要があります。
- 社会福祉センターの前に立体駐車場をつくるのが一番整備しやすいです。
- 駐車場は分散して配置する方が運用しやすいです。なお、駐車場を有料化にする場合、維持管理側とのバランスを図る必要があります。

<整備のポイント>

集約・分散のどちらにせよ安全面、運営面を考慮して検討する必要があります。

また、現状では十分な台数を確保できていないため、限られた敷地においては立体駐車場の整備も含め効率的・効果的な整備内容を検討する必要があります。

■動線について

<主な意見>

- イベント時は、一般車両とイベントの搬入等に関わる車の動線は分けた方がよいと考えます。可変できるような機能等の考え方が必要です。
- 入口と出口は、本来複数あった方がよいと考えます。

<整備のポイント>

現状、公園への出入口は1箇所ですが、複数箇所設置することが望ましいです。また、興行・イベント時には関係車両と一般車両を分けられるよう、出入口だけではなく、エリア内においても動線を複数整備する必要があります。

■民間施設の併設について

<主な意見>

- スポーツや健康、ウェルネスなど、目指すべきキーワードに沿った施設や機能、集客施設・便益施設を整備し、エリアの価値を上げる機能とすることで、ブランディング等も行いながら稼げるようになると考えます。
- ビジネスゾーンで商業施設を検討するのであれば、集客が見込まれる施設に隣接する方が相乗効果を発揮しやすいです。施設群が緩くもつながり、エリアのコンセプトに合わせた企業を誘致することで市民が楽しめる空間につながると考えます。

<可能性の高い施設>

- ジム等を備えたスポーツ施設
- 健康に関する商業施設や研究施設、オフィス
- 幅広い年齢層に利用いただけるような施設
- 体験型の商業施設や便益施設
- 公民館に併設したキッズスペース（託児的施設）

<整備のポイント>

各ゾーンに関係する施設用途であれば民間施設の併設の可能性はあります。また、集客力の高い施設に併設することで利用者の誘導が期待できます。

スポーツ以外にも一般市民の興味を引き付けるサービスを提供する施設を整備することで、恒常的利用が期待されます。

■複合施設整備や面的整備の動向

<主な意見>

- 民間施設と公共施設との複合化が多いです。
- 民間事業だけではリスクも多く、公的な下支えが必要です。民間に全て負担させると手を上げづらくなってしまうため、市が事業費を確保されたうえで、民間も参加しやすいスキームを検討するとよいと考えます。
- メイン施設をコアに附帯の余剰地をどう活用するか、という視点の整備事例が多いです。
- 民間の発想を求めるだけでなく、公共の努力や意気込みも必要です。

<整備のポイント>

複合化による機能連携や余剰地の活用など、民間事業者による創意工夫を期待した事業が多いですが、民設民営による整備は民間リスクが高いため、一定の市の負担、民間事業者が参画しやすい事業スキームを検討する必要があります。

■まちづくりに寄与する整備アイデア

<主な意見>

- 豊見城市はリゾートのイメージではないため、スポーツ特区にする等のスポーツを強化するまちづくり、また、マイナーなスポーツの底上げのための施設を整備することも望ましいと考えます。
- 生活動線下において市民が使いやすい施設がよいと考えます。
- 市街化区域への編入、あるいは公園区域内での特別に建築制限を緩和する等の対応が可能であると、よりフレキシブルなアイデアが出やすいです。
- 豊見城市内の施設や地域との連携・連動を創出できるとよいと考えます。エリアだけではなく、まち全体で波及効果を生み出す整備を考えていく必要があります。

<整備のポイント>

本市のスポーツ振興に寄与する拠点として市民の利用促進を図るとともに、本市のスポーツブランディングの拠点としても発展させることが望ましいです。そのためには、本エリアだけではなく、地域全体・市全体での連携、波及効果による魅力創出を図る必要があります。

(3) 各エリアのゾーニングの検討

「(2) 事業者ヒアリング調査の実施」の結果を踏まえ、下図のとおりゾーニング候補を設定します。

案	ゾーニング案①	ゾーニング案②	ゾーニング案③	ゾーニング案④
ゾーニング図				
特徴	・ 既設の機能等をもとに4つのゾーンを設定し、既存機能の強化や新たな機能の整備を予定します ・ 「スポーツゾーン」来訪者が「ウェルネスゾーン」内機能を利用、一方「ウェルネスゾーン」来訪者が「スポーツゾーン」内機能を利用するなど、「憩いゾーン」と「ビジネスゾーン」も含め、各ゾーンが連携し合うことで類似機能を補完します	・ 案①に対し、「ウェルネスゾーン」と「憩いゾーン」を入れ替えました ・ 「ビジネスゾーン」内に整備される想定 of 商業施設と、子ども連れ等の来訪が見込まれる「憩いゾーン」を隣接させ、ゾーン間での往来を促し相乗効果を図ります ・ 上記の相乗効果によって収益性向上を図り、商業施設等を運営する事業者の参入可能性を高めます	・ 案①に対し、「スポーツゾーン」と「ウェルネスゾーン」の一体的整備によってウェルネスの特徴を強くもたせ、北側には「憩いゾーン」を大きく確保し、「スポーツゾーン」及び「ウェルネスゾーン」と隣接してランニング等を楽しめるように設定しました ・ 「ウェルネスゾーン」はその他3つのゾーンと類似機能を補完し合うことで、限られた土地を最大限活用できるように設定しました	・ 案③をもとに、当初想定のエリアの南側から饒波地域へアクセスする道路と周辺の土地を本エリアに加え、一帯を「ビジネスゾーン」として設定しました ・ 「ビジネスゾーン」を拡大したことで、民間活力の導入における展開の可能性を広げる案として検討しました ・ 「ウェルネスゾーン」と「ビジネスゾーン」が隣接することで、それぞれに整備する施設間で来訪者の往来を促すなど、ゾーン間の連携を図ります
課題	・ 「憩いゾーン」北西部は斜面地になっており、公園機能として活用方法が限定的です ・ 上記活用方法を検討するにあたって、造成等が必要となる可能性があります ・ 「ビジネスゾーン」における民間活力の導入において用途の変更や地区計画の導入等が必要となる可能性があります	・ 「ウェルネスゾーン」北西部は斜面地になっており、施設整備にあたっては造成等が必要となります ・ 「ビジネスゾーン」における民間活力の導入において用途の変更や地区計画の導入等が必要となる可能性があります ・ 「憩いゾーン」において広場の整備等が必要となります	・ 「スポーツゾーン」と「ウェルネスゾーン」の一体的整備は、既設の陸上競技場を階層式にする等、大規模な改修等が必要となります ・ 「ビジネスゾーン」における民間活力の導入において用途の変更や地区計画の導入等が必要となる可能性があります	・ 当初想定のエリアに含まれない土地（饒波地域内）の買い上げが必要となります ・ 「ビジネスゾーン」における民間活力の導入において用途の変更や地区計画の導入等が必要となる可能性があるほか、斜面地になっているため造成等が必要となります ・ 饒波地域から本エリアへ進入する道路の確保・整備が必要となります

7. 導入機能案の事業手法の検討・整理

(1) 想定される整備内容

「5. ゾーン別に想定される機能イメージ」で示す各機能に対し、想定される整備内容を以下のとおり整理します。

表 ゾーン別の想定される整備内容

整備内容	ゾーン別に想定される機能イメージ	ゾーン				
		スポーツ	ウェルネス	ビジネス	憩い	その他
陸上競技場の整備	(1)①スポーツ教室等の機会・場所 (1)④プロクラブチームによる利用を見据えた施設基準の完備 (1)⑥多様な附帯施設	●				
テニスコートの整備（屋内含む）	(1)①スポーツ教室等の機会・場所	●				
ゲートボール場の整備	(1)①スポーツ教室等の機会・場所	●				
ジョギングコースの整備（軽運動施設）	(2)②ウォーキングコース及び軽運動施設（ウェルネスケア）		●			
公園空間の整備	(4)①公園空間				●	
災害時対応施設・設備の整備	(4)②災害時対応施設・設備	●	●	●	●	
トレーニングセンターの整備	(1)③大型スポーツコンベンションが開催可能な設備 (1)⑤トップアスリートの人材育成可能な場 (1)⑥多様な附帯施設 (2)③食事等スポーツ以外からのアプローチ（ヘルス・ウェルネス） (3)③会議室	●	●	●		
トレーニング・リハビリ施設（プールを含む）の整備	(2)①トレーニング・リハビリ施設（ヘルス・メディカルケア）	●	●			
商業施設（飲食・物販等）の整備	(3)①飲食・物販等商業機能		●	●		
宿泊施設の整備	(3)①飲食・物販等商業機能			●		
ホール施設（イベント・音楽・文化）の整備	(3)②音楽・文化イベントに対応可能な機能			●		
駐車場整備	(5)①利便性の高い駐車場・周辺道路					●
アクセス道路整備	(5)②誰もが通えるための交通アクセス手段					●

※「(1)②ユニバーサルデザインの導入」「(1)⑦高機能設備のプロスポーツ等閑散期の一般開放」については事業全体に関わる取り組みのため、整備内容からは除く

(2) 民間活力の導入範囲の整理

事業において、民間活力の導入の可能性が考えられる範囲を整理します。

表 民間活力の導入範囲

整備内容	施設整備	維持管理	運営
陸上競技場の整備	●	●	●
テニスコートの整備（屋内含む）	●	●	●
ゲートボール場の整備	●	●	●
ジョギングコースの整備（軽運動施設）	●	●	－
公園空間の整備	●	●	－
災害時対応施設・設備の整備	●	○	○
トレーニングセンターの整備	●	●	●
トレーニング・リカバリー施設（プールを含む）の整備	●	●	●
商業施設（飲食・物販等）の整備	●	●	●
宿泊施設の整備	●	●	●
ホール施設（イベント・音楽・文化）の整備	●	●	●
駐車場整備	●	●	●
アクセス道路整備	○	○	－

●印：民間活力の導入が考えられる部分

○印：市主導での対応が考えられる部分

(3) 想定される事業手法・スキーム案

本エリアは都市公園と隣接する市有地を含む範囲を対象としていますが、都市公園は都市公園法に基づく整備が必要になることから、本検討では「公園区域内」「公園区域外」とエリアを分割して事業手法を整理することとし、各々について手法を整理した上で、「森々風 Spo-Park エリアにおける施設整備・運営に係る事業手法」を検討します。

① 公園区域内における施設整備及び管理運営にかかる事業手法

公園区域内における施設整備及び管理運営にかかる事業手法については、下記の7つの事業手法が考えられます。

表 公園区域内における施設整備及び管理運営にかかる事業手法

事業手法	事業期間	施設	役割分担 ■公共 ○民間					施設所有
			設計	整備	資金調達	維持管理	運営	
① PFI（運営権事業） コンセッション方式	10-30年程度	公共施設	○	○	■○	○	○	■
		民間施設 （民間自主事業） （設置管理許可）	○	○	○	○	○	○
② PFI(RO方式)	15-20年程度	公共施設	○	○	■○	○	○	■
		民間施設 （民間自主事業） （設置管理許可）	○	○	○	○	○	○
③ PFI(BTO方式)	15-20年程度	公共施設	○	○	○	○	○	■
		民間施設 （民間自主事業） （設置管理許可）	○	○	○	○	○	○
④ PFI(BOT方式)	10-30年程度	公共施設 （起債併用不可）	○	○	○	○	○	○
		民間施設 （民間自主事業） （設置管理許可）	○	○	○	○	○	○
⑤ DBO方式	10-30年程度	公共施設	○	○	■	○	○	■
		民間施設 （民間自主事業） （設置管理許可）	○	○	○	○	○	○
⑥ Park-PFI	10年(20年保証)	公共施設 （特定公園施設）	○	○	■○	○	○	■
		民間施設 （公募対象公園施設） （設置管理許可）	○	○	○	○	○	○
⑦ 設置管理許可	10年	民間施設	○	○	○	○	○	○

② 公園区域外における施設整備及び管理運営にかかる事業手法

公園区域外における施設整備及び管理運営にかかる事業手法については、下記の 6 つの事業手法が考えられます。

表 公園区域外における施設整備及び管理運営にかかる事業手法

事業手法	事業期間	施設	役割分担 ■公共 ○民間					施設 所有
			設計	整備	資金 調達	維持 管理	運営	
① PFI（運営権事業） コンセッション方式	10-30年程度	公共施設	○	○	■○	○	○	■
		民間施設 （民間自主事業）	○	○	○	○	○	○
② PFI(RO方式)	15-20年程度	公共施設	○	○	■○	○	○	■
		民間施設 （民間自主事業）	○	○	○	○	○	○
③ PFI(BTO方式)	15-20年程度	公共施設	○	○	○	○	○	■
		民間施設 （民間自主事業）	○	○	○	○	○	○
④ PFI(BOT方式)	10-30年程度	公共施設 （起債併用不可）	○	○	○	○	○	○
		民間施設 （民間自主事業）	○	○	○	○	○	○
⑤ DBO方式	10-30年程度	公共施設	○	○	■	○	○	■
		民間施設 （民間自主事業）	○	○	○	○	○	○
⑥ 売却・定期借地 （市有地活用）	—	民間施設	○	○	○	○	○	○

表 事業手法の概要

事業手法		事業の概要
① ❶	PFI（運営権事業） コンセッション方式	・ PFI法に基づく公共施設等運営権を事業者に譲渡する。事業者は運営権に基づいて施設の維持管理・運営を実施する。 ・ 施設整備完了後、市は事業者に施設整備費を支払い、事業者は、運営権対価を市に支払う。維持管理運営期間中は、民間独立採算を原則として運営する。 ・ 新設する公共施設については、DB（Design Build）方式等で施設を整備することを想定する。 ・ 民設民営の新規施設（民間独立採算）を整備することも可能である。 ・ 市から維持管理運営のサービス購入料の支払いも可能である。 ※施設の管理運営にあたって別途指定管理者制度の併用が必要である。
② ❷	PFI(RO方式)	・ PFI法に基づく事業としてPFI事業者が民間資金も活用（補助金や起債併用）して改修の設計・施工と維持管理運営を一体的に実施する。 ・ 新設する公共施設については、DB（Design Build）方式等で施設を整備することを想定する。
③ ❸	PFI(BTO方式)	・ PFI法に基づく事業としてPFI事業者が民間資金も活用（補助金や起債併用）しながら施設の設計・施工と維持管理運営を一体的に実施する。施設完成直後に市に施設の所有権を移転する。 ・ 事業期間中、市は事業者に施設整備の割賦料と維持管理運営のサービス購入費を支払う。
④ ❹	PFI(BOT方式)	・ PFI法に基づく事業としてPFI事業者が民間資金を活用しながら施設の設計・施工と管理運営を一体的に実施する。事業期間終了後に市に施設の所有権を移転する。 ・ 事業期間中、市は事業者に施設整備の割賦料と維持管理運営のサービス購入費を支払う。 ※市所有の施設とならないため起債活用不可である。 ※事業者は施設の固定資産税を支払う。 ※民間所有施設となるため都市公園法に基づく設置管理許可が必要である。PFI法に基づく事業で整備される施設については設置管理許可の期間がPFI事業契約の契約期間（30年を超える場合は30年）となる。
⑤ ❺	DBO方式	・ 公共側が補助金や起債を活用して資金調達し、民間事業者が既存施設の改修の設計・施工と維持管理運営を一体的に実施する。
⑥	Park-PFI	・ 都市公園法に基づくPark-PFI（公募設置管理制度）により、特定公園施設として事業者が整備費の一部を負担しながら公園施設の改修の設計・施工を行う。維持管理運営においては別途指定管理者制度を併用する。 ・ 都市公園法第5条の2～5に基づき、民間事業者は公募対象公園施設（民間施設）を整備、管理運営を行う。合わせて、特定公園施設とする公園施設の改修費の一部を負担する。 ※事業者は、条例等で定められた使用料（土地）を市に支払う。
⑦	設置管理許可	・ 都市公園法第5条に基づき市が事業者に設置・管理許可を出し、事業者が民間施設として独立採算で施設の整備、管理運営を行う。 ※事業者は、条例等で定められた使用料（土地）を市に支払う。
⑥	売却・定期借地 （市有地活用）	・ 公園区域外に整備する場合、市有地を売却もしくは定期借地として事業者提供し、事業者が民間施設として独立採算で施設の整備、管理運営を行う。

③ 森々風 Spo-Park エリアにおける施設整備・運営に係る事業手法の整理

①②を踏まえ、森々風 Spo-Park エリア全体を一体的に事業実施する事業手法の組み合わせとしては、以下の6案が考えられます。

案	公園区域内		公園区域外	
	公共施設	民間施設※1※2	公共施設※3	民間施設
1	①PFI（運営権事業） コンセッション方式 + 【その他手法併用】	①PFI（運営権事業） コンセッション方式 【民間自主事業】	①PFI（運営権事業） コンセッション方式	①PFI（運営権事業） コンセッション方式 【民間自主事業】 or ⑥売却・定期借地
2	②PFI(RO 方式)※4 + 【その他手法併用】	②PFI(RO 方式) 【民間自主事業】	【その他手法併用】	②PFI(RO 方式) 【民間自主事業】 or ⑥売却・定期借地
3	③PFI(BTO 方式)	③PFI(BTO 方式) 【民間自主事業】	③PFI(BTO 方式)	③PFI(BTO 方式) 【民間自主事業】 or ⑥売却・定期借地
4	④PFI(BOT 方式)	④PFI(BOT 方式) 【民間自主事業】	④PFI(BOT 方式)	④PFI(BOT 方式) 【民間自主事業】 or ⑥売却・定期借地
5	⑤DBO 方式	⑤DBO 方式 【民間自主事業】	⑤DBO 方式	⑤DBO 方式 【民間自主事業】 or ⑥売却・定期借地
6	⑥Park-PFI (特定公園施設)	⑥Park-PFI (公募対象公園施設)	【その他手法併用】	⑥売却・定期借地

※1 民間施設を整備する場合、全ての案において「⑦設置管理許可」は必要。

※2 別事業として「⑦設置管理許可」で民間施設を整備することも可能。

※3 ①③④⑤の場合においても、その他手法との併用は可能。

※4 公共施設を新規整備する場合、その他手法との併用が必要。

(4) 民間活力の導入に関する事業者ヒアリング調査の実施

① 調査目的

「(1) 想定される整備内容」及び「(2) 民間活力の導入範囲の整理」を踏まえ、施設整備の留意点や事業内容、実現可能な事業手法等について、民間事業者の意向を把握します。

② 調査方法

オンラインによるヒアリング

③ 調査の実施時期

令和5年11月～12月に実施

④ 調査対象

調査対象としては、建設事業者3者、不動産事業者2者、設計事業者1者、運営事業者4者に対して実施しました。

表 調査対象の詳細

建設事業者	不動産事業者	設計事業者	運営事業者
建設事業者 A	不動産事業者 D	設計事業者 F	運営事業者 G
建設事業者 B	不動産事業者 E		運営事業者 H
建設事業者 C			運営事業者 I
			運営事業者 J

⑤ 調査項目

- (ア) ゾーニング4案について意見
- (イ) 民間活力の活用の視点から望ましい整備箇所、施設整備・施設配置の留意点、懸念事項等について
- (ウ) 望ましい整備区分
- (エ) 民設民営の可能性のある施設の事業手法
- (オ) 民設民営での施設整備に関する関心度
- (カ) 官民連携手法を導入した整備とする場合の参入可能性のある事業手法
- (キ) 事業手法に関する課題
- (ク) エリア整備事業における参画可能な業務
- (ケ) エリア整備事業への参画意向
- (コ) 参画を検討するうえで参考とする指標や視点、さらに参画を決定する要素、地域のポテンシャル等
- (サ) 官民のリスク分担や事業上想定しておくべきリスク等
- (シ) 基本計画策定の段階から事業へ参画することについて
- (ス) 市側で整理すべき条件・内容、要望等

⑥ ヒアリング調査結果の分析

ヒアリング調査の結果を踏まえ、森ノ風 Spo-Park 構想エリアの事業手法に関するポイントを分析します。

■望ましい整備箇所

<主な意見>

- トレーニングセンター及びトレーニング・リカバリー施設については陸上競技場に隣接することが望ましいです。一方、トップアスリートを対象とする場合は利用が想定されるスポーツチームの要望を把握したうえで、施設の詳細、導入する設備を検討する必要があります。また、既存の豊見城市民体育館のトレーニングルームには無い機能を追加するなど、差別化を図り、より充実した施設とする必要があります。
- 商業施設及び宿泊施設、ホール施設に関しては公園区域内外で整備の可能性はありますが、事業採算性が見込めることが必須条件となります。また、訪問者動線や搬入出動線を踏まえた配置、施設ターゲットの明確化、稼働率確保のための対応策も必要です。

<整備のポイント>

スポーツ関連の施設については隣接させることが望ましく、想定するターゲットに合わせて施設仕様を検討する必要があります。

民間施設として想定される施設（商業施設、宿泊施設、ホール施設）に関して、公園区域内外に問わず、集客力のある施設との連携や集客効果を波及させられる箇所に整備する等、民間の事業採算性を確保させる工夫が求められます。

■望ましい整備区分

<主な意見>

- 施設全般の運営に関しては民営の可能性はありますが、施設整備に関しては基本的には行政側での実施が求められます。
- トレーニングセンター、トレーニング・リカバリー施設、商業施設、宿泊施設に関しては、事業性が見込めるのであれば民設民営の可能性もあります。

<整備のポイント>

施設整備費に関しては公共負担を基本としますが、事業採算性が確保できる施設であれば民設民営の可能性はあることから、施設の詳細検討と併せて利用者ニーズやスポーツ施設との親和性を踏まえた事業性の高い施設を検討する必要があります。

■民設民営の可能性のある事業手法

<主な意見>

- 事業手法としては Park-PFI での実施が有力である一方、根本的に事業採算性の面から民設民営での実現性は低いとの意見が多いですが、魅力向上につながり市内外からの来訪が見込め、事業採算性が確保できるのであれば可能性はあります。
- 民設民営で整備される場合、全てのリスクを民間側で負うのではなく、行政側も一定の

リスクを負うことが求められます。

<整備のポイント>

行政が一定負担を負うことで民設民営施設の整備の可能性は高まります。

■参画可能性のある事業手法

<主な意見>

- Park-PFI、DBO 方式、PFI (BTO) 、RO 方式での実施の可能性が高いですが、全施設を一つの事業手法で整備するのではなく、施設ごとの特性を踏まえた事業手法の選択が求められます。
- 商業施設や宿泊施設等のビジネスゾーンの整備については事業採算性の面からリスクが高く、現状の土地利用では、事業対象から外すことを望む意見があります。別事業とする場合は市街化区域への編入を前提とした定期借地契約が可能性として高いです。一方、ビジネスゾーンの整備を事業に含めることで参画意欲が高まるとの意見もあります。

<整備のポイント>

施設整備に関しては多様な手法が想定されるため、施設の特性や関連性、提供サービスを踏まえて精査することが必要です。

ビジネスゾーンにおいては、市街化区域への編入のほか、事業参画しやすい整備条件や事業手法の設定等、民間事業者の参画意欲を高める工夫が必要です。

■参画検討における懸念事項

<主な意見>

- 参画を検討するうえでは事業採算性の確保が必須であり、想定事業費や施設運営における収益性、来訪者数の見込み等が検討材料となります。また、事業としての魅力も参画検討の重要な要素となるため、本事業の独自性や他自治体事業との差別化を図る必要があります。

<整備のポイント>

参画においては金銭的リスクのほか、参画意欲を高めるための事業の独自性や他自治体事業との差別化が求められます。

■官民のリスク分担

<主な意見>

- 物価が上昇している現状において十分な事業費の確保が求められます。また、建設現場における労働時間の規制もあることから、余裕をもった工期設定も求められます。なお、物価上昇に対しては、官民のリスク分担を事前に整理しておくとともに、事業期間中に調整協議できる場を用意する必要があります。
- 本事業においては既存施設の改修が含まれていることから、施設の老朽化状況や利用状況を事前に公表し、想定されるリスクを事業者側でも検討させる必要があります。

<整備のポイント>

物価上昇への対応のほか、事業者意向を反映した工期の設定、リスク発生時の協議の場の用意など、事業者が安心して参画できるように配慮することが必要です。

■基本計画策定の段階からの参画可能性

<主な意見>

- 本事業は導入機能の用途が限定されており、民間事業者にとっては提案の自由度が高くなく、また、都市公園のため建築の制約も様々であることから、民間側の事業採算性の確保が不透明であり、パートナーが事業の責任を負うとなると基本計画策定の段階から参画することはリスクが高いです。
- プレイヤーでありながら、構想段階から携われるのは有難いです。一方、詳細協議期間の設定、及び詳細協議期間内における民間側が無条件で離脱できるようにしてほしいです。
- 基本計画策定の段階から参画することは競争原理が働かない可能性があり、また、事業費の変動が予測できない状況のなかで実現リスクは高いです。

<整備のポイント>

計画段階で参画できることで民間のノウハウを反映することができる一方、事業性が見込めないことになった場合のリスクが事業者にとっては大きな懸念事項となります。

■市側で整理すべき条件・内容、要望等

<主な意見>

- 施設の規模や整備内容については利用者ニーズを踏まえて検討するとともに、市としてエリア戦略について綿密に計画することが求められます。民間側とのイメージの共有を図ることで、民間側も事業実現に向けた具体的な提案が可能になります。
- 民間意向を踏まえて事業内容を検討するとともに、他市の整備事業の実施時期と重複しないよう事業者募集のタイミングを計る必要があります。
- ビジネスゾーンの造成については莫大な費用を要することから、公共事業として慎重な見極めが求められます。

<整備のポイント>

民間事業者が参画を検討するにあたっては、行政側のイメージを共有することが必要です。そのため、民間意向も踏まえながら、参画意欲が高まる魅力的な計画が求められます。

(5) ヒアリング調査結果を踏まえた事業手法の検討

① 事業手法の評価

事業者ヒアリング調査では、民設民営（民間独立採算）による事業性は低く、市が整備費や維持管理運営費を負担する手法を求める意見が多いですが、事業採算性が確保できる場合には民設民営の可能性があるとの意見も得られたことから、民間事業の採算性と市の財政負担のバランスによっては、事業への参画確度が増えることが伺えます。

「(3) 想定される事業手法・スキーム案③」において整理した6案のうち、「案1 PFI（運営権事業）コンセッション方式」については公園区域内の全ての施設を民間の独立採算により運営することを想定したスキームであり、民間負担リスクが非常に高く、事業者の対応が難しい事業手法といえます。また、Park-PFI は、特定公園施設（公共施設）の整備費や設計費・調査費等の一部を公募対象公園施設（民間施設）で得られた収益から負担することが条件となっており、特定公園施設の事業費が高額になる場合、公募対象公園施設の収益では賄えない可能性があることから、「案6 Park-PFI+売却・定期借地」についても事業者の対応が難しい事業手法といえます。

一方、「案2 PFI（RO 方式）」「案3 PFI（BTO 方式）」「案4 PFI（BOT 方式）」「案5 DBO 方式」については、公共施設に対して市側が施設整備費、維持管理運営費を負担することから、採用可能性のある事業手法といえます。また、案2～5においては公園内で民間自主事業として民間施設を整備することが可能であり、前述のとおり、事業採算性が確保できれば民間自主事業としての整備の可能性があります。

これらのことから、本検討においては、案2～5の4案について、公園区域内外で公共施設・民間施設を整備することを想定として次項で事業スキームを整理します。

② 採用の可能性のある事業手法

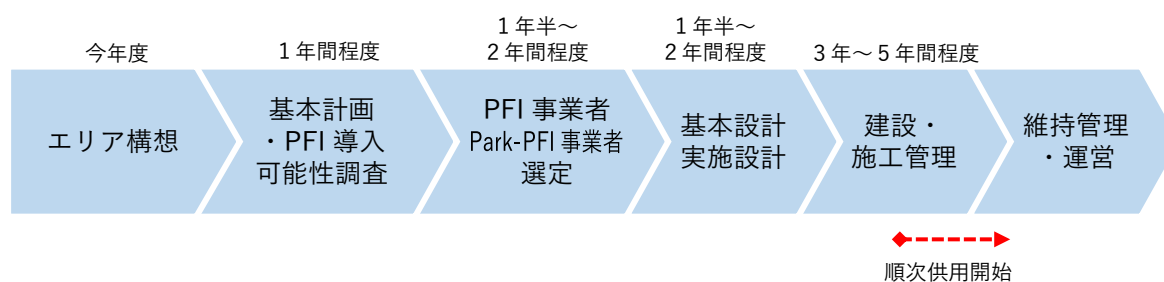
		案2 PFI（RO方式）				案3 PFI（BTO方式）				案4 PFI（BOT方式）				案5 DBO方式			
事業概要		・公園区域内外をPFI事業(RO方式)及びその他手法として実施。 ・公園外の民間施設は自主事業もしくは売却・定期借地により整備。 ・民間事業者が自ら資金調達を行い、設計・改修、維持管理等を実施。 ・PFI事業の民間自主事業として公園区域内に民設民営の施設を整備することも可能（設置管理許可）。				・公園区域内外をPFI事業(BTO方式)として整備。 ・公園外の民間施設は自主事業もしくは売却・定期借地により整備。 ・民間事業者が自ら資金調達を行い、施設の建設後、所有権を市に移転、施設の維持管理・運営を民間事業者が事業終了時点まで実施。 ・PFI事業の民間自主事業として公園区域内に民設民営の施設を整備することも可能（設置管理許可）。				・公園区域内外をPFI事業(BOT方式)として実施。 ・公園外の民間施設は自主事業もしくは売却・定期借地により整備。 ・民間事業者が自ら資金調達を行い、施設を建設・所有、事業期間にわたり維持管理・運営を行った後、事業終了時点で市に施設の所有権を移転。 ・PFI事業の民間自主事業として公園区域内に民設民営の施設を整備することも可能（設置管理許可）。				・公園区域内外をDBO方式として実施。 ・公園外の民間施設は自主事業もしくは売却・定期借地により整備。 ・PFIに類似した事業方式の一つで、公共が資金調達を負担し、設計・建設・運営を民間に委託。 ・DBO方式の民間自主事業として公園区域内に民設民営の施設を整備することも可能（設置管理許可）。			
主 体	施設	公園区域内		公園区域外		公園区域内		公園区域外		公園区域内		公園区域外		公園区域内		公園区域外	
		公共施設	民間施設	公共施設	民間施設	公共施設	民間施設	公共施設	民間施設	公共施設	民間施設	公共施設	民間施設	公共施設	民間施設	公共施設	民間施設
		RO方式 or その他手法	RO方式 (民間自主事業)	その他手法	RO方式 (民間自主事業) or 売却・定借	BTO方式	BTO方式 (民間自主事業)	BTO方式	BTO方式 (民間自主事業) or 売却・定借	BOT方式	BOT方式 (民間自主事業)	BOT方式	BOT方式 (民間自主事業) or 売却・定借	DBO方式	DBO方式 (民間自主事業)	DBO方式	DBO方式 (民間自主事業) or 売却・定借
	資金調達	民間事業者	民間事業者	民間事業者	民間事業者	民間事業者	民間事業者	民間事業者	民間事業者	民間事業者	民間事業者	民間事業者	民間事業者	豊見城市	民間事業者	豊見城市	民間事業者
	設計	民間事業者	民間事業者	民間事業者	民間事業者	民間事業者	民間事業者	民間事業者	民間事業者	民間事業者	民間事業者	民間事業者	民間事業者	民間事業者	民間事業者	民間事業者	民間事業者
	施工	民間事業者	民間事業者	民間事業者	民間事業者	民間事業者	民間事業者	民間事業者	民間事業者	民間事業者	民間事業者	民間事業者	民間事業者	民間事業者	民間事業者	民間事業者	民間事業者
	管理運営	民間事業者	民間事業者	民間事業者	民間事業者	民間事業者	民間事業者	民間事業者	民間事業者	民間事業者	民間事業者	民間事業者	民間事業者	民間事業者	民間事業者	民間事業者	民間事業者
	所有	豊見城市	民間事業者	豊見城市	民間事業者	豊見城市	民間事業者	豊見城市	民間事業者	民間事業者	民間事業者	民間事業者	民間事業者	豊見城市	民間事業者	豊見城市	民間事業者
業務効率化		・PFI事業者が整備から管理運営まで一括して業務を担うことで、維持管理を見据えた設計、施工等により業務効率化、コスト削減、工期短縮等が期待できる。				・PFI事業者が整備から管理運営まで一括して業務を担うことで、維持管理を見据えた設計、施工等により業務効率化、コスト削減、工期短縮等が期待できる。				・PFI事業者が整備から管理運営まで一括して業務を担うことで、維持管理を見据えた設計、施工等により業務効率化、コスト削減、工期短縮等が期待できる。				・民間事業者が整備から管理運営まで一括して業務を担うことで、維持管理を見据えた設計、施工等により業務効率化、コスト削減、工期短縮等が期待できる。			
交付金・起債の活用		・交付金・起債が活用できる。				・交付金・起債が活用できる。				・交付金は活用できるが、起債は活用できない。				・交付金・起債が活用できる。			
民間事業者への支払い		・市からの支払いは、原則、事業期間にわたって平準化されて支払われる。 ・支払は、施設整備費の割賦料（公有財産購入費）と維持管理・運営のサービス購入料（委託費）の2つから構成される。				・市からの支払いは、原則、事業期間にわたって平準化されて支払われる。 ・支払は、施設整備費の割賦料（公有財産購入費）と維持管理・運営のサービス購入料（委託費）の2つから構成される。				・市からの支払いは、原則、事業期間にわたって平準化されて支払われる。 ・支払は、施設整備費の割賦料（公有財産購入費）と維持管理・運営のサービス購入料（委託費）の2つから構成される。				・施設整備費全額を市が調達し、施設整備後(中間払いも可)に市が支払う。 ・維持管理・運営については、年度ごとに民間事業者に指定管理料を支払う。			
税制面での有効性		・交付金等の残額について、PFI事業者が資金調達を行うため、金利負担が発生する。				・交付金等の残額について、PFI事業者が資金調達を行うため、金利負担が発生する。				・交付金等の残額について、PFI事業者が資金調達を行うため、金利負担が発生し、PFI事業者が施設を所有するため、不動産取得税、固定資産税、都市計画税が発生する。				・民間金利負担等は発生しない。 ・民間資金調達が不要で、事業費総額はPFI手法と比べて安価になることが期待される。			
サービス水準の維持		・民間事業者のセルフモニタリングとともに、市の業務監視を行い、業務水準の維持を確認する。また、金融側からの業務状況、経営状況の監視により、業績の維持を誘導することができる。				・民間事業者のセルフモニタリングとともに、市の業務監視を行い、業務水準の維持を確認する。また、金融側からの業務状況、経営状況の監視により、業績の維持を誘導することができる。				・民間事業者のセルフモニタリングとともに、市の業務監視を行い、業務水準の維持を確認する。また、金融側からの業務状況、経営状況の監視により、業績の維持を誘導することができる。				・民間のセルフモニタリングと共に、市が業務監視を行い、業務水準を維持できる（モニタリング制度を活用）。			
発注手続きに係る負担		・PFI法に基づく選定手続きが必要である。				・PFI法に基づく選定手続きが必要である。				・PFI法に基づく選定手続きが必要である。				・PFI法に基づく選定手続きは不要だが、同程度の発注手続きが必要である。			

8. 実現方策の検討

(1) 事業スケジュール

今後の事業スケジュールとして、次年度以降の基本計画策定から本事業における入札公告、基本契約の締結から開業までの想定スケジュールを以下に示します。

なお、次年度策定の基本計画において施設規模、整備内容等の詳細を検討し、事業スケジュールについては見直すこととします。



(2) 事業実施に向けた課題

① 事業手法の確定に向けた検討

本検討においては、採用の可能性のある事業手法として4案に絞り込みを行いました。整備内容や施設規模、運営方法等の詳細については次年度以降に検討が必要であり、それら事業内容に合わせて実現可能な事業手法を精査する必要があります。

特に、各施設の整備・運営内容ごとに適した事業手法を整理したうえで、それら事業手法の実現可能性の高い組み合わせについても検討し、民間活力を十分に活かせる最適な事業スキームを整理する必要があります。

なお、事業手法の確定に向けては、下記の事項を含んだ検討を行い、庁内合意形成も併せて実施することが望ましいと考えます。

【具体的な検討内容】

- ・トレーニングセンター、トレーニング・リハビリ施設、商業施設に導入する機能の詳細、整備する施設の要諸室及び規模等の施設計画（モデルプラン）の検討
- ・概算事業費（施設整備、管理運営）の検討
- ・施設検討を踏まえた、継続的な事業者ヒアリング調査の実施
- ・事業者側の事業収支の検討を踏まえた、市の財政負担額の想定（VFM）
- ・官民の役割及びリスク分担

② 民間施設の整備可能性の精査

事業者ヒアリング調査においては、民設民営の可能性について事業採算性の面から厳しい意見が見受けられましたが、「公園の魅力向上につながり市内外からの来訪が見込めるのであれば可能性はある」「事業としての魅力度も参画検討の重要な要素となるため、本事業の独自性や他自治体事業との差別化を図れるとよい」等の前向きな意見も得られました。

民間事業者が出店を検討する際には、立地状況やエリア周辺の環境、施設連携による相乗効果、エリアとしての将来性など、様々な角度において事業採算性を検討することから、次年度以降はエリア内の具体的な事業内容を整理したうえで、改めて民間事業者の意向を把握し、参画意欲が高まる事業内容や参画条件等について精査する必要があります。

【具体的な検討内容】

- ・相乗効果が図れる各施設の配置
- ・来訪者増加に向けた施設機能の充実
- ・類似施設との差別化を図るための独自サービス提供の可能性
- ・利用者ニーズに対応した設備の導入
- ・公共施設と民間施設の機能や相互連携による効果
- ・市や民間事業者の双方に求められる役割
- ・エリアの将来イメージの具体化

③ 公園区域外の区域区分の変更

本エリアは市街化調整区域内に位置していますが、施設を整備するにあたっては用途制限があり、特に民間の商業施設等は市街化調整区域のままでは原則として整備することができません。

そのため、民間事業の参入促進に向け、市街化区域への区域区分の変更を検討する必要があります。

④ アクセス道路の整備

現状、本エリアへのアクセス道路は南側の1箇所のみですが、事業者ヒアリングにおいてはエリア内から外部へのアプローチが複数箇所必要との意見がありました。また、ゾーニング案④に示すような饒波地域から本エリアへ進入する道路を整備する案については、大規模な整備は莫大なコストが必要となるため、既存道路をベースとした整備が望ましいとの意見もありました。

これらのことから、財政負担に対する費用対効果を十分に考慮したうえで、効率的・効果的なアクセス動線を検討する必要があります。

⑤ エリア内の既存施設整備の在り方の検討

エリア内には陸上競技場やテニスコート、ゲートボール場、プール等の既存施設が点在していますが、事業者ヒアリングにおいては、ビジネスゾーンに位置する中央公民館の整備について、整備後の稼働率確保の面から事業に含めると民間事業者の重荷になるとの意見がありました。

また、ビジネスゾーンの場所にて民間事業を実施するのであれば、中央公民館・社会福祉センターを移転し、跡地を別用途で活用したほうが民間事業者のリスクは低減されとの意見もあり、現敷地にて中央公民館と社会福祉センターを再整備するかは精査が必要です。さらに、市民の利便性、アクセス性の面から市役所周辺への移転を勧める意見もあり、移転する際には、他施設との関連性や用地取得の実現性など総合的に判断することが必要です。

これらのことから、中央公民館を現敷地にて再整備もしくは移転整備することについては、市全体での公共施設マネジメントの観点や本エリアでの民間事業の採算性、中央公民館での事業展開、民間事業者の意向等を踏まえ、中央公民館の在り方について検討することが望ましいです。

なお、その他既存施設（陸上競技場内の事業所設置団体の在り方等を含む）に関しても事業者ヒアリングの結果等を参考に、改修対象施設の設定や運用継続の検討、整備運営方法の詳細検討等を行う必要があります。

⑥ その他スポーツ施設の集約

本市においては市西部に市民体育館や瀬長島野球場が立地していますが、今後のスポーツ施策の展開においては、施設集約することでサービスの効率化や向上、市民の利便性向上等が考えられます。

一方、急傾斜地が含まれる本エリアは整備箇所が限られていることから、施設整備（ハード整備）による展開だけではなく、施設の多機能化（ソフト整備）による機能強化を図り、エリアの魅力を最大限に発揮する整備が求められます。

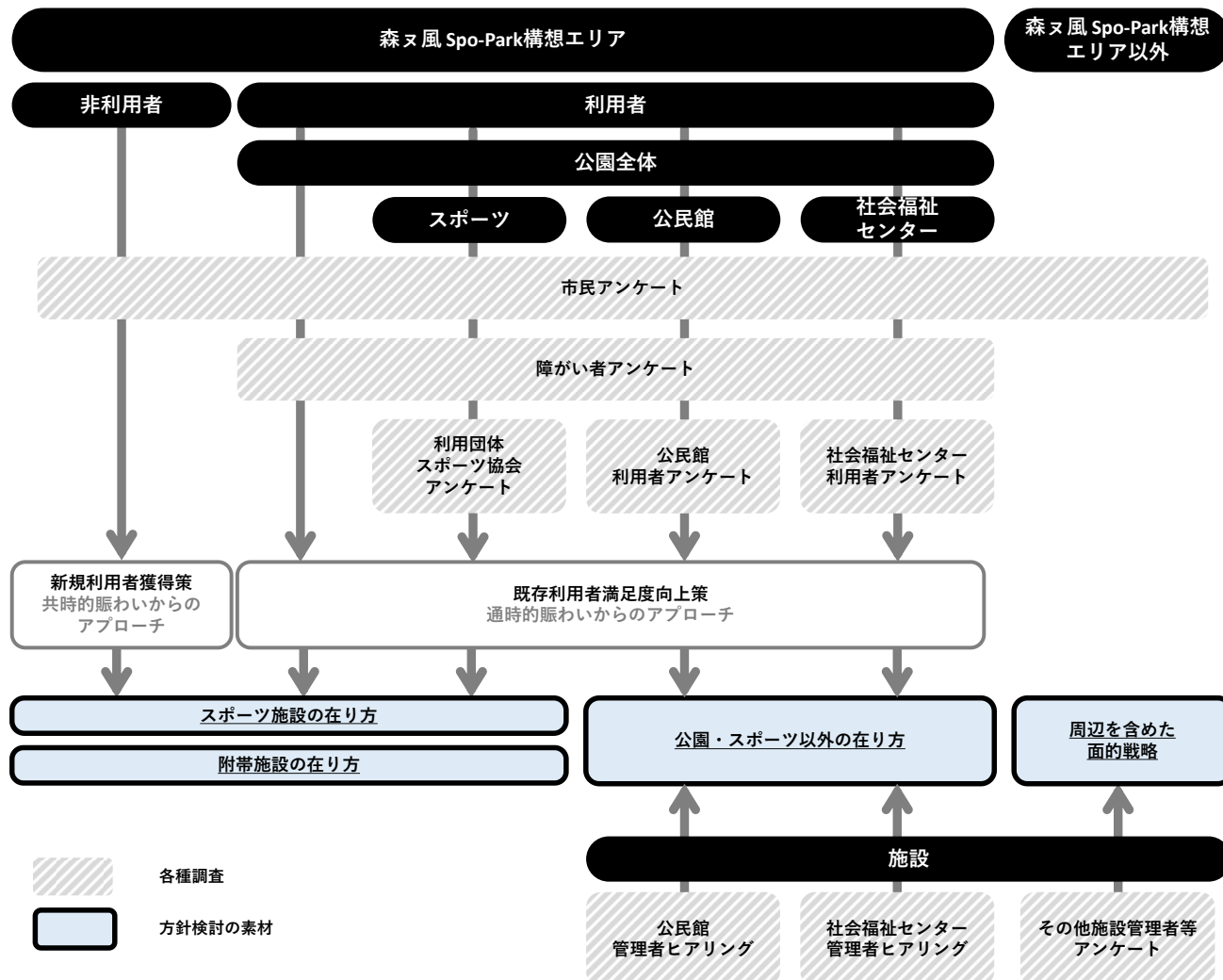
⑦ 森々風 Spo-Park エリア周辺の在り方の検討

本エリアに整備される施設の利用効果を高めるため、エリア周辺に関連施設や相乗効果が図れる施設が張り付くよう、エリア周辺の土地利用の見直しや企業誘致を検討する必要があります。

資料編

(1) 各種調査の全体像

各種調査について、以下のように実施・結果の反映を図りました。



(2) 市民アンケート調査の結果

① 調査の概要

■調査対象及び標本抽出方法

- ・調査対象：18 歳以上の豊見城市民
- ・対象者数：2,000 名

※対象者の抽出においては、地域、年齢、性別を勘案して、無作為抽出を行いました。

■調査方法

- ・郵送による配布・回収

■調査期間

- ・令和 4 年 4 月 28 日（木）～令和 4 年 5 月 13 日（金）

■回収数

- ・492 件（回収率 24.6%）

■集計・分析上の注意事項

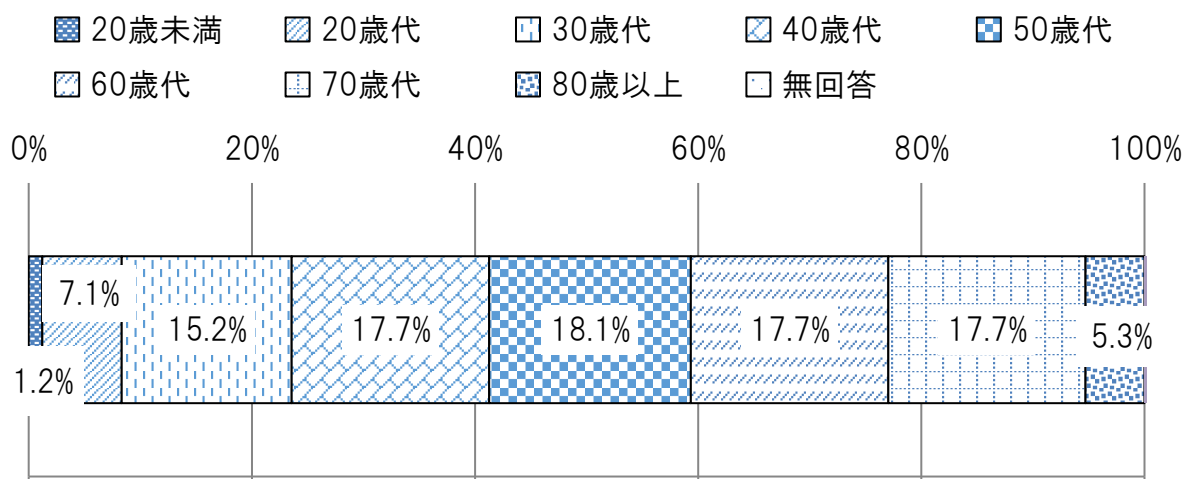
- ・集計値は、原則として各質問の回答数の合計を 100 とした場合の構成比（%）で表し、小数点第 2 位以下を四捨五入した値で示しています。このため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答（2 つ以上の選択肢を回答）可としている質問における集計値の合計は、原則として 100.0%を超えます。

次頁以降に各調査結果を整理します。

② 回答者自身について

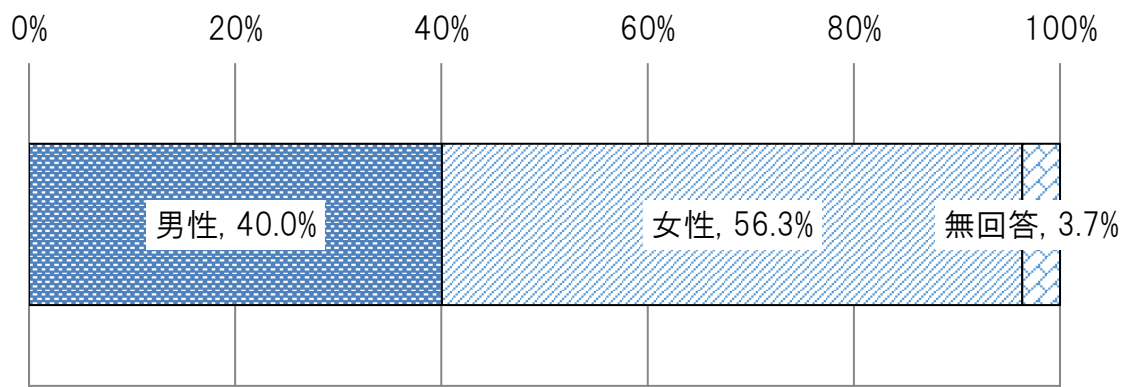
■年齢

回答者のうち、「50 歳代」が 18.1%と最も多く、次いで「40 歳代」「60 歳代」「70 歳代」が 17.7%、「30 歳代」が 15.2%と続きます。



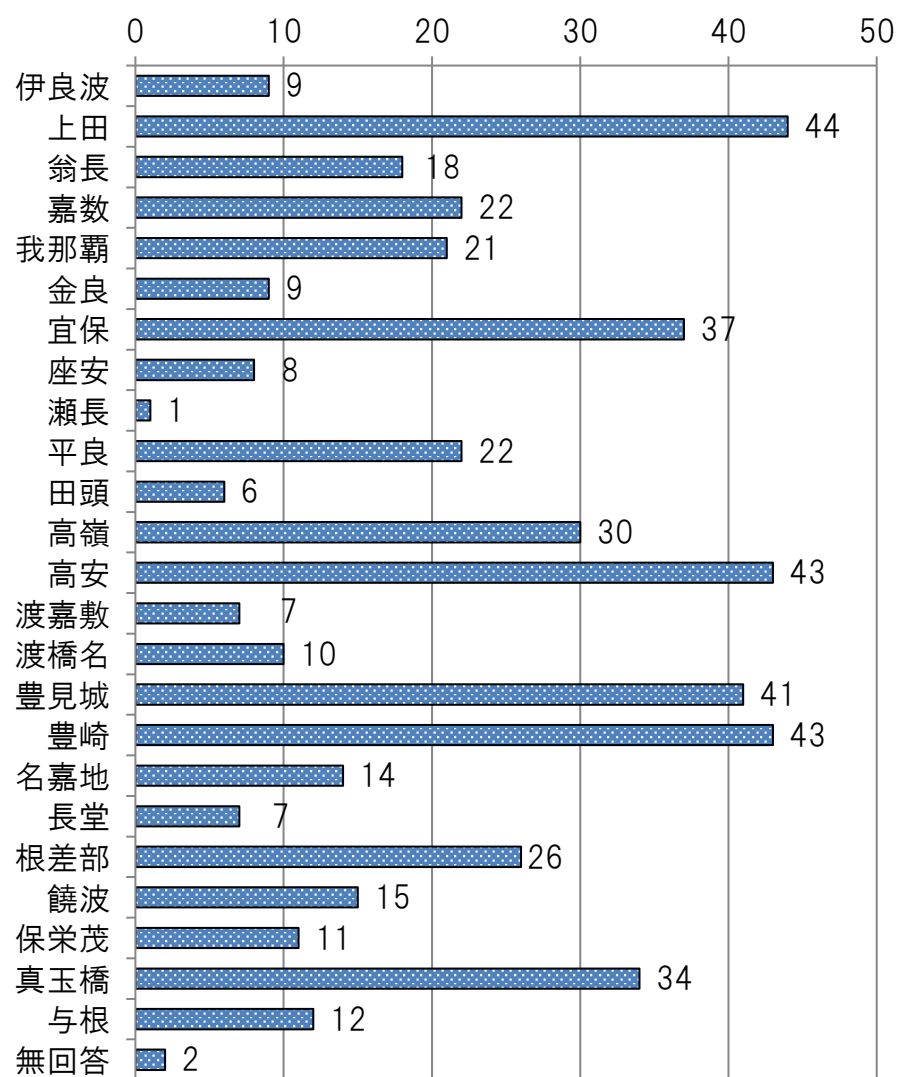
■性別

回答者のうち、「女性」が 56.3%、「男性」が 40.0%となっています。



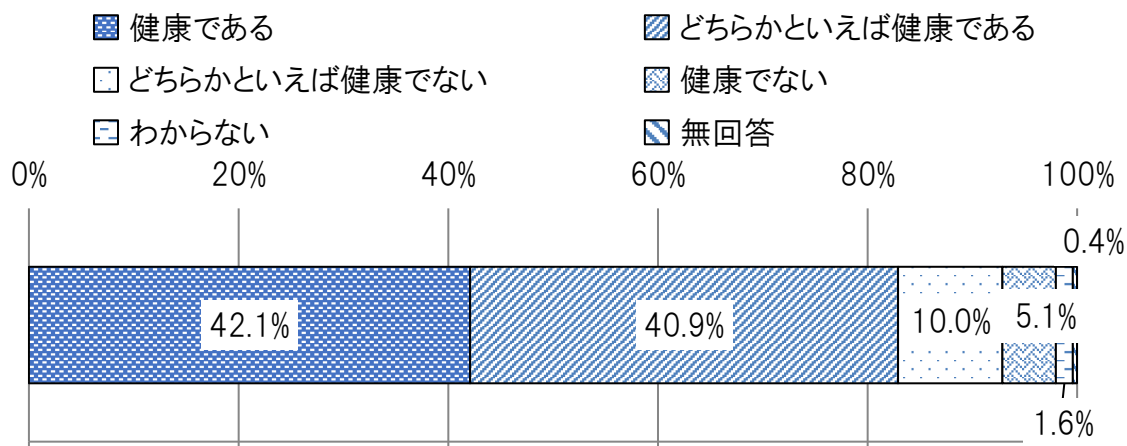
■居住地

回答者の居住地は、「上田」が 44 票と最も多く、次いで「高安」「豊崎」が 43 票、「豊見城」が 41 票、「宜保」が 37 票、「真玉橋」が 34 票と続きます。



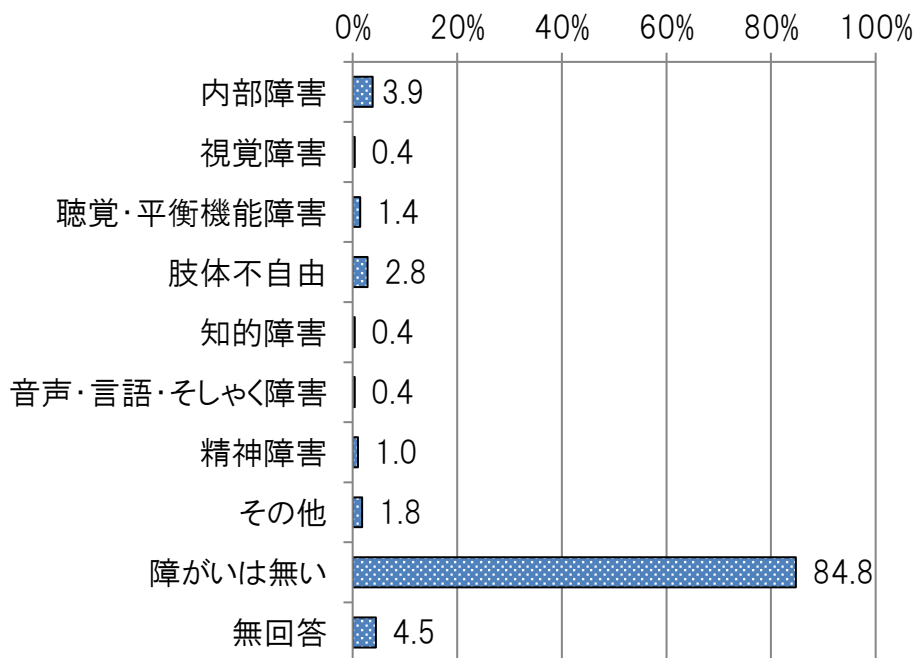
■健康状態

回答者自身の健康状態について、「健康である」が 42.1%と最も多く、次いで「どちらかといえば健康である」が 40.9%、「どちらかといえば健康でない」が 10.0%と続きます。「健康である」及び「どちらかといえば健康である」の合計が 83.0%と、大半を占めています。



■障がいの有無

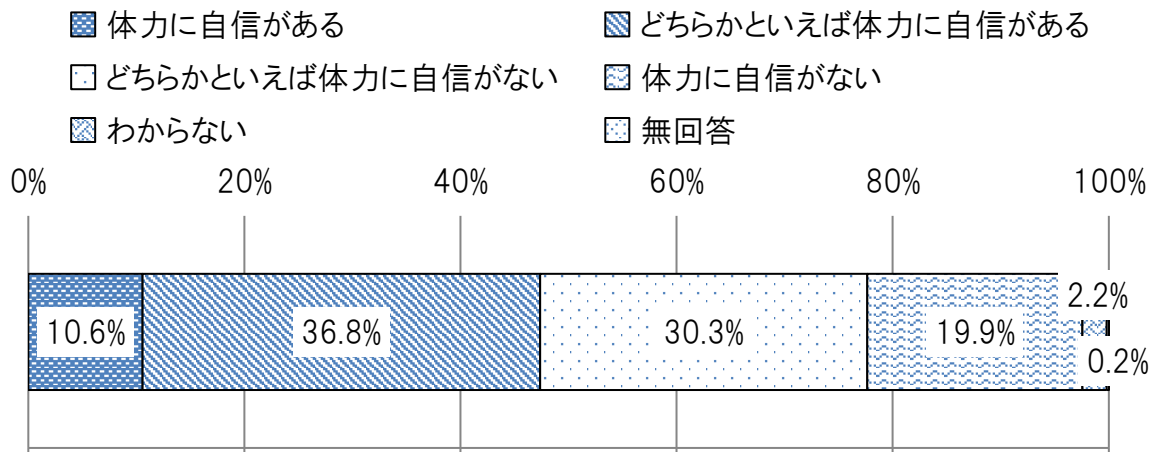
回答者のうち、「障がいは無い」が 84.8%と最も多く、次いで「内部障害」がある方が 3.9%、「肢体不自由」がある方が 2.8%、「聴覚・平衡機能障害」が 1.4%と続きます。



■体力の自信

回答者のうち、「どちらかといえば体力に自信がある」が 36.8%と最も多く、「どちらかといえば体力に自信がない」が 30.3%、「体力に自信がない」が 19.9%と続きます。

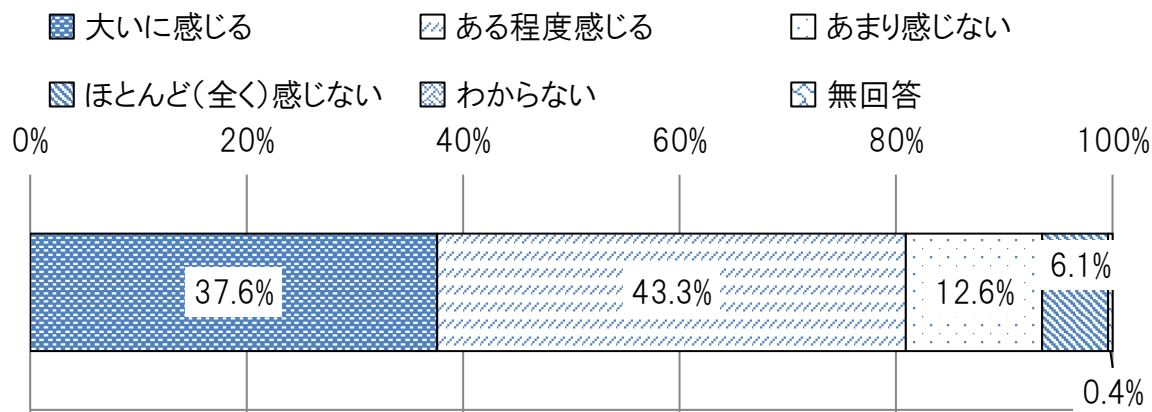
「体力に自信がある」及び「どちらかといえば体力に自信がある」の合計は 47.4%です。



■運動不足

回答者のうち、運動不足を「ある程度感じる」と答えた方が 43.3%と最も多く、次いで「大いに感じる」が 37.6%、「あまり感じない」が 12.6%、「ほとんど(全く)感じない」が 6.1%となっています。

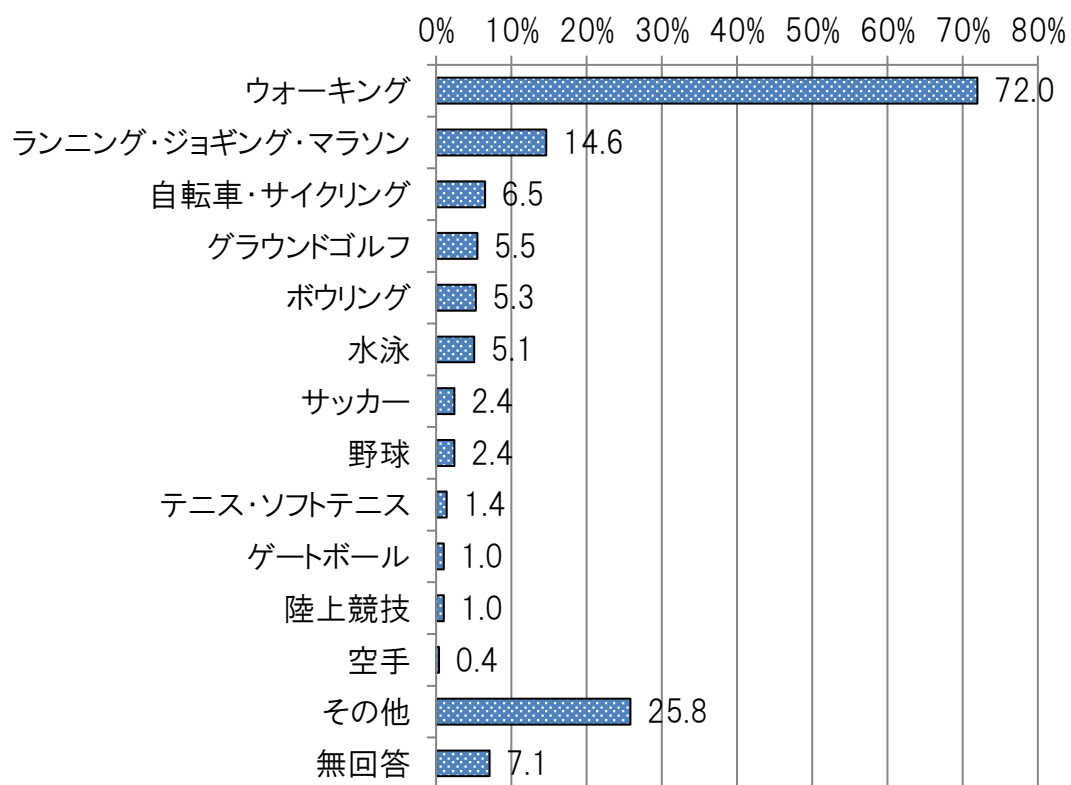
運動不足を「大いに感じる」あるいは「ある程度感じる」と答えた方の合計は 80.9%と大半を占めています。



③ 運動・スポーツの実施実態について

■ 1年間で実施した運動・スポーツ

「ウォーキング」が 72.0%と最も多く、次いで「ランニング・ジョギング・マラソン」が 14.6%、「自転車・サイクリング」が 6.5%と続きます。

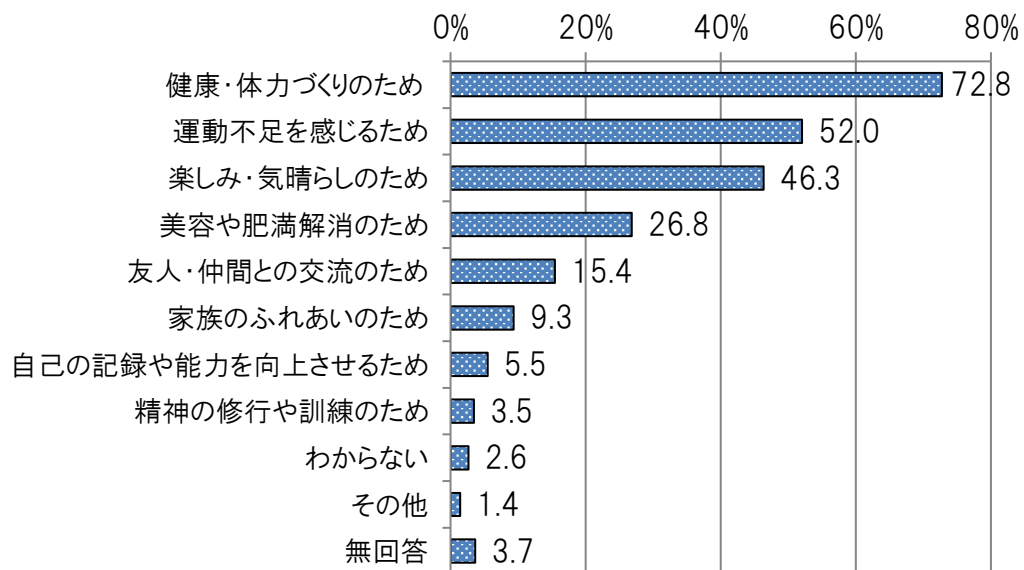


その他

ゴルフ・パークゴルフ	22 件
ヨガ	17 件
バドミントン	15 件
トレーニング	12 件
ストレッチ	10 件
ジム・スポーツクラブ	10 件
体操	9 件
バレーボール	7 件
ダンス	7 件
バスケットボール	4 件
デイサービス	3 件
卓球	3 件
舞踊・民踊	2 件
オンラインエクササイズ	2 件
つり	1 件
フラ	1 件
ピラティス	1 件
機能訓練サービス	1 件
キックボクシング	1 件
山原の登山ハイキング	1 件
アルティメット	1 件
ミニデイ	1 件
ソフトボール	1 件
トライアスロン	1 件
なわとび	1 件
子どもと公園遊び	1 件
全身運動	1 件
SUP	1 件
スクワット	1 件
買い物ほとんど歩きで	1 件
スキー	1 件
スケート	1 件
週一回リーグ、週 1 回 2 時間練習	1 件
エイサー	1 件

■運動・スポーツをする理由

「健康・体力づくりのため」が72.8%と最も多く、次いで「運動不足を感じるため」が52.0%、「楽しみ・気晴らしのため」が46.3%と続きます。

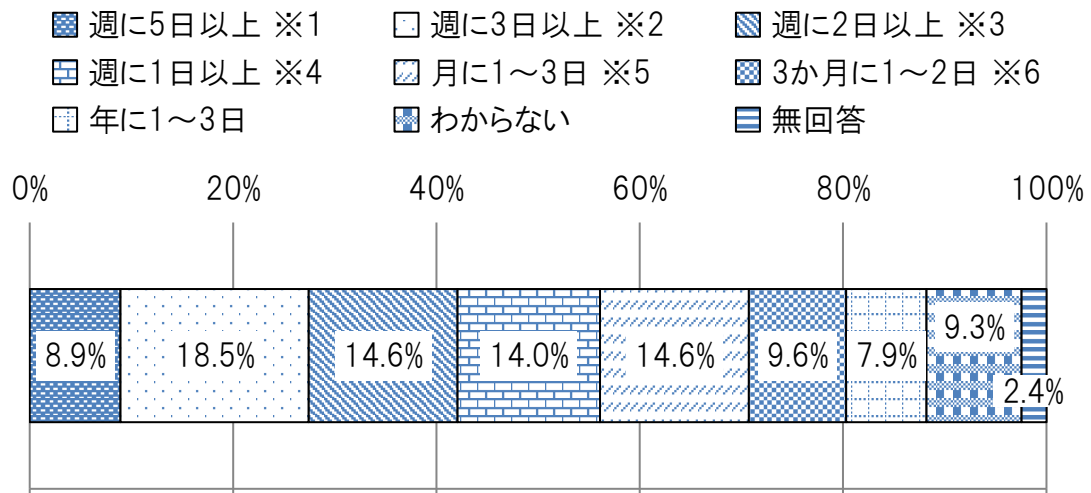


その他

体型維持
ヘルニアの解消
子どもの指導
体力維持及び気力の低下を防ぐため

■運動・スポーツを実施した日数

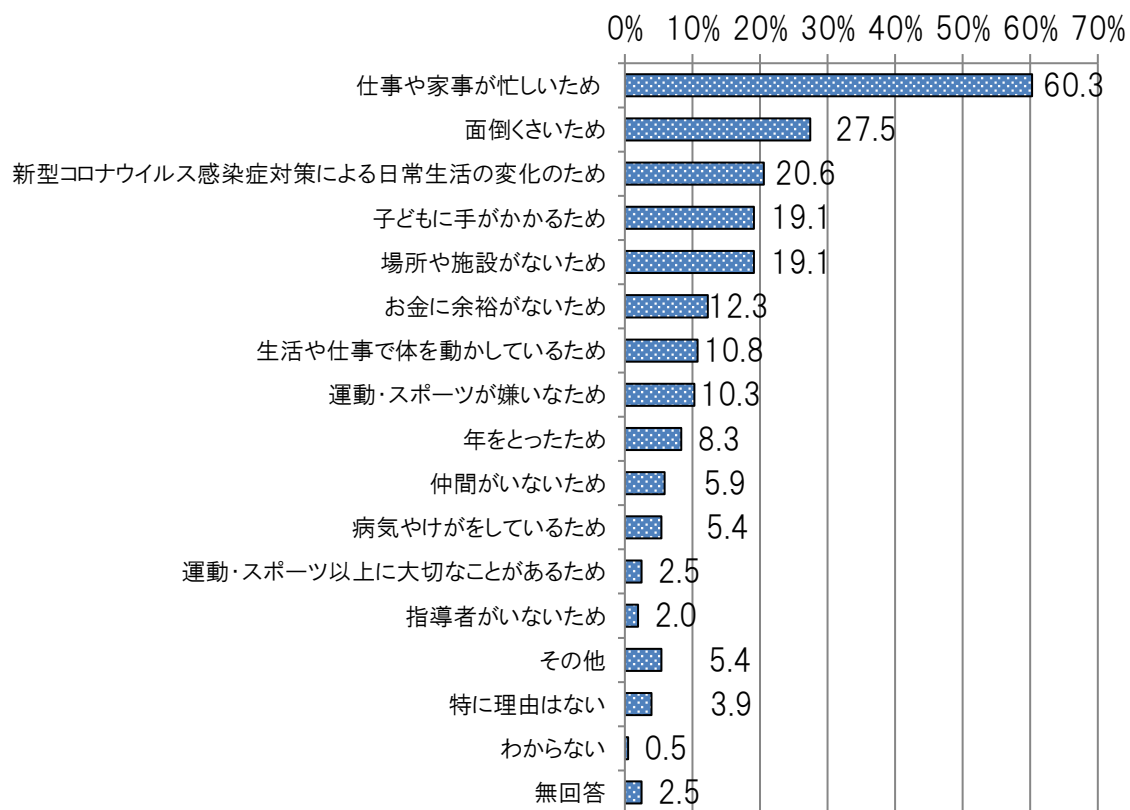
「週に 3 日以上」が 18.5%と最も多く、次いで「週に 2 日以上」「月に 1～3 日」が 14.6%、「週に 1 日以上」が 14.0%と続きます。週に 1 日以上運動・スポーツをする人は全体の 56%と半数以上を占めています。



- ※1 1年間で 251 日以上運動・スポーツをした
- ※2 1年間で 151 日～250 日運動・スポーツをした
- ※3 1年間で 101 日～150 日運動・スポーツをした
- ※4 1年間で 51 日～100 日運動・スポーツをした
- ※5 1年間で 12 日～50 日運動・スポーツをした
- ※6 1年間で 4 日～11 日運動・スポーツをした

■週に1日以上（年51日～100日）運動・スポーツを実施できなかった理由

「仕事や家事が忙しいため」が60.3%と最も多く、次いで「面倒くさいため」が27.5%、「新型コロナウイルス感染症対策による日常生活の変化のため」が20.6%と続きます。

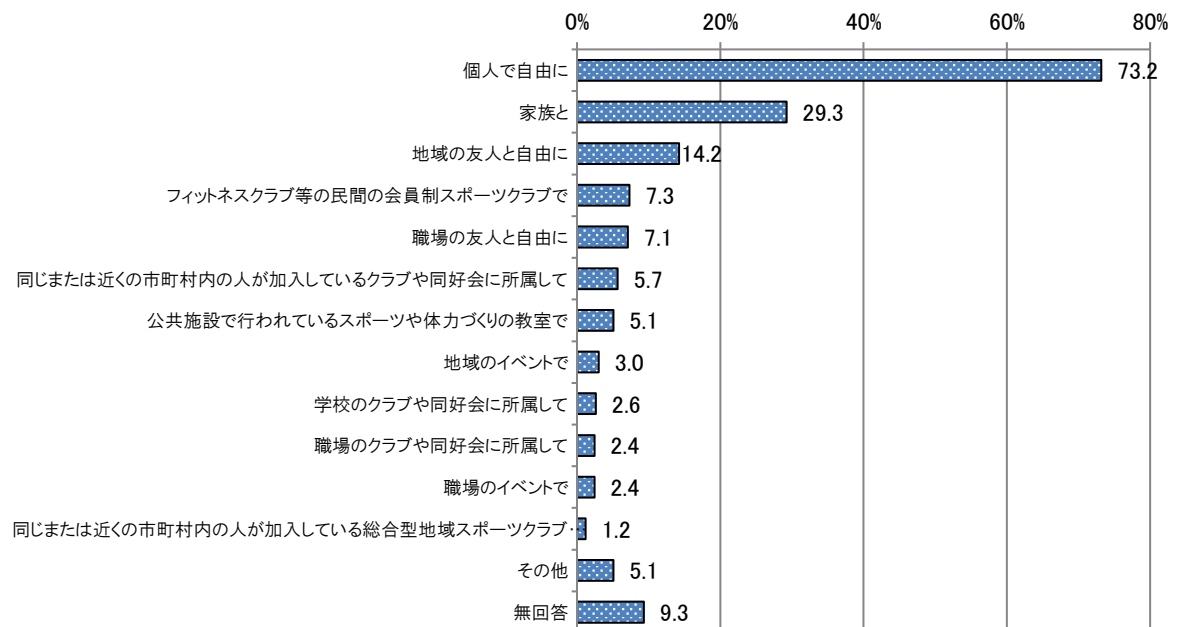


その他

天候	4 件
気持ちの問題	2 件
受験勉強	1 件
どうしたらいいかわからない	1 件
マスクが苦しくて外を歩くのが苦痛	1 件
週末も畑仕事をしているため	1 件
妊娠	1 件
孫たちに手がかかるため	1 件
農作業をしている	1 件
親の介護のため	1 件
学校生活が忙しいため	1 件

■運動・スポーツの実施形式

「個人で自由に」が 73.2%と最も多く、次いで「家族と」が 29.3%、「地域の友人と自由に」が 14.2%と続きます。

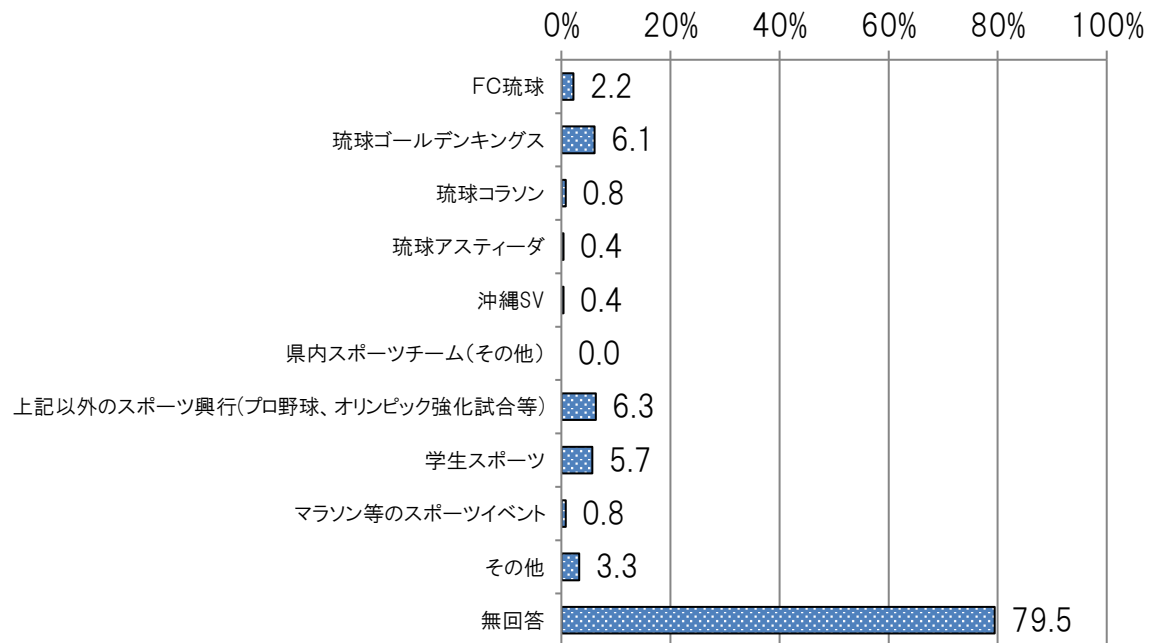


その他

買い物の際	2 件
リハビリ	2 件
個人のヨガ教室にて	1 件
通勤で	1 件
地域老人会	1 件
クラブの大会等に参加	1 件
オンラインで	1 件
テレビ体操	1 件
デイケア	1 件
自宅にてランニングマシーン	1 件
仕事	1 件

■現地で観戦したスポーツ

「プロ野球・オリンピック強化試合等」が 6.3%と最も多く、次いで「琉球ゴールデンキングス」が 6.1%、「学生スポーツ」が 5.7%と続きます。



・学生スポーツ（種目）

野球	14 件
バスケットボール	5 件
陸上競技	3 件
バレーボール	2 件
ハンドボール	2 件
サッカー	2 件
水泳	1 件
中体連駅伝大会	1 件

場所

沖縄県総合公園	4 件
学校(小学校・中学校)	4 件
豊見城市民体育館	2 件
宜野湾アトムホーム	2 件
しんきんスタジアム	1 件
甲子園球場	1 件
セルラーその他	1 件
セルラースタジアム	1 件
新開球場	1 件
運動場	1 件
東風平体育館	1 件
東風平野球場	1 件
西崎陸上競技場	1 件
新都心公園	1 件
県内各地	1 件

市町村

豊見城市	5 件
沖縄市	5 件
八重瀬町	3 件
北谷町	2 件
宜野湾市	2 件
那覇市	2 件
うるま市	1 件
南城市	1 件
浦添市	1 件
糸満市	1 件
西宮市	1 件

・FC 琉球

会場

タピックひやごん	2 件
県総合運動公園	2 件
泡瀬運動	1 件
沖縄市営	1 件

市町村

沖縄市	8 件
-----	-----

・琉球ゴールデンキングス

会場

沖縄アリーナ	24 件
--------	------

市町村

沖縄市	24 件
浦添市	1 件

・琉球コラソン

会場

市民体育館	2 件
-------	-----

市町村

豊見城市	2 件
------	-----

- ・上記以外のスポーツ興行（プロ野球、オリンピック強化試合等）

会場

セルラースタジアム	20 件
豊見城市民体育館	1 件
野球場	1 件
タピックススタジアム	1 件
paypay ドーム	1 件

市町村

那覇市	20 件
豊見城市	1 件
名護市	1 件
浦添市	1 件
福岡市	1 件
宜野湾市	1 件

- ・マラソン等のスポーツイベント

会場

石垣島	1 件
-----	-----

市町村

石垣市	1 件
那覇市	1 件

- ・その他

野球	5 件
ゴルフ	4 件
バレーボール	2 件
ビーチバレー大会	1 件
スパルタンレース	1 件
ダンスコンテスト	1 件
社会人サッカー	1 件
プロレス	1 件

会場

琉球ゴルフクラブ	2 件
豊見城体育館	2 件
浦添市民球場	1 件
高校	1 件
交流野球	1 件
宜野座球場	1 件
奥武山武道館アリーナ	1 件
県内	1 件
ちゅら SUN ビーチ	1 件
ミュージックタウン音 市場	1 件

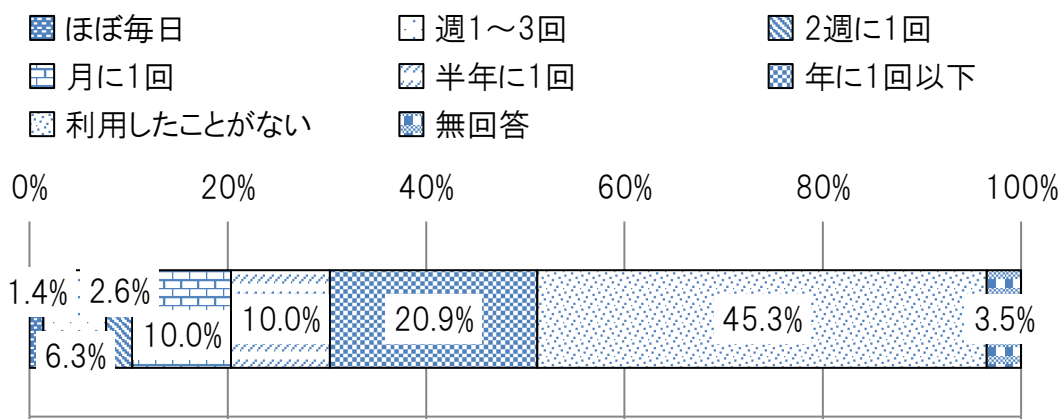
市町村

豊見城市	4 件
南城市	2 件
うるま市	2 件
沖縄市	1 件
浦添市	1 件
金武町	1 件
宜野座村	1 件
那覇市	1 件

④ 豊見城総合公園内施設の利用について

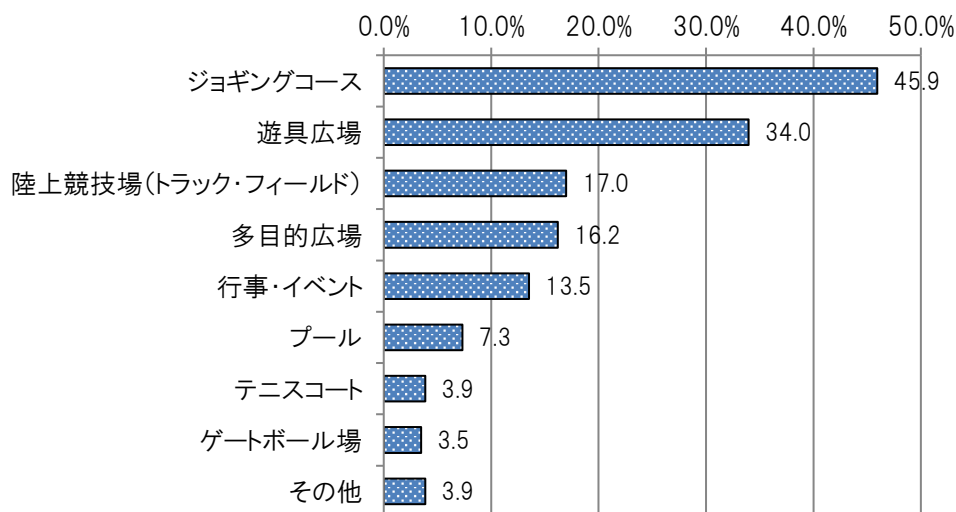
■豊見城総合公園内施設の利用状況

豊見城総合公園内施設の利用状況を聞いたところ、「利用したことがない」が 45.3%と最も多く、次いで「年に1回以下」が 20.9%、「半年に1回」「月に1回」が 10.0%と続きます。「月に1回以上」の利用者は全体の 20.3%です。



■よく利用する施設

よく利用する施設を聞いたところ、「ジョギングコース」が 45.9%と最も多く、次いで「遊具広場」が 34.0%、「陸上競技場」が 17.0%と続きます。

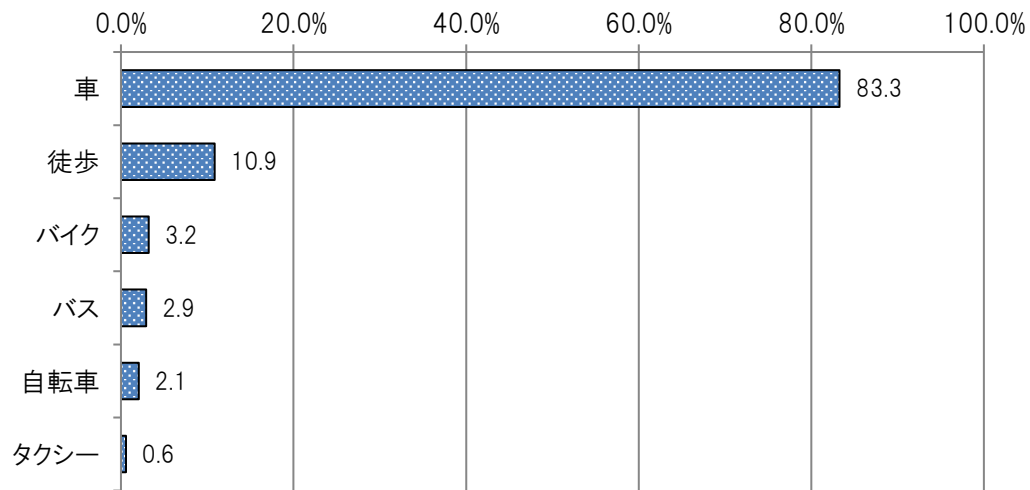


その他

健康診断
外周ウォーキングコース
ソフトボール
野球
豊見城市民体育館トイレ

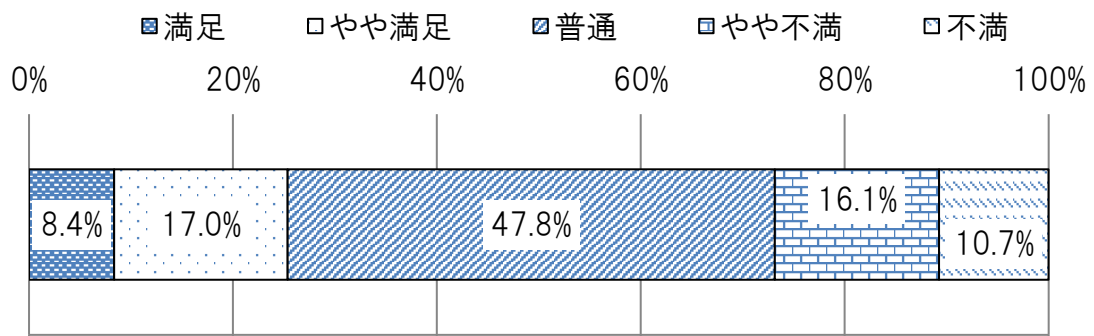
■よく利用する交通手段

「車」が83.3%と最も多く、次いで「徒歩」が10.9%、「バイク」が3.2%と続きます。



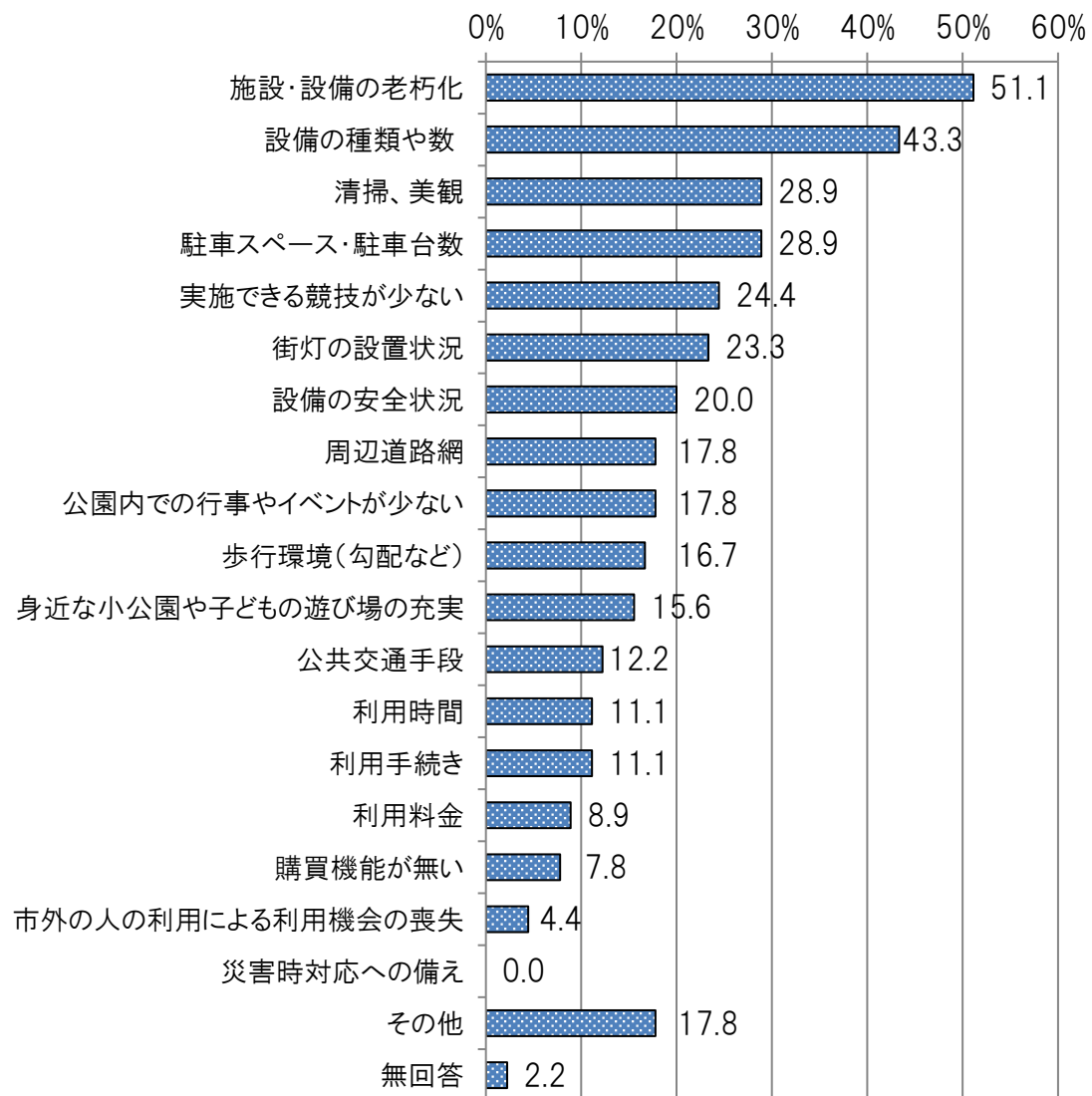
■満足度

豊見城総合公園内の施設に関する満足度は、「普通」が47.8%と最も多く、次いで「やや満足」が17.0%、「やや不満」が16.1%と続きます。



■不満を感じる理由

先の質問で「やや不満」または「不満」と回答された方のうち、不満を感じる理由は「施設・設備の老朽化」が51.1%と最も多く、次いで「設備の種類や数」が43.3%、「清掃、美観」「駐車スペース・駐車台数」が28.9%と続きます。



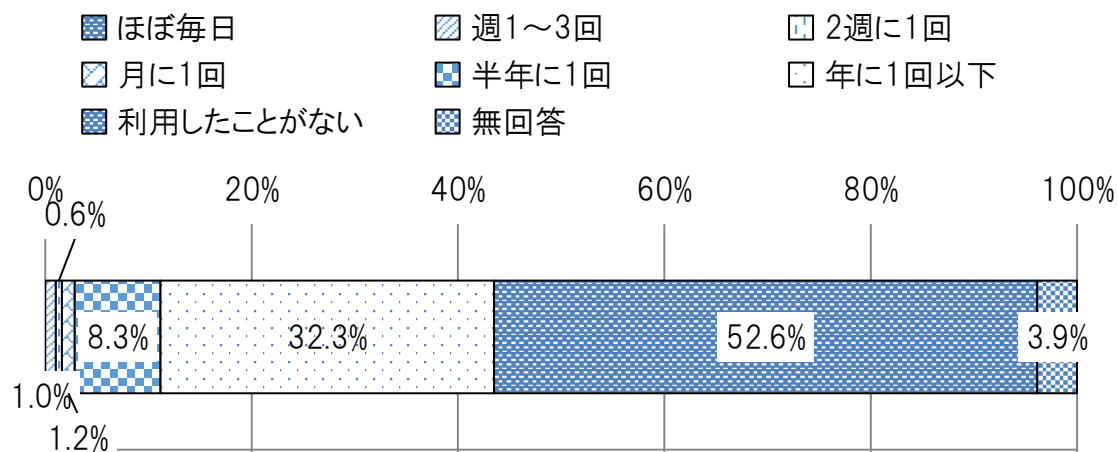
その他

トイレが不衛生	4 件
施設の情報が周知されていない	4 件
屋内プールがない	2 件
陸上競技場のフィールドに入れない	1 件
字豊見城地域に公園がない	1 件
テニスコートの ABCD が不明	1 件
虫が多い	1 件
遠い	1 件
ウォーキングコースの道幅が狭い	1 件
グラウンド側のフェンスが劣化していて不安	1 件
てつぼうがあればいいかな	1 件
バリアフリー化になっていない	1 件
利用手続きや利用するために仕事を休むか時間休を取らなければならない。	1 件
民間運営でもいいのでは	1 件

⑤ 中央公民館の利用について

■利用状況

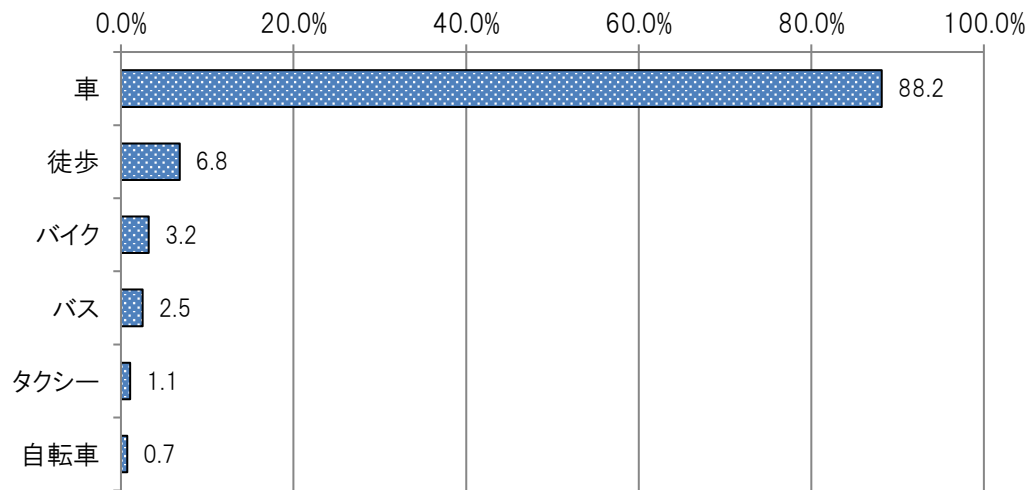
「利用したことがない」が 52.6%と最も多く、次いで「年に 1 回以下」が 32.3%、「半年に 1 回」が 8.3%と続きます。「月に 1 回」以上の利用者は全体の 2.8%です。



総数	492 件	100.0%
ほぼ毎日	0 件	0.0%
週 1〜3 回	5 件	1.0%
2 週に 1 回	3 件	0.6%
月に 1 回	6 件	1.2%
半年に 1 回	41 件	8.3%
年に 1 回以下	159 件	32.3%
利用したことがない	259 件	52.6%
無回答	19 件	3.9%

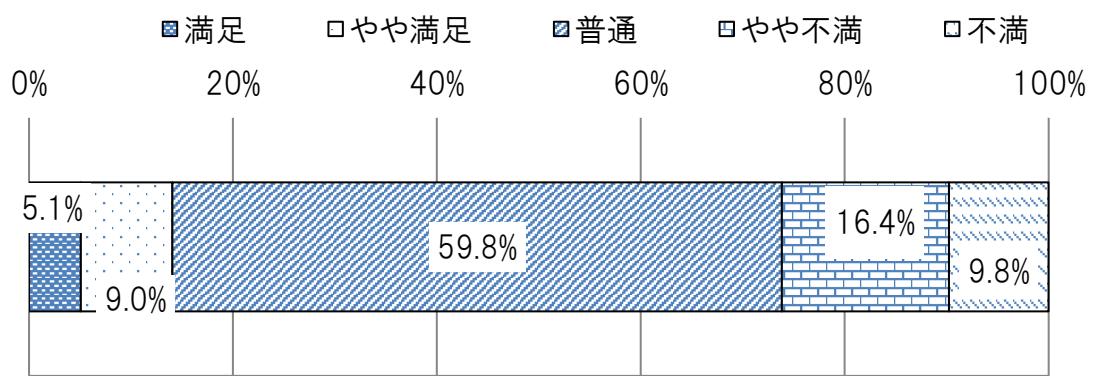
■よく利用する交通手段

「車」が88.2%と最も多く、次いで「徒歩」が6.8%、「バイク」が3.2%となっています。



■満足度

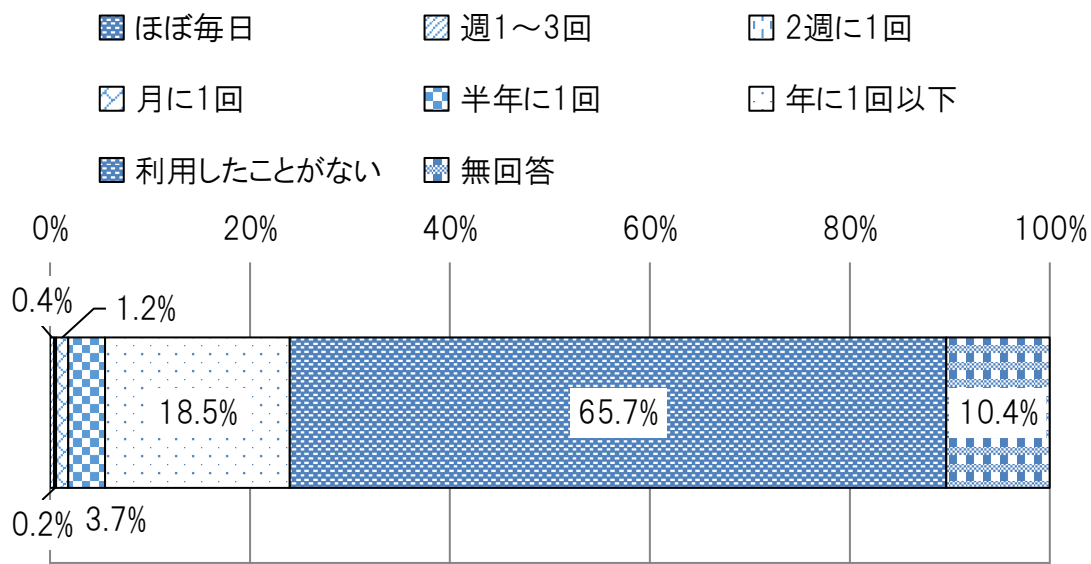
「普通」が59.8%と最も多く、次いで「やや不満」が16.4%、「不満」が9.8%です。



⑥ 豊見城市社会福祉センターの利用について

■利用頻度

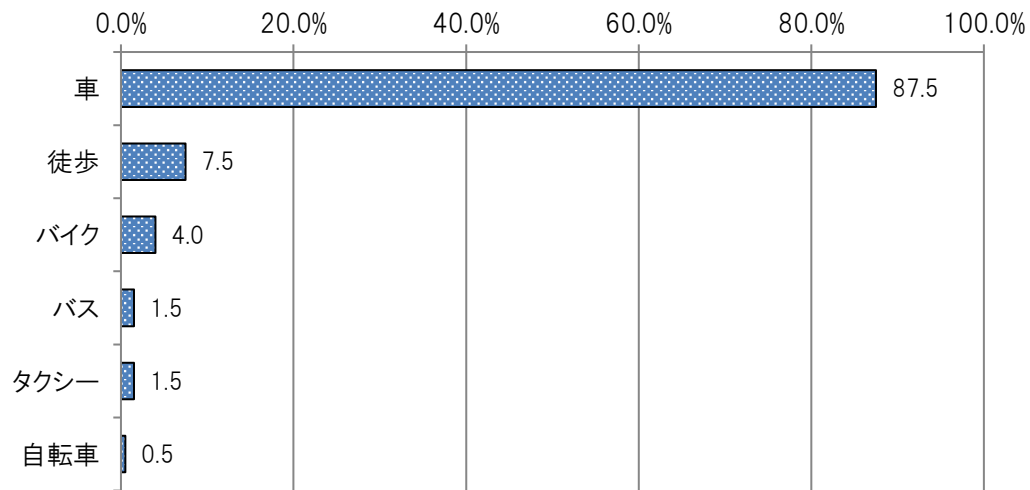
「利用したことがない」が 65.7%と最も多く、次いで「年に 1 回以下」が 18.5%、「半年に 1 回」が 3.7%と続く。「月に 1 回」以上利用する人は全体の 1.8%です。



総数	492 件	100.0%
ほぼ毎日	0 件	0.0%
週 1～3 回	2 件	0.4%
2 週に 1 回	1 件	0.2%
月に 1 回	6 件	1.2%
半年に 1 回	18 件	3.7%
年に 1 回以下	91 件	18.5%
利用したことがない	323 件	65.7%
無回答	51 件	10.4%

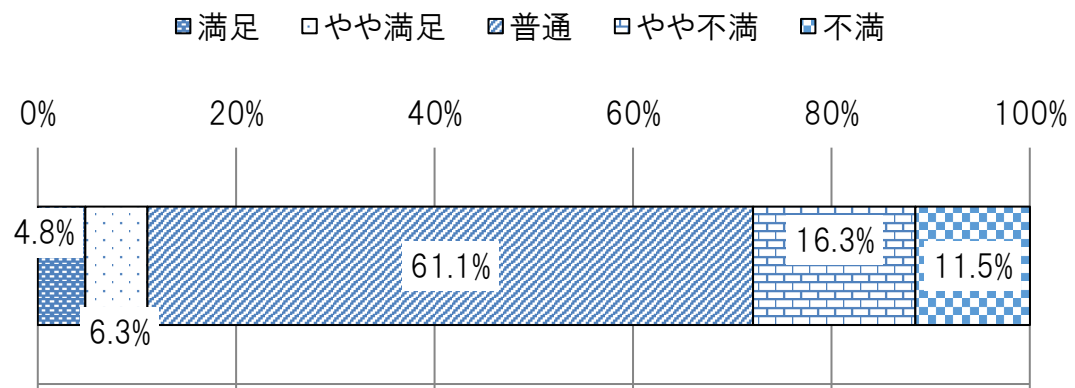
■交通手段

「車」が87.5%と最も多く、次いで「徒歩」が7.5%、「バイク」が4.0%です。



■満足度

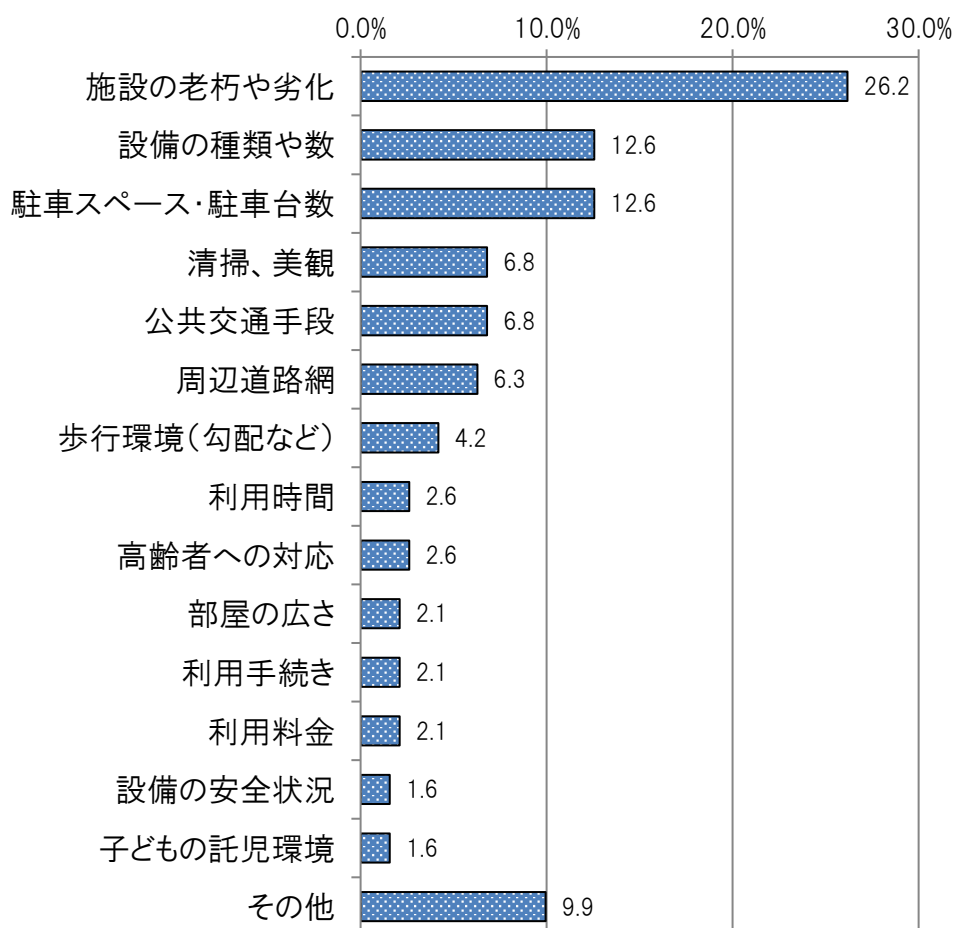
「普通」が61.1%と最も多く、次いで「やや不満」が16.3%、「不満」が11.5%です。



⑦ 豊見城市立中央公民館または社会福祉センターの満足度について

■豊見城市立中央公民館または社会福祉センターの不満点

中央公民館及び社会福祉センターの満足度において、「やや不満」または「不満」と回答された方のうち、不満を感じる点は「施設の老朽や劣化」が 26.2%と最も多く、次いで「設備の種類や数」「駐車スペース・駐車台数」が 12.6%、「清掃、美観」「公共交通手段」が 6.8%と続きます。



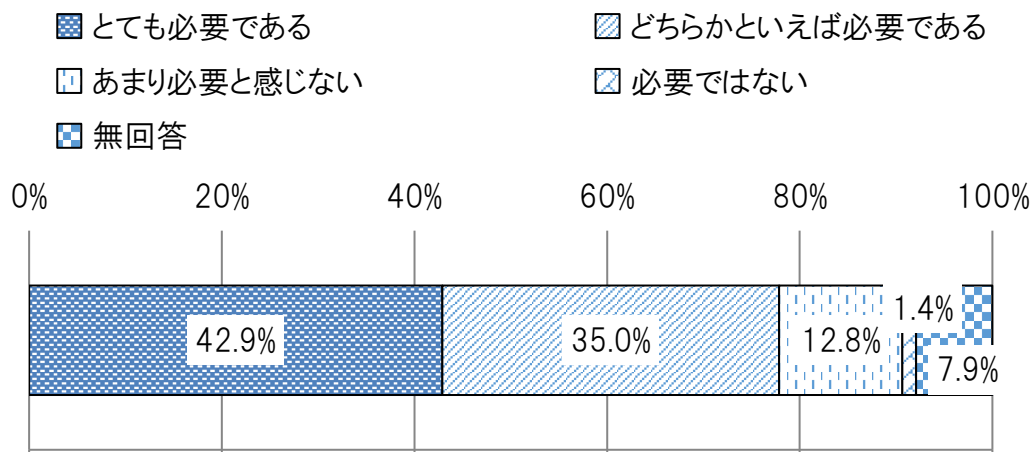
その他

案内を頂いたことがない 情報がわからない イベント情報が入ってこない 福祉センターは何をする場所かわからない 利用したことがない、場所もわからない なんのためにあるかわからない イベント講座等がわからない 市民への施設利用の周知が不十分	情報提供が不十分
トイレが怖い トイレ	トイレが不衛生
イベントが少ない 興味のある市民講座がない 利用手段があまりない 多目的ホールの良質な催事が皆無です。利用不可 利用する機会がない	イベントや講座が充実してない
障がい者への環境	バリアフリーではない
ソフトボールや野球の自主トレ場所がない 特に利用したいものがない	施設が整っていない

⑧ スポーツ拠点エリアにおいて導入する機能について

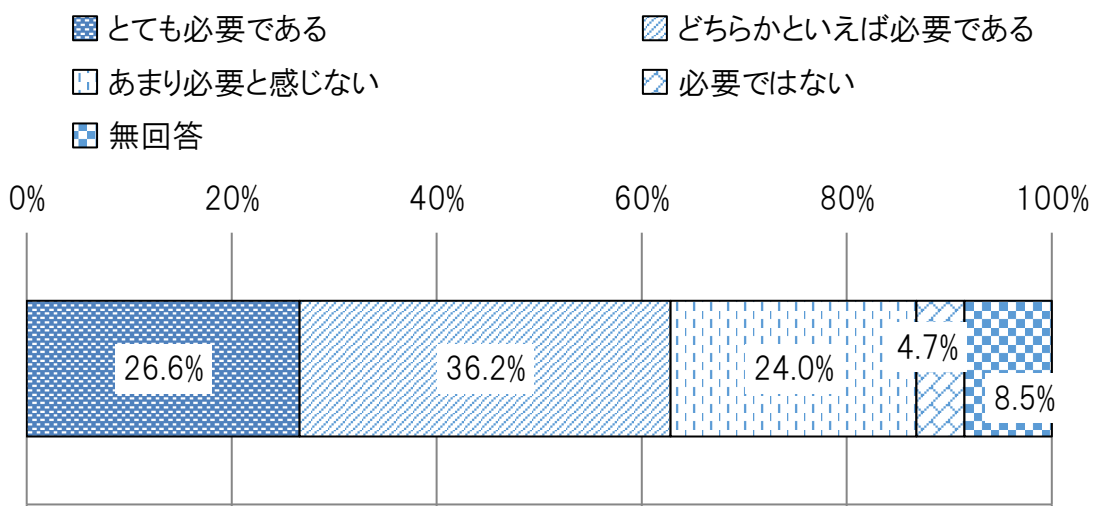
■市民スポーツ機能

「とても必要である」が42.9%と最も多く、次いで「どちらかといえば必要である」が35.0%、「あまり必要と感じない」が12.8%、「必要ではない」が1.4%となっています。



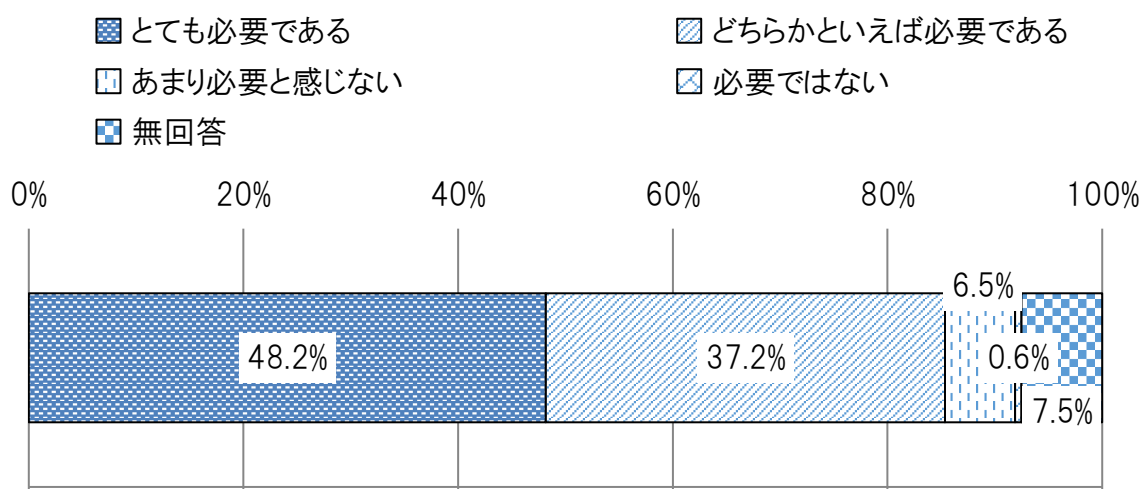
■スポーツコンベンション機能

「どちらかといえば必要である」が36.2%と最も多く、「とても必要である」が26.6%、「あまり必要と感じない」が24.0%、「必要ではない」が4.7%となっています。



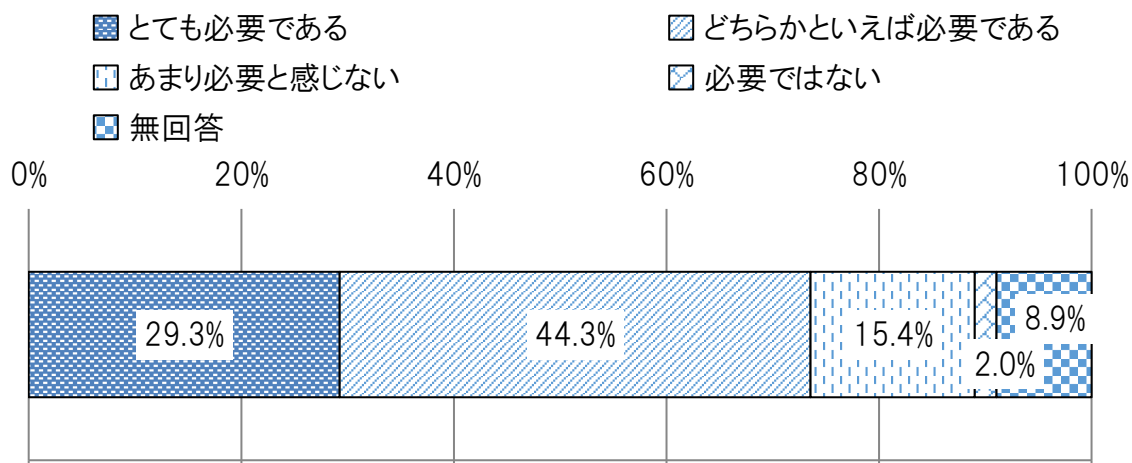
■ヘルスケア機能

「とても必要である」が48.2%と最も多く、次いで「どちらかといえば必要である」が37.2%、「あまり必要と感じない」が6.5%、「必要ではない」が0.6%となっています。



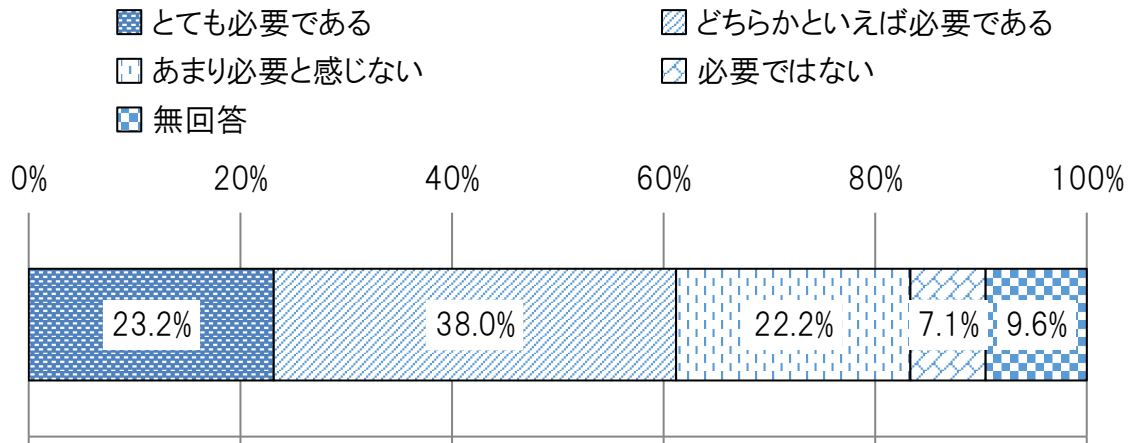
■リカバリー機能

「どちらかといえば必要である」が44.3%と最も多く、次いで「とても必要である」が29.3%、「あまり必要と感じない」が15.4%、「必要ではない」が2.0%となっています。



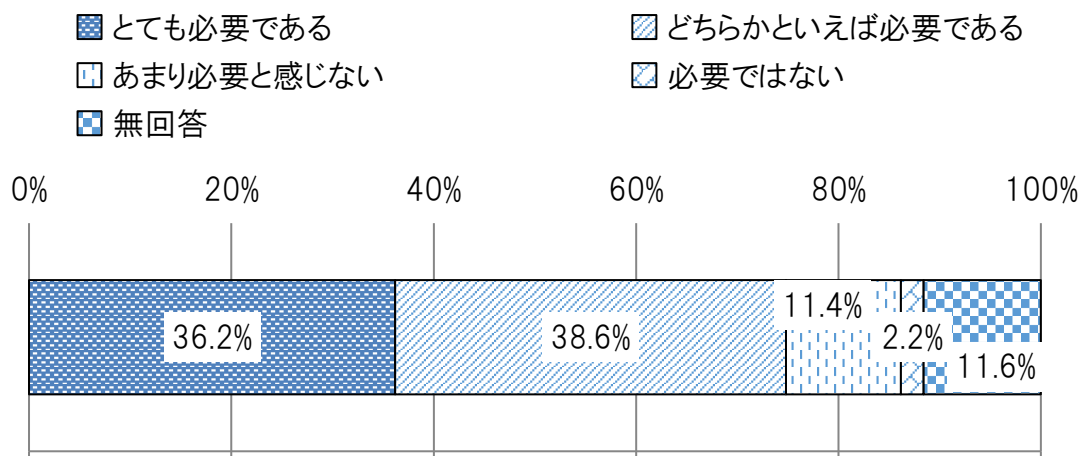
■商業・業務機能

「どちらかといえば必要である」が 38.0%と最も多く、次いで「とても必要である」が 23.2%、「あまり必要と感じない」が 22.2%、「必要ではない」が 7.1%となっています。



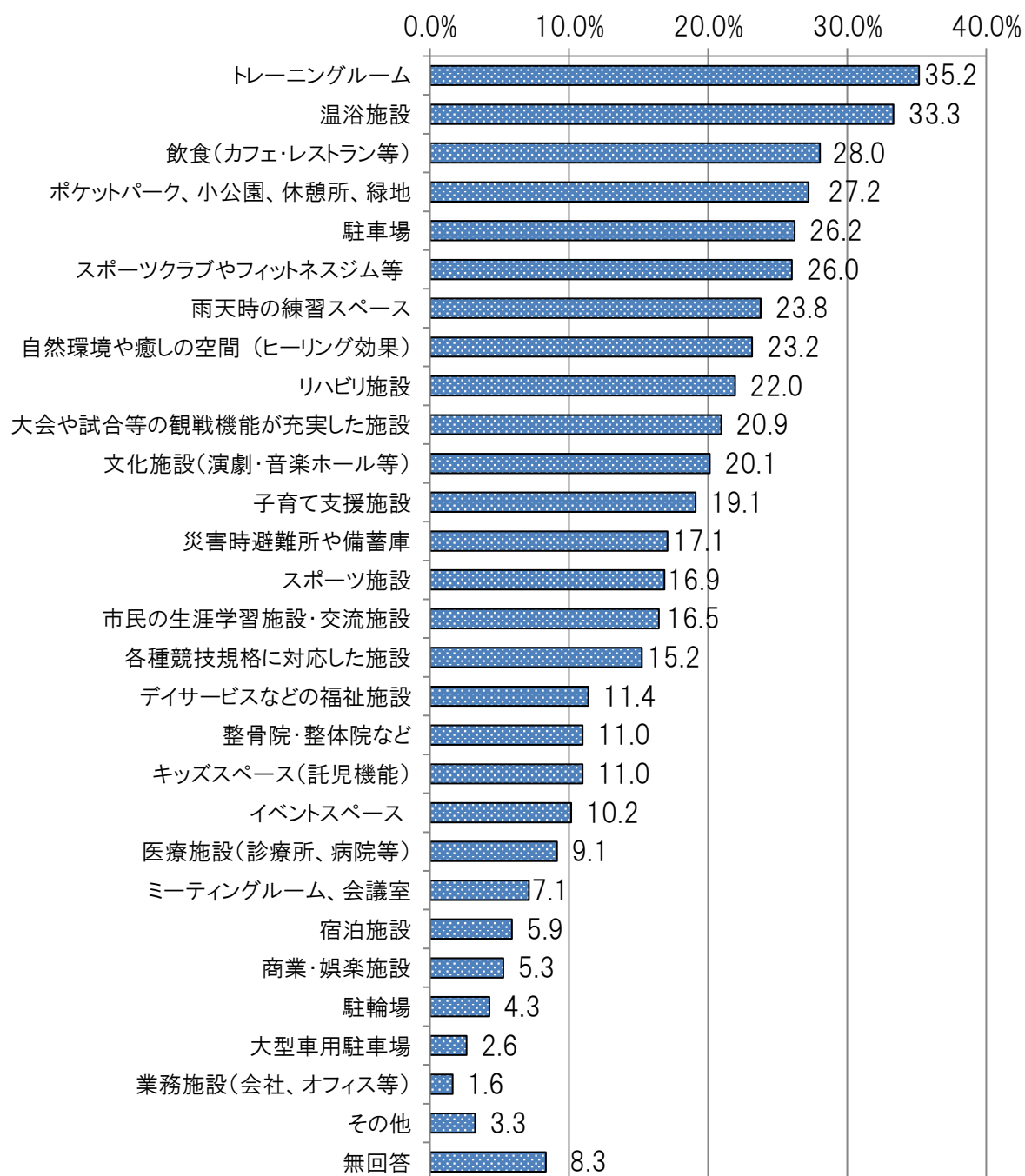
■遊び機能

「どちらかといえば必要である」が 38.6%と最も多く、次いで「とても必要である」が 36.2%、「あまり必要と感じない」が 11.4%、「必要ではない」が 2.2%となっています。



■具体的な施設や機能として必要なもの

先の各機能において、「とても必要である」または「どちらかといえば必要である」と答えた方のうち、具体的な施設や機能として必要なものは「トレーニングルーム」が 35.2%と最も多く、次いで「温浴施設」が 33.3%、「飲食(カフェ・レストラン等)」が 28.0%、「ポケットパーク、小公園、休憩所、緑地」が 27.2%と続きます。



・スポーツ施設（競技名）

バスケットボール、（3 on 3 ができる）	1 2 件
野球	1 2 件
水泳	1 0 件
サッカー	6 件
ゴルフ、パークゴルフ、グラウンドゴルフ、パターゴルフ	6 件
テニス	4 件
卓球	3 件
武道	3 件
室内競技	3 件
バレーボール	2 件
フットサル	2 件
バドミントン	1 件
e-sports	1 件
スケートボード	1 件
ウォーキングロード	1 件
ソフトボール野球の自主トレスペース	1 件
トラック	1 件
自転車	1 件
多目的競技場	1 件

・商業・娯楽施設

映画館	2 件
コンビニ	2 件
サウナ、岩盤浴	2 件
複合的施設	1 件
子どもの遊び場	1 件
コンサートホール	1 件
ものづくり体験	1 件
アートギャラリー	1 件

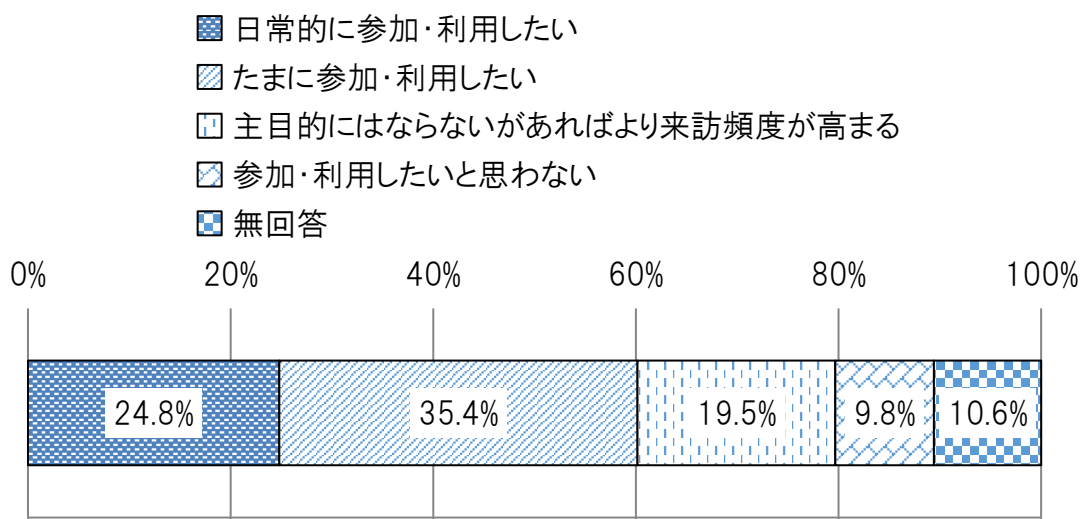
・その他

ドッグラン	2 件
小中学校の大会が開ける機能	1 件
スポーツクラブに属していない人でも自由に使える室内施設。	1 件
歩いて季節の花木を見に行きたくなるような場所	1 件
室内公園	1 件
広い広い緑地公園	1 件
キャンプ場	1 件
多機能を備えているとよい。大型スーパーやモールと複合型になっていると利用しやすい。市民がたのしめる施設、サイクリングやボード、遊具（沖縄市総合運動公園のような）	1 件

⑨ スポーツ拠点エリアでのソフト事業展開に関するニーズについて

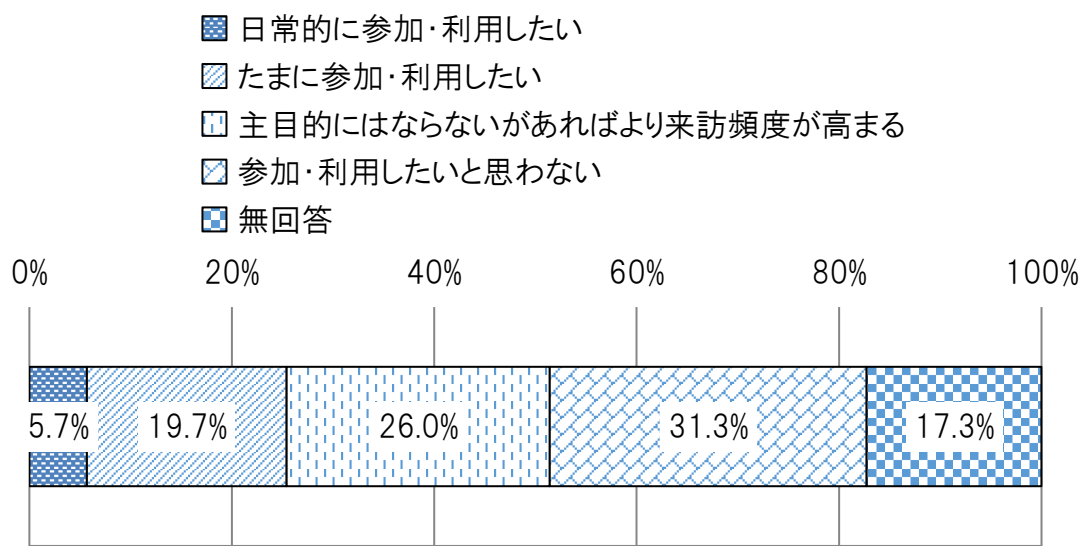
■定期的な無料スポーツ教室

「たまに参加・利用したい」が 35.4%と最も多く、次いで「日常的に参加・利用したい」が 24.8%、「主目的にはならないがあればより来訪頻度が高まる」が 19.5%、「参加・利用したいと思わない」が 9.8%となっています。



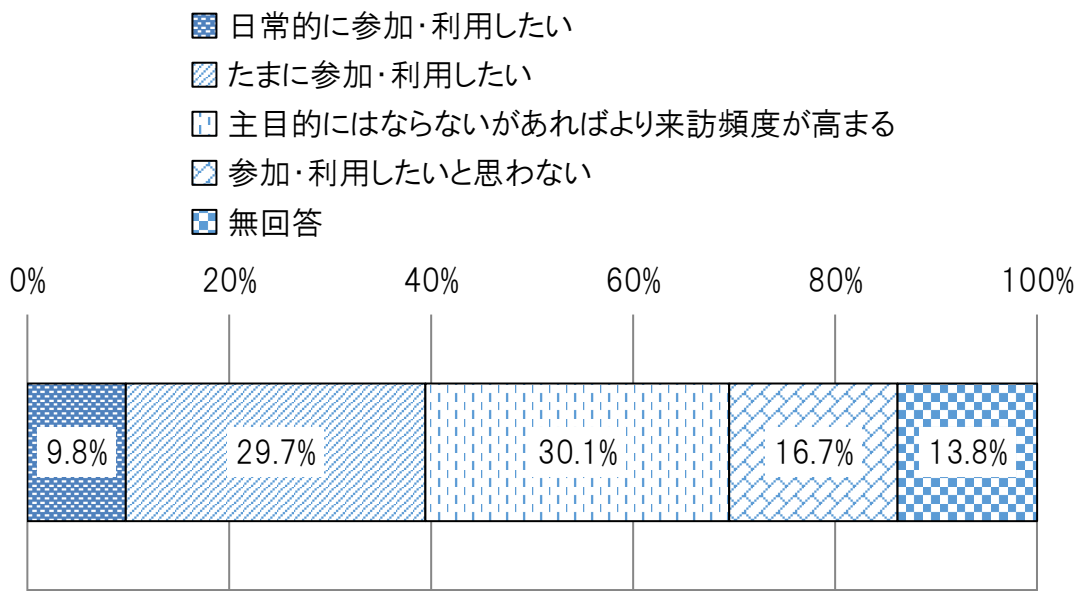
■質の高い有料スポーツ教室

「参加・利用したいと思わない」が 31.3%と最も多く、次いで「主目的にはならないがあればより来訪頻度が高まる」が 26.0%、「たまに参加・利用したい」が 19.7%、「日常的に参加・利用したい」が 5.7%となっています。



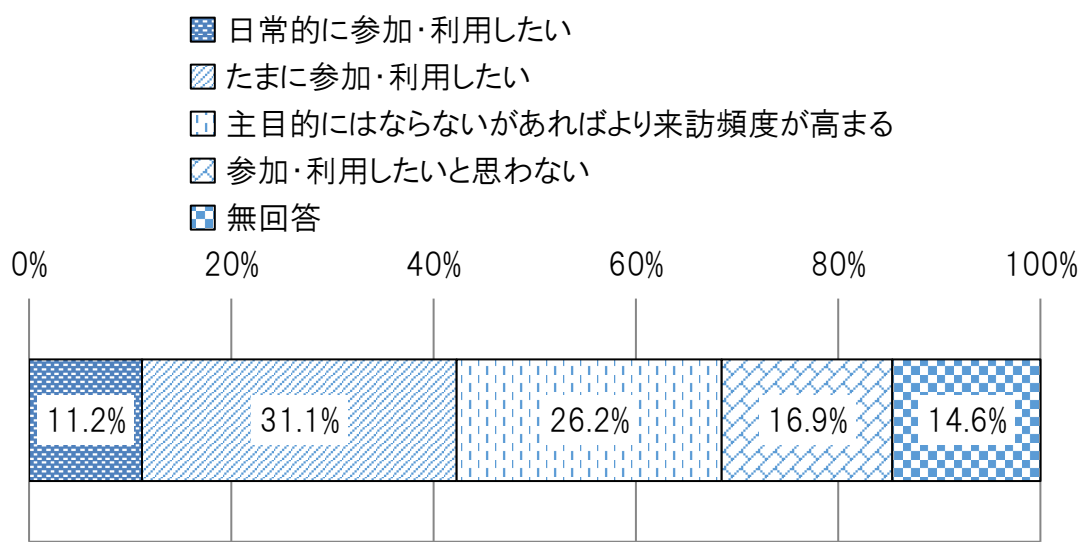
■トレーニングの指導

「主目的にはならないがあればより来訪頻度が高まる」が 30.1%と最も多く、次いで「たまに参加・利用したい」が 29.7%、「参加・利用したいと思わない」が 16.7%、「日常的に参加・利用したい」が 9.8%となっています。



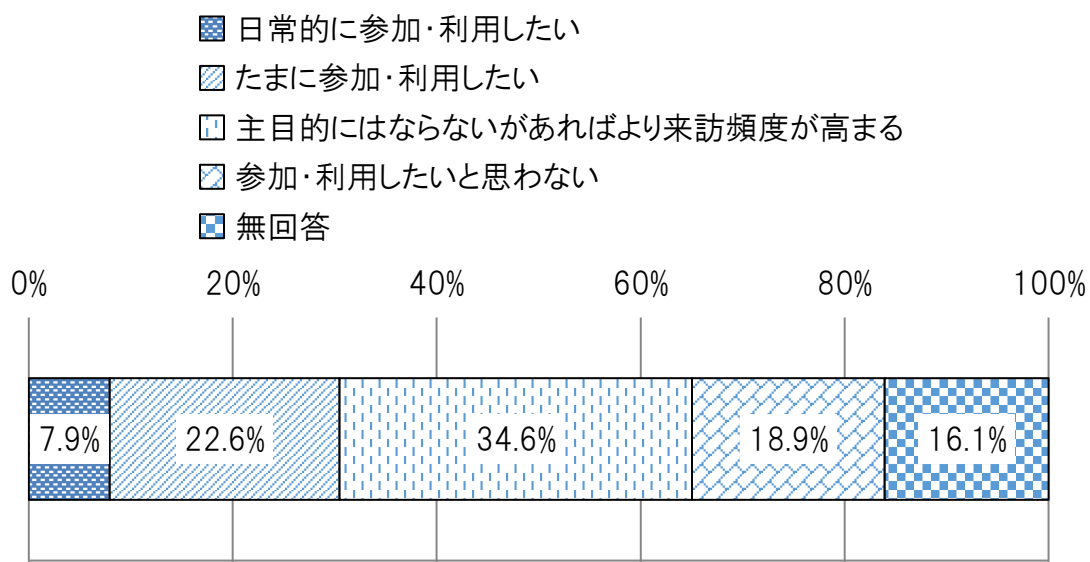
■健康教室ならびに栄養相談教室等

「たまに参加・利用したい」が 31.1%と最も多く、次いで「主目的にはならないがあればより来訪頻度が高まる」が 26.2%、「参加・利用したいと思わない」が 16.9%、「日常的に参加・利用したい」が 11.2%となっています。



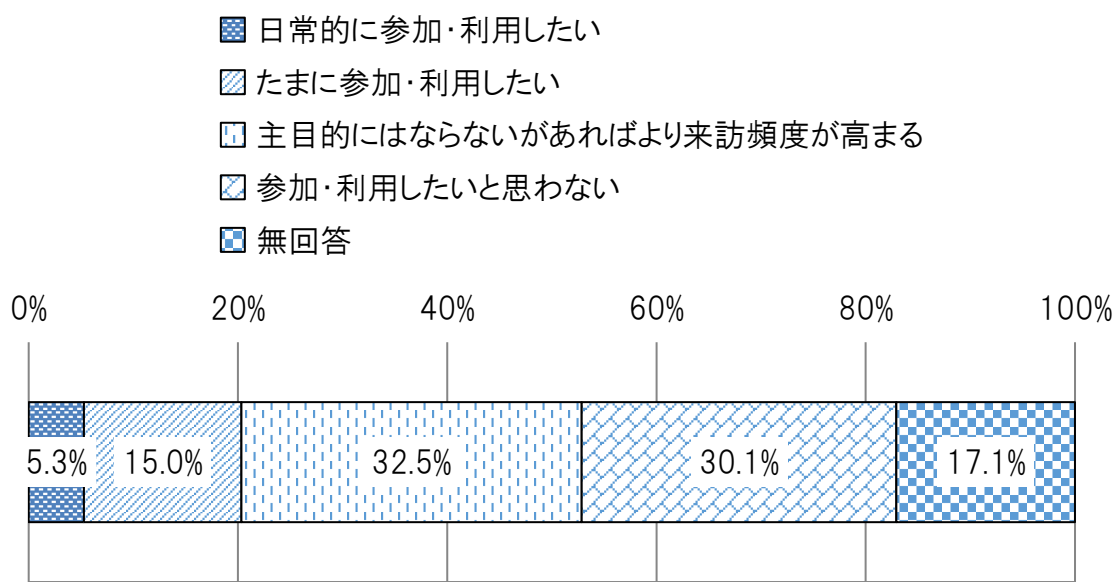
■リハビリ教室等

「主目的にはならないがあればより来訪頻度が高まる」が 34.6%と最も多く、次いで「たまに参加・利用したい」が 22.6%、「参加・利用したいと思わない」が 18.9%、「日常的に参加・利用したい」が 7.9%となっています。



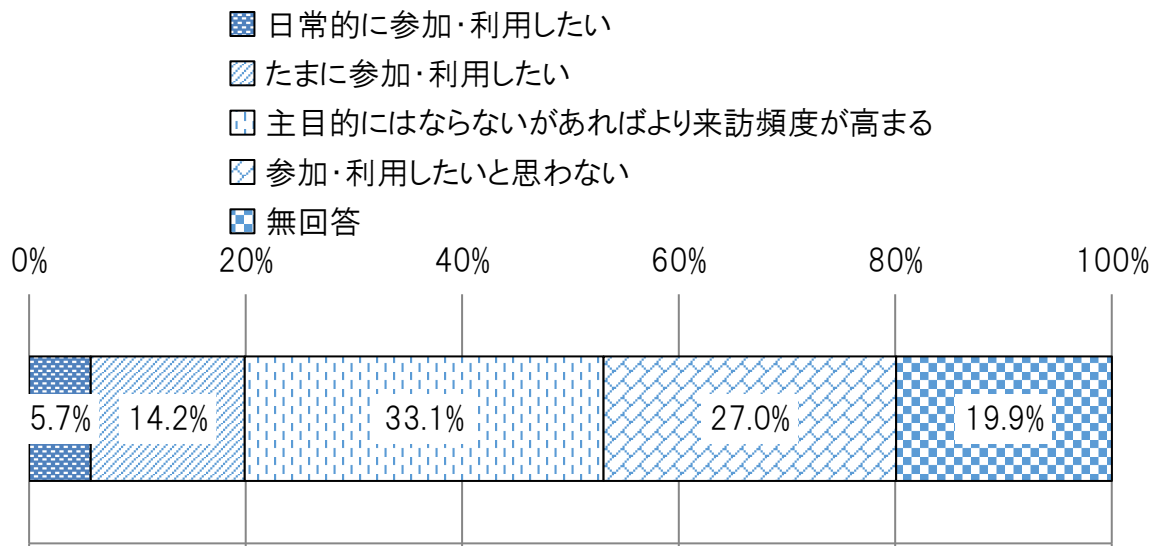
■スポーツ用品（道具・栄養食等）の販売

「主目的にはならないがあればより来訪頻度が高まる」が 32.5%と最も多く、次いで「参加・利用したいと思わない」が 30.1%、「たまに参加・利用したい」が 15.0%、「日常的に参加・利用したい」が 5.3%となっています。



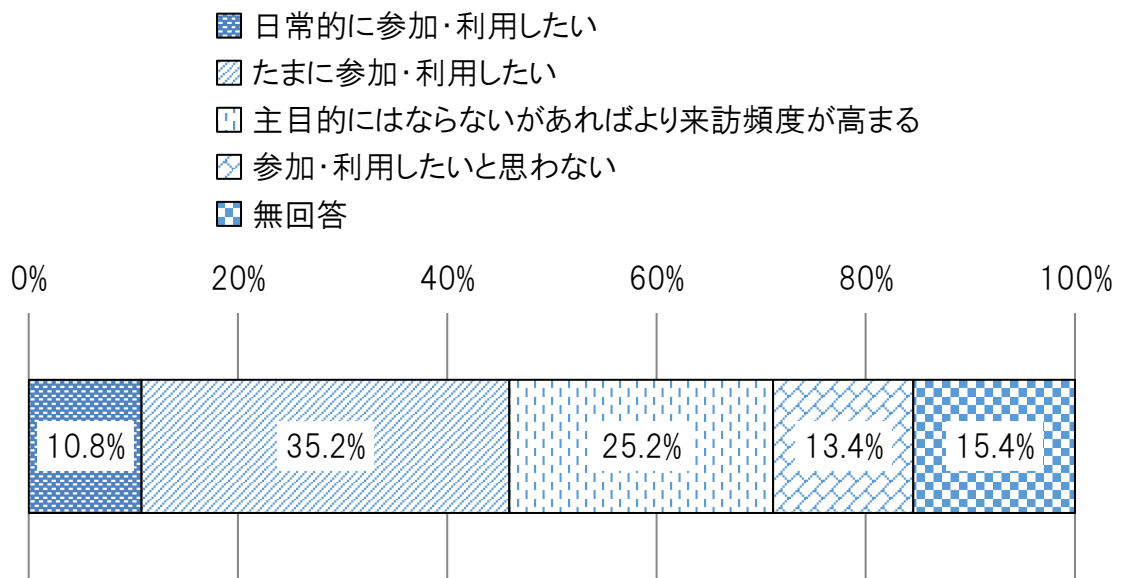
■託児サービス

「主目的にはならないがあればより来訪頻度が高まる」が 33.1%と最も多く、次いで「参加・利用したいと思わない」が 27.0%、「たまに参加・利用したい」が 14.2%、「日常的に参加・利用したい」が 5.7%となっています。



■園内でのイベント開催

「たまに参加・利用したい」が 35.2%と最も多く、次いで「主目的にはならないがあればより来訪頻度が高まる」が 25.2%、「参加・利用したいと思わない」が 13.4%、「日常的に参加・利用したい」が 10.8%となっています。

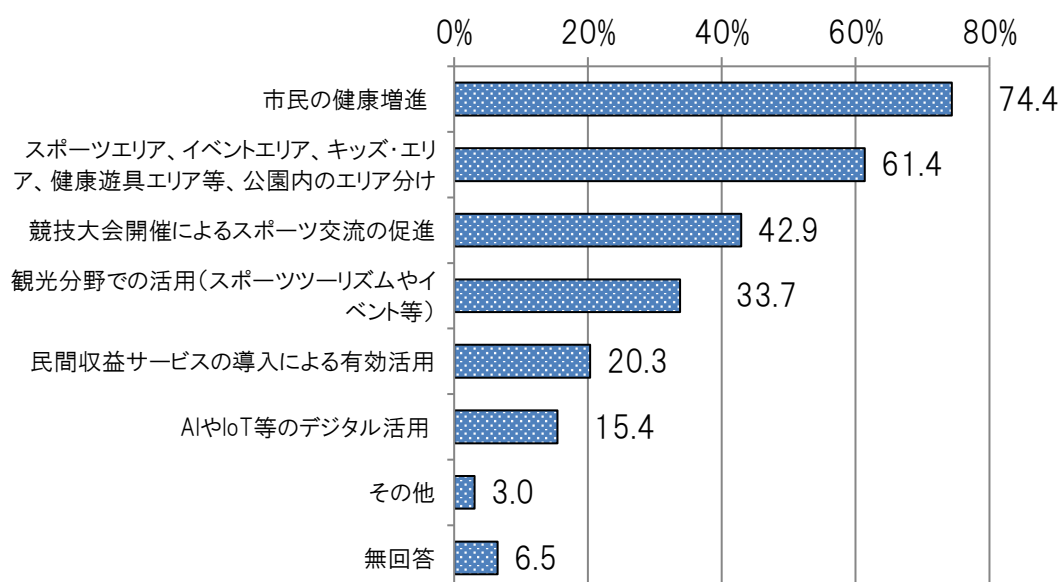


その他

トレーニングルームの充実化
運動、食、カルチャークラブ
家族友人との交流会場
飲料水のサービス
高齢者が参加しやすいコミュニティ
プロスポーツ選手ファン交流会
ダンス教室
障がい者スポーツ教室
音楽文化都市

■重要視すべきと考える項目

「市民の健康増進」が 74.4%と最も多く、次いで「スポーツエリア、イベントエリア、キッズ・エリア、健康遊具エリア等、公園内のエリア分け」が 61.4%、「競技大会開催によるスポーツ交流の促進」が 42.9%と続きます。

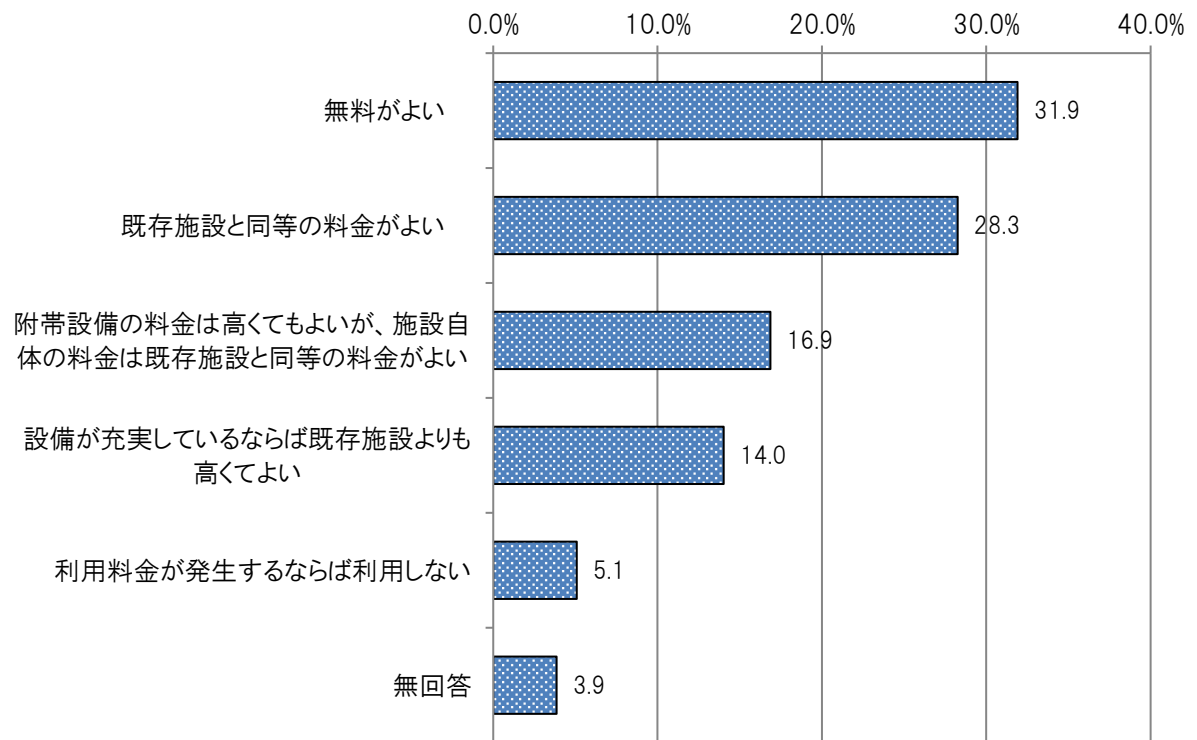


その他

市民のふれあいの場	3 件
プロのキャンプ誘致	2 件
交通量を分散するための施設	1 件
精神健康の増進	1 件
周辺道路網、高速の出入り一番大事	1 件
駐車場	1 件
子どもの交流場所	1 件
雨天でも楽しめる施設	1 件
老人の健康増進	1 件
美ら Sun ビーチを活用した海洋レクリエーションのスポーツ拠点化	1 件
スポーツ拠点はもっと広い場所に設置すべきです。	1 件

■利用料金の負担可能額

「無料がよい」が31.9%と最も多く、「既存施設と同等の料金がよい」が28.3%、「附帯設備の料金は高くてもよいが、施設自体の料金は既存施設と同等の料金がよい」が16.9%となっています。



⑩ 自由意見

・老人会が行う運動が大事である。その施設の充実をもっとやってほしい。今の中央公民館や福祉センターはなんとなく淋しい感じがする。 ・豊見城市に引っ越してきて利用したいと思っていましたが、社会福祉センターを利用した際にあまり行きたいと思える雰囲気じゃありませんでした。施設がリニューアルされて充実するものになるよう楽しみにしています。 ・中央公民館、福祉センターなどもっとPRしてほしい。 ・公民館と福祉センターを一つにまとめ広場を多く取る。	中央公民館、福祉センター
・シニアの野球やソフトボールの自主トレ用スペースが皆無。 ・スポーツを頑張ると半面腰痛等が起こり整体院を利用し改善を図っている。その利用について毎回市から調査票があり、整体院を利用する率を止めざるを得なくなった。病院に行かないようにと頑張っているが調査票の目的がわからない。 ・高齢者のいきがいくりに貢献できることを願っています。 ・高齢者に利用しやすいこと。 ・豊見城市は沖縄で一番老人が多い。若い人の施設より老人が健康で過ごせる環境が必要だと思う。 ・高速道路下を利用して高齢者用運動器具を置きいつでも利用できるようにしてはいかがでしょうか。 ・高齢者もみんなが楽しめる場所にしてほしい。	年配者
・子どもから高齢者まで安全安心して利用できるエリアに最大の心配りを願いたい。 ・幅広い世代が利用しやすい場所づくりが必要。世代の特徴に合わせた環境づくり。屋根付きの食事スペースやレジャーシートを広げてご飯が食べられるスペースがあるとありがたい。 ・小さな子どもも楽しませられるようなイベントや施設があればうれしいです。 ・高齢者だけでなく若年層にも使いやすい施設を。 ・子どもも一緒に利用できる室内ドーム等の多目的施設があるといい（市民割を取り入れるといい）。温水プールもあると子どもと一緒に利用でき健康増進につながると思う。 ・豊見城市は若年層が多いが、他市町村に比べて子どもたちが利用できる公園が少ないように思います。糸満市の平和記念公園のところにある「命の卵」のような大型公園があれば子どもも大人も運動できるし一緒に取り組めるのではないかと思います。 ・たまには子育て中の母親、父親も精一杯体を動かしたいはずですが小さい子どもに合わせると、そうはいきません。キッズスペースがあると私個人はありがたいです。 ・孫を連れて遊具広場にて時間を過ごしますが子どもたちが楽しくはしゃぐ姿を見て微笑んでいます。幅広い年齢層の交流場です。 ・子どもがスポーツに触れて学べる場所があるといいと思う。 ・子どもたちが利用しやすく楽しめる場所があるといいと思います。観光施設ばかり増えて地元の子どもの遊び場所が減っています。	子どもたち

・子どもたちがのびのびと遊べる公園などがあるといいです。 ・子どもたちのため健康づくりのためにもいろいろと考えていただければ幸いです。 ・子育て世帯の多い豊見城市だからこそ、子どもたちにとってのスポーツ拠点を中心に考えてもらえたらと思う。 ・自動車専用道路が近いところもあり、学生のスポーツ大会地として県大会が行われるような施設、幼児でも遊べる公園、家族連れで過ごせる広い緑地、それぞれ来場している人たちが日中いられるよう飲食エリアの設置など。 ・スポーツツーリズムなどの観光分野は海側の豊崎エリアで行うようエリア分けされていた方がよい。 ・上田名嘉地の高速道路の下を整備して子どもたちがいつでも運動できる場所にできないか。	
・スポーツ教室は日中の時間帯が多い。仕事子育てで利用してみたくてもできない。夜間の部（２０時以降）などがあれば利用してみたいと思う。 ・豊見城市民体育館でスポーツ教室を開催されているが先着順だったり平日午後のみ開催がほとんどで、フルタイムで働く人にとっては全く利点がない。平日の夜間土日抽選での実施を希望します。 ・働いている人が利用しやすい時間帯のスポーツ教室があるとよい、ヨガやストレッチ、ウォーキングなど高齢でも親子でも参加でき、継続しやすい教室があるとよいと思います。 ・海も近いのでヨガなどの教室を行ってみてはいかがでしょうか。サップなども含め海とスポーツみたいな組み合わせのイベントができれば豊見城がもっと活性化するように思えます。 ・若者及び高齢者とのスポーツ交流イベントを企画してほしい。 ・個人や夫婦、家族で気軽に楽しみたい。超初心者に優しい指導をしていただけるとやる気が起きるかもしれません。 ・日々の生活の中で健康を維持するために気軽にスポーツが楽しめたらと思う。ジムやスクワット教室など充実してほしい。	教室関係
・エリアの交通網を便利に。 ・スポーツ拠点エリアよりも道路、歩道、下水道等のインフラ整備を優先願いたい。特に市内は歩道が整備されていない場所が散見される。 ・運動公園周辺の交通事情がよくないため行きにくい。また設備が整備されていないように思う。 ・私は何年か前にほかの市町村から転居してきました。すぐに感じたことが豊見城市は道路整備が不十分であり、交通網等ライフラインの循環が非常に悪い印象をうけました。ライフライン等の道路整備が急務では。そこを整備強化していけば今回のテーマは大きく発展、進展するのではとおもいます。沖縄市のゴールデンキングス誘致の大成功を参考にして、豊見城市も頑張してほしいです。応援しています。 ・豊見城市の立地条件アクセスが非常に好条件であることを考えると将来性が期待できるものと思います。もっと積極的に取り組んでほしいです。将来の沖縄県は非常にポテンシャルがあり、都心近郊の豊見城市将来性大だと思います。豊見城市の発展を応援する一市民です。頑張ってください。	交通

・とりあえず遠い。その前に道の整備をしてほしい。時間によっては混みアクセスしづらい。 ・現地までの交通手段の検討を（回数を増やしてほしい）。 ・バスや車で利用しやすくしてほしい。	
衛生面 ・豊見城総合公園はよく利用しますが、ウォーキングコースやテニスコート、市民プールをきれいに整備したら、市民も利用しやすく、市外からも人が来てよりよいまちになっていくと思います。 フィールド ・陸上競技のフィールド内の芝生で子どもたちと遊べないのは非常におかしいことだと思う。サッカーの為だけのフィールドなの。 ・現在、陸上競技場の利用時間について 18 歳未満については大人と同伴でも 20 時までとなっている。家族で利用していても子どもがいるので 20 時には退場しなければならず、この点については改善してほしい。大人と同伴であれば 20 時以降も子どもも利用可能に。よろしくお願いします。 ・陸上競技場のスタンドの位置は逆ではないでしょうか。今の位置は太陽を正面から仰ぎ、イベントの場合スタンドからの観客が少ない。西日よけの屋根を設置してはいかがでしょうか。 陸上競技場の車乗り入れ ・陸上競技場の前の道路は車を通らない方がいい。ジョギングするときに危険。 ・公園内に車の乗り入れはしない。 テニスコート ・豊見城総合公園のテニスコートを利用していますが今の季節は毛虫が多くコートにもいるので怖いです。安心して利用できるように整備してもらいたいです。 ウォーキングコース ・ウォーキングコースは道中が狭く起伏も多い。フラットにして距離も長くしたらよいと思う。 ・ウォーキングコースで一部暗いところがあるので明るくしてほしい。 ・夜でもウォーキングできるように公園や運動ができるような広い施設がほしいです。（公園などもっと電気をつけて明るくしてほしいです）上記理由、夜にウォーキングやランニングをするのですが豊見城市は夜でも歩ける場所がすくないです。奥武山公園や新都心公園のように広くてウォーキングやランニングができるようなスペースがほしいです。 ・散歩コースなど整備されていると心地よい空間になると思う。 ・後期高齢者に入るのでウォーキングコースの整備（ラバー）希望。 ・ウォーキング用のコース、足に負担がかからない路面考えてください。 ・市民体育館のウォーキングを 30 分以上にしてほしい。 ・富山の富岩運河環水公園がよかった。歩きたくなる、行きたくなる、心地よい場所になるといいと思います。 バスケットボール ・学生、児童、一般の方が利用できるバスケットコートがあるとよい。	施設の整備

スポーツエリアを含む近隣に屋外でプレイできるバスケットコートがないと思う。豊崎あたりはとくににじ公園や美ら SUN ビーチのような公園のつくりはよいと思う。 ・街中に（各自治会の集会所とか）バスケットリング（ボールがあればだれでも楽しめる。一人でもグループでも大人でも子どもでも。）誰でも利用できる。 ・バスケットリングが総合公園内にあるといいなと思います。 プール ・プールは室内プールが望ましい。 ・屋内プールがあるといいなと思います。 ・プールを屋根付きで年中利用できるようにしてほしい。 ・室内プールを建築してほしい。サウナもあればたくさんの利用者がいると思う。現状プールは野外で、夏しか使えないうえ汚い。 野球 ・硬式野球の練習場が市内にないので、近隣の市町村へ移動して練習している。 トレーニング ・コロナウイルスの影響で自宅でトレーニングし始めたことをキッカケにジムへ通い出す人が増えたため、大人数が利用できるトレーニングジムが出来たら嬉しい。 ・西崎運動公園と同様に充実させてほしい（トレーニング機器）。 ・市民の健康増進&トレーニング指導、リハビリ & 温浴施設 & 癒し空間、市民の生涯学習施設 & 交流施設を中心に作ってほしい。 ・100 円くらい払ってジムやプールの利用などめっちゃいいと思う。あと、岩盤浴など。 公園 ・室内の公園があると嬉しいです。大人でも遊べる公園があったら通いたいです。 シャワー ・そこ(公園)で遊んでシャワー等の施設があると便利だと思います。 ・よく皆さんと話すのですが運動した後のシャワー室料金をいれて 5 分か 10 分必要である。あれば利用したい。ここから出かけるようになったら助かります。 安全安心 ・豊見城総合公園の街灯が少ないので、夜は少し心配です。 ・仕事の後にも利用しやすいような利用時間の設定や防犯面での安全確保も考慮してほしい(夜間に利用する際に女性でも利用しやすいようにしてほしい)。 その他 ・ご飯も食べられるところがあるとよりよいです。また、リラックスルームとかがあるといいのかなと思います。 ・カフェやレストランなど居心地のいい場所からスポーツが見学できるというのでもいいかもしれません。運動が苦手な人も気後れすることなく利用できる施設を期待します。 ・施設内にカフェエリアのようなものがあれば利用したい。 ・豊見城市民のみなさんが健康的で楽しく過ごせる居場所をぜひとも作	
---	--

ってほしいです。 ・子ども大人それぞれが来館してどちらかを待つだけではなくどちらも楽しめる利用できる設備があればいいのでは。小さな図書館があってもいいのかと。 ・レンタサイクル、トレーニングルーム小型ウォーカー、サイクル、糸満のような大型室内プール設備があると泳げない子どももいなくなるかも。	
・豊見城市は広いですから、同じスポーツ施設でも 1〜3 か所は平等に作ってほしいです。 ・人口も増えてきたので 1 か所だけでなく 2〜3 か所あればいいと思う。 ・気軽に利用できる市民体育館が市中心部にあればいい。現市民体育館は市東部地域の住民にとっては遠すぎる。パークゴルフ場の早期実現のためにスポーツ拠点エリアの一部を利用してはどうか。 ・市民体育館ができてうれしい。豊崎にももっといろいろ作ってください。 ・いつでも利用できるようにすること。地域ごとに数か所設置すること。 ・長嶺城址総合公園にサッカー場を大きく整備すれば作る必要はない。 ・瀬長島野球場には 4 面の球場がある。これ以上作る必要はない。	施設の充実
・沖縄は肥満人が多いから広告等で運動ができる場を教えてほしい（料金）。 ・内地でチケット 10 枚 2000 円いろいろと器具とか置いてあってシャワー付き時間は 1 日中できる場所に行っていた。（とてもいいと思った）。	広報
・車でしか行けない立地なので駐車場の確保は必須だと思います。車で行く場合、運動後にそのまま乗れないので、汗を流す施設があるとよいです。例えばファミリーで行く場合、車で行きお父さんはスポーツ後入浴、お母さんと子どもは公園で遊び（その後入浴）、ご飯を食べて帰るという休日の過ごし方もいいかと思いました。 ・駐車場をふやしてほしい。交通便をよくしてほしい。 ・豊見城総合公園の駐車スペースがより整備されるとさらに利用しやすい（奥の方が街灯があっても暗いので怖い）。	駐車場
・市民以外が頻繁に利用している状況がある。施設は市民のためのものではないかと思う。誰のための施設かをよく考え拠点エリア構想をしてほしい。サッカーばかり誘致するのがどうしてか、と思う。市民の健康維持促進の為によく考え構想を願う。 ・市民が気軽に利用できること、プロのキャンプ等で長期間使用すれば市民が利用しづらい。 ・市民の方々が楽しい日々を過ごせる施設にしてほしい。 ・観光客向けではなく近隣の住民が利用しやすい施設がよい。	市民ファースト
・基金残高が残り少ないと聞いている。財源の目処を示してほしい。	財政
・空港に近い豊見城市、県外の人、企業、プロスポーツ選手にとっても魅力的な位置にあるため、もう少し環境を整えていただくと市民の方にも身近にプロスポーツ選手とふれあえて夢や希望が芽生え活力ある豊見城市になっていくのでは、経済にもつながるのでは、海外に合宿に行かれるプロスポーツ選手もいると伺いあたたかい沖縄がもっと活用	プロの誘致

できれば嬉しいですよ。 ・プロスポーツのキャンプ誘致が一番盛り上がりスポーツに触れ興味を持ってもらにはいいと思う。子どもたちがスポーツに興味を持ち競技人口が増えれば強くなるし、活気も出る。そのためには沖縄アリーナのような建物は必要。 ・プロバスケット観戦で沖縄アリーナは最高です。豊見城も近づけるといいですね。 ・他市町村のようにプロ野球場規格を作りキャンプ誘致をするなど。 ・那覇糸満東風平にはプロ野球のキャンプ誘致ができていのに豊見城市には全くそんな話がないのはなぜ。 ・主人が糸満市のキャンプ事業の手伝いをしていましたが、プロの選手たちが雨天時に練習ができなくなっていたようです。室内で練習できる施設があれば豊見城市を選んできてくれる方も増えるのではないのでしょうか。	
・テニスコートの予約キャンセルもネットでできるようになったらうれしいです。 ・施設支払い方法にクレジット導入してほしい（ネット決済）。平日支払いに行けない。コンビニは手数料がかかるのは不便。許可書原本発行は不便。施設課支払いのパソコン、プリンターはスムーズでないで時間かかる。窓口受付ですぐに人が来ない。対応が遅い。予約サイト使いづらい。	予約関連
・スポーツ観戦が多くできるといいなと思います。子どもたちがスポーツやエンタメが楽しめ夢を持ってくれる事柄がたくさんほしいです。	観戦
・プールを含め陸上競技場もトイレが汚い。 ・ファミリーでも行けるような清潔感のあるトイレ。	トイレ
・ちゅら SUN ビーチや豊崎周辺の駐車場が有料になったことで利用回数は減りました。 ・無料のスポーツジムがあると助かる。民間のスポーツジムは高いと思うしつづかない。 ・無料と有料を分けて整備し高いサービスや老朽化を防ぐための設備資金を確保する長い目の選択をするべき。その場合飲食や物販に地元びいきをして魅力が下がっては意味がないので未来每きちんと計算して立てるべき。 ・利用料金が発生するとやはり家計に負担になり結局は利用が遠のくと思います。市民のための施設だから負担にならない程度でよいと思います。金儲けの施設ならいいです。 ・市民体育館のトレーニングルームは市民 100 円でいいと思う。 ・市民や市への税金を納めている人は無料で利用できるべきだと考えます。ビーチを利用する駐車場、周辺の駐車場、その他の利用料金が観光客、他市町村の方々と一律なのは常々納得できないでいます。 ・姉が視覚障がい者ですが、障がい者用のスポーツを関連の機械器具等が少ないと感じます。特に豊見城市においては他の市町村より少なく感じます。なるべく安い料金もしくは障がい者は無料とかそういうことも考えてほしい。 ・多くの豊見城市民に利用してもらえように利用料金は低コストがいいと思います。ちなみに豊見城市民体育館のトレーニングジムの 1 時	利用料金等

間 200 円は高すぎます。100 円程度が妥当ではないでしょうか。 ・豊崎のちゅら SUN ビーチエリアはウォーキング等の体力づくりや癒しにも市内で最適の空間であり、毎日でも利用したいが駐車場が有料になり市民の利用を拒絶している感がある。いつもがらんとしており周辺の道路沿いに駐車してウォーキングやジョギング等をしている。市の考えが理解できない。健康の増進やスポーツ振興をうたうなら既存の施設の有効利用をもっと図るべきではないか。 ・いつでも気楽に参加できるスポーツ施設があれば最高。しかも無料か、低料金で利用できれば毎日でも行きたいです。 ・無料または低料金であること。 ・豊見城市民体育館トレーニング室の利用時間の 1 時間は短すぎるのではないか。南風原では 2 時間で 260 円と、とてもよかった。 ・スポーツ合宿や大会で得た収益を市民に還元してほしい。例えばフィットネスエリア、シャワー無料。	
・シャトルバスがあれば利用しやすい（シニア料金設定が欲しい）。 ・巡回バス導入があれば子ども～高齢者まで広い年齢層が利用しやすい。雇用も生まれる。 ・過度な財政支出による設備投資はやめてほしい。 ・市民が気軽に運動できる場所が欲しい。市内を周遊している送迎バスが頻繁にあると利用しやすい。有料年間バスでもよい。	バス
・プールの修繕も必須と思います。 ・陸上競技場やプールが老朽化している。箱モノだけでなく交通網を含めた開発が必要だと考えます。 ・運動公園の老朽化に伴う改修工事及びジョギングコースの整備（路面にゴムチップ等を舗装など）。	修繕
・アンケートはもう少し薄い紙でもよい。回答をハガキや web アンケートにするなどして。 ・アンケートの結果はどこで知ることができるのか知りたい。	アンケート
・私は普段あまりスポーツに関心がなくどちらかというと、豊見城市が文化芸術の発信拠点となるような地域になると嬉しいなと感じております。スポーツ拠点エリアの創設と同様に、ここ豊見城市に住む市民の方々の芸術の発表の場があることも大切なことなのではないかと思ひます。 ・豊崎地区には書店がなくて困っています。イーアスやあしびなートミトン地域での小中学生や幼児の絵本や読書が全然できなくて文化面での設備も考えてほしいと思います。戸田書店がなくなって本当に困っています。 ・社協や公民館等は収益性を高めることはできない。従って PPP、PFI の事業は不適である。以上事業の検証を内部的に行った上でのアンケートなのか疑問である。 ・過去活躍されていた人たちにスポーツ指導のボランティアを依頼してみるのでもいいのではないかと思います。みんなが楽しめる健康エリアとプロを目指したい人のためのエリアを分けて作ったらいいのではないかと思います。 ・構想のための構想策定ではなく現実可能な構想策定を切に切望する。コンサルへ丸投げの策定ではなく公務員みずから必死に模索し、実践	その他

し実現可能な構想にしてください。 ・どんな立派な計画で構想を進めても運営していく人材がいなければまったくもって税金の無駄遣いだと思います。豊見城市役所内にそのような職員は育成されているのでしょうか。将来の街づくりをどれだけ情熱をもって取り組んでいくのかキーマンになる職員は居るのでしょうか。豊見城市に対する外からのイメージと行政機関としてのだめな実態のギャップに市民としてあきれるばかりです。	
・スポーツ拠点エリアを構想する理由がわからない。もしくは曖昧です。わざわざ混雑する地区に構想するのも先を考えていないことになる。車以外の交通手段も絵にかいた餅にすぎないように思える。豊見城の将来を考えるのであれば点と点で考えるのではなく線と線をつなげて考えてください。	
・県道から離れて排気ガス影響も少なく拠点として適当と思う。また、他市町村からも利用したくなる公園にする。	
・スポーツ施設や文化芸術施設を改修したりするのはありがたいがその後ハコだけおいておくのではなくうまく利用活用できる専門家やアイディアマンを置くことが重要。楽しいイベント（多くの人が参加できる、集まるような）やプロチームを誘致したり、常に予定が入っている状態を作れるといいと思う。	
・高速道路のインターすぐ側だし、場所としてはよいところだと思う。	
・瀬長島の空き地をもっと利用してほしい。	
・もっと人をふやしたい。チームを立ち上げたい。	
・以前やったようなアウトドアフェスやフードフェスは盛んになってほしい。	
・長寿県沖縄で豊見城市が一位になれるくらい健康増進できる施設になることを希望する。	
・コロナ対策がしっかりできているとありがたいです。	
・イベントが行われる場合食事飲み物などの販売業者を入れてほしい。全国規模のスポーツ大会を企画した方が子どもたちの希望や成長につながるし、また観光面でも収益があれば市としてもメリットがあると思う。	
・アジアを見据えた拠点施設となるような町づくりを実施していただきたい。	
・YZD 豊見城ジム（キックボクシング）に通っています。豊見城から全国にはばたく選手、有望な子どもたちがたくさんおり可能性を感じています。町をあげて支援していただきたいですし、体育館で大会やイベントを誘致すると面白いと思う。サッカー野球キャンプ試合の開催も楽しみにしています。	
・パークゴルフ場の早期実現お願いします。	
・豊崎海浜公園の遊歩道で自転車やスケボーのマナーが悪いので遊歩道は走行禁止にしてほしい。無灯火の自転車は警察と連携して取り締まりをしてほしい。	
・一見さんお断りの施設になってしまっていないでしょうか。	
・野良猫、犬の除去（現在公園内に捨て猫が多く繁殖している。餌を与える方がおります。衛生上も悪いし犬の散歩もやめさせてほしい。）。	

・親の介護のためほとんど利用できませんので、参考にならないと思います。	
・このアンケートに答えることで豊見城市が他の市町村よりスポーツ施設が充実していない。とおもいました。これからの発展を期待しています。 ・沖縄市が琉球キングスのホームとして施設等を充実しているように豊見城市も「テニス」の豊崎の施設をもっと充実させて大会か合宿が開催できるようにして「テニスの豊見城市」としてはどうでしょう。	
・与根にある体育館は立地面でとにかく不便で使いにくい。場所もわかりにくく、知名度も低いのでネーミングライツがまだ決まらず、お金をかけたわりには、キングス等の試合があるわけでもなく、議員、前市長の実績のない自己満足になっていると思います。豊見城市スポーツ拠点エリア構想の方が利便性、使用価値としても高いと思います。駐車場については課題と思いますが…。	

(3) 施設整備に関する事業者ヒアリング調査結果

■建設事業者

設問			建設事業者 A	建設事業者 B	建設事業者 C
問 1	対象地の魅力や課題、民間活用における市場価値について	魅力	・スポーツコンベンションにおいては、道路などのアクセス面が課題になることが多いが、本エリアは今後整備される空港道からもアクセスでき、有利である。市外の方を対象とする施設としては、アクセス性がよい。	・那覇に隣接し、ベッドタウンとしての位置づけもあり、ファミリー層の人口も多い。住民サービスなどの施設群という意味での再整備は魅力的。 ・プロスポーツのキャンプ用地としての可能性が広がるのであれば、空港からのアクセスもよく、魅力的な可能性を秘めている。 ・高台にあり、非常に景色もよい場所。	・豊見城 IC が近く、交通アクセスがよい。那覇空港からも近い。 ・市役所や商業施設が周辺に点在しており、地元住民を中心に活発な利用が期待できる。
		課題	・アクセス面は悪くないが、郊外の位置にあるため、わざわざ来なくてはならない。魅力的な施設を整備しなくては、人が来ない。	・交通インフラがどれだけ太くなるかが課題。車移動のみのアプローチは、集客面ではなかなか難しいシチュエーションと考える。 ・目的性のあるコンテンツ（プロチームのキャンプや、地域住民の使いやすい施設群、という施設）が求められる。	・北西部は傾斜がきつく、有効な土地活用がしにくい。 ・市街化調整区域のため、民間収益施設の建築に制限がある。
		市場価値	・収益を生む施設が必要だが、スポーツゾーンに人が集まれる施設を作れるか。それに付随して、ウェルネスやビジネスゾーンがあるとよい。	・ターゲットと提供する機能が明確になれば、自ずと民間活用も実現性を帯びてくる。例えば、住民向けのサービスであれば、それに即した事業者も出てくるだろう。	・南西部にあるサンエーへの動線を確保できれば、民間収益施設の可能性が広がる。
		その他	・沖縄県内はスポーツビジネスに力を入れるべきと考える。トップチームの誘致と一般市民との交流という点では、リカバリー機能など、複合的なスポーツ施設にすることで魅力が上がる。	・沖縄 SV の拠点になるのであれば、プロチームにとってのクラブハウス機能を設ける等、サポートすることも可能性として考えられる。	—
問 2	魅力的なエリア整備のアイデア		・施設については階層式での整備が考えられる。1 階が一般利用者、2～3 階がプロアスリートの利用など。動線が重ならないように留意が必要。 ・トップアスリートターゲットにした施設（海外の施設など）を参考にしてみよう。 ・建物をつくる場所とつくらない場所で、整備水準（投資）を分けるべき。公園やランニングコース、屋外のイベントスペースなどにはあまりお金をかけず、施設の整備に費用を充てるべきと考える。	・どのような方々に、どのようなサービスを提供する、という対象者を整理した方がよい。プロスポーツと一般市民の利用が両立することが望ましいと思われるため、健康寿命を延ばすという点から、ウェルネスやリハビリに用いるような機材等をプロだけでなく市民も使えるような在り方がよい。 ・合宿を誘致できるような設備（合宿所、セミナールーム、会議室等）があるとよい。 ・憩いゾーンでは、朝や夕方はウォーキングの方がいる。軒下空間など園路を整備することで、雨の中、あるいは真夏でも楽しめるような場所になる。 ・防災機能を設けた広場空間があれば、多目的に使える。市民イベントなどの開催も考えられる。 ・施設群が緩くもつながっていて、市民が楽しめる空間が大事である。	・スポーツを本格的に行う人間だけが訪れるのではなく、その家族や関係者が一緒に過ごしやすいエリア整備を行うことで来訪者を増やす。

設問		建設事業者 A	建設事業者 B	建設事業者 C
問 3	来訪者を増やす工夫や導入機能のアイデア	・奥武山公園で新たなスタジアムを整備予定であるため、差別化する必要がある。屋内型の施設をつくることも1案。スポーツに特化し、そのトレーナーが集まる施設、そして関連するビジネスを設ける。 ・屋内施設を利用する方が通年で使用できること。 ・県内各所でプロチームがキャンプをしているが、その合同イベントを実施すると、団体同士で交流する仕組みがうまれる。サッカーなど、沖縄県内にプロが集まっているのに、勿体ないと感じる。	・プロスポーツチームの誘致と市民の利用が重要。 ・市民利用とプロスポーツのキャンプに特化した施設をつくり、見学者を受け入れる素地があればそれに付随した施設、マグネットになる施設をつくってもよいと思う。 ・参画する企業に対しての助成やインセンティブ等、受け入れる素地があるとよい。 ・プロスポーツのキャンプでは体のケアができるような設備が求められる。利用ニーズを拾って整備することも必要である。 ・陸上競技場のスタンド下は、プロが使うには機能が大変不足している。クラブハウス機能、空調付きのロッカールームやミーティングルーム、あるいはシャワールームは、運動する人にとって最低限の機能であるため、必ず整備すべき。屋根付きのスタンド等は、なくてもいい、あるいは一部でもよいと思う。 ・プールについては更衣室をしっかりと整備し、子どもたちが入っているのを保護者が屋根付きの休憩スペースで見守れるような機能はあってもよいと思う。	・児童向け遊戯施設と保護者が休憩できるカフェ等の併設。 ・ジムやスポーツクラブ運営事業者の誘致によるスポーツ教室の開催。 ・利用促進を図るためにも避暑施設が必要。 ・市民向けの施設とするか、スポーツコンベンションなどの来訪者向けの施設とするか、ターゲットをどちらかに定めた方がよい。
問 4	望ましい配置・ゾーニングのアイデア	・スポーツゾーンとウェルネスゾーンを一体的にして施設を整備し、憩いゾーンを北側で大きく確保、ビジネスゾーンを原案の通りにするのが望ましい。 ・中央（スポーツゾーン）に屋内スポーツ施設を設け、隣接してサブ施設、また周辺には公園を設け、ランニングなどを楽しめるように整備。 ・スポーツよりもウェルネスの色を強くイメージした施設がよい。アスリートなど、個人でトレーナーやジムに通っているイメージだが、それを公共の場所でできるとよい。	・ゾーンは当初案でよいと思う。各機能をどのように有機的につなげていくかが重要である。 ・駐車場から各施設への歩行者の動線を検討する必要がある。	・全体ゾーニングについては、基本方針と同じで問題ないと思う。 【憩いゾーン】 ・大部分は傾斜がきつくなっており、あまり大幅な改編は望めない。 【スポーツゾーン】 ・既存の多目的広場を有効活用すべき。 【ウェルネスゾーン】 ・テニスコートとプールを改変するのかどうかは要検討だが、ジム等のトレーニング施設の導入ができるとよい。 ・屋内プールを備えた施設に改編する等の大胆な検討も有効。（例：うるま市うるみん） 【ビジネスゾーン】 ・児童向け遊戯施設とカフェの併設施設等の導入ができるとよい。 ・ビジネスゾーンにジム等のトレーニング施設を備えた建物も有効。 ・スポーツ施設の合宿促進のための小中規模宿泊施設。 ・会議室や多目的室等、公民館機能を継承する施設。 ・医療モール施設。

設問			建設事業者 A	建設事業者 B	建設事業者 C
問 5	駐車場の位置や台数、または検討におけるポイント		・イニシャルコストをどれほど充てられるか。最新の施設（3階層程度）をつくるとなると、その上に駐車場を設置（2層程度）し、かなりの台数（300～500 台）を確保すべき。 ・建物の外観は、パルコシティのようにあまり手を入れなくともよい。	・立体駐車場の可能性はあると思う。敷地が広いようであり、あまり広くなく、駐車場を集約して歩行者のアクセス面を検討する必要がある。 ・社会福祉センターの前に立体駐車場をつくるのが一番整備しやすいと思う。	・現状の駐車場台数では休日等の利用に対し、公民館、競技場駐車場ともに不足。 ・計画台数の検討にあたり、現状のスポーツ施設の稼働状況とそれに伴う駐車場利用台数がどの程度か知りたい。
問 6	動線確保の考え方	常時	・出入り口は1つのため、大きな変化は考えられない。	—	—
		イベント時	—	・イベント時は、一般車両とイベントの搬入等に関わる車の動線は分けた方がよい。可変できるような機能等の考え方が必要だと思う。	—
問 7	民間施設の併設可能性について		・宿泊施設は不要ではないか。ホテルではなく、アスリートが泊まれる程度の施設がよい。 ・公民館に併設して、キッズスペース（託児的施設）を設ける。	・リカバリー分野において、運営も含め、関心を示される関連事業者はいると考える。 ・児童遊戯施設運営実績を有する事業者に、遊具整備も含めて参画してもらい、数年間運営してもらう等の可能性も考えられる。 ・敷地の機能と使いやすさが明確になれば、事業者も手を上げてくる。カフェ等の飲食店が入ってくる例もある。クラブハウスに併設されたカフェでよいと思う。 ・中央公民館や社会福祉センターの場所は、民間開発の上でのポイントになる。エリアの入口部分でもあり、また高速道路からの視認性もよい。 ・クラブハウスは現地での建て替えと思う。現状の競技場は広さと高さが不足しており、躯体をそのまま使えないと思う。また、運動する部分と離れてしまうとクラブハウスは使いづらくなる。 ・現地での建て替えが難しい場合でも、陸上競技場入口目の前のスペースなど、隣り合った箇所での整備がよい。	・併設検討が可能。 ・特にジム等を備えたスポーツ施設は必須。
問 8	近年の複合施設整備や公園施設整備における面的整備の動向		・旭橋のバスターミナルには県立図書館が入っている。大きな施設の場合、床をどう埋めるかが課題であり、民間だけではなく公共の機能で埋められるとよい。 ・施設の所有者は一般財団にする等、新たな展開も考えられる。その財団へ民間が出資する等のことも考えられる。 ・民間企業もスポーツに力を入れている。沖縄県内はバスケットが盛ん。	・都市公園なので Park-PFI の手法がとればもちろんよい。民間事業だけでは厳しい部分もあり、公的な下支えが必要となる。民間頼りでは、民間も手を上げづらくなってしまう。市が事業費を確保されたうえで、民間も参加しやすい、手を上げやすい仕組みがあるとよい。 ・最近では、目的施設をコアに附帯の余剰地をどう活用するか、という視点での整備事例が多い。 ・アリーナやスタジアムをコアとする施設はコンセッションなどが使われてきたが、運営権の対価が日本ではまだまだ根付かないと国等も理解し始めてきた。混合型のPFIなどがまだ活用しやすいと思われる。 ・本事業は、民間も各機能に興味を持ちやすいと思う。また、事業提案の自由度も高いと考える。政令指定都市で	・指定管理手法による児童向け遊戯施設とカフェの設置。（ex.大阪城公園）

設問		建設事業者 A	建設事業者 B	建設事業者 C
			ないため、予定価格や設計価格などを提示しなくとも、応募者が提案してきた金額での議会承認も得られるのではないかと考える。 ・建設業界において物価が上がり続けており、物価上昇を踏まえた金額変更の議会承認が得られるような仕組みをつくってもらえるとよい。金額勝負よりも、提案内容の勝負で検討いただきたい。	
問 9	まちづくりに資する整備アイデア	・まちづくり的にみれば、拠点ができることでその周辺に働く人のマンションを建設する等が考えられる。 ・豊見城市はリゾートではないイメージであるため、スポーツ特区にする等のスポーツを強化するまちづくりもよいと思う。 ・傾斜地を活用したトレッキングやロッククライミング、モトクロスなどの練習場があれば、利用者は来るだろう。 ・マイナーなスポーツの拠点にするとよい。日本のスポーツの底上げのための施設。	・豊見城 IC から市役所に向けての動線上に位置しており、中核的な施設になると思う。サンエーに来た人が立ち寄るなど、生活動線下において市民が使いやすい施設というのがよい。 ・中心市街地が形成されるか分からないが、本エリアの整備は、通りが活性化する起爆剤になると思う。段階的に整備されていく中で、道路境界面でビジネスが生まれるなど、今回のプロジェクトを契機に広がっていく可能性もある。 ・民間事業者の意見も取り入れながら、柔軟な対応を求めたい。	・市街化区域への編入あるいは、公園区域内での特別に建築制限を緩和する等の対応が可能であると、よりフレキシブルなアイデアが出やすい。

■不動産事業者及び設計事業者

設問			不動産事業者 D	不動産事業者 E	設計事業者 F
問 1	対象地の魅力や課題、民間活用における市場価値について	魅力	・ 空港から近く、また高速道路の IC から近く魅力は高い。合宿などの利用にあたっては、対外試合などの移動が行いやすい。	・ スポーツ・憩い・ウェルネス・ビジネスという複合開発による多方面からの集客の可能性は魅力的である。	・ 那覇空港からも近く、本島を北上する際のルート上でもあり、エリアのポテンシャルは高い場所だろうと感じる。 ・ 公園エリアであり、単に施設だけをつくるというよりは、自然などの魅力も活用するとよい。
		課題	・ 用途が課題である。 ・ 当該事業がいつ進むのか、時間軸が確認しづらい。 ・ 高低差があり、使い方を工夫する必要がある。 ・ 駐車場が最大の問題点。施設整備の計画に応じる駐車台数が確保できない。	・ 敷地内高低差が多く、昨今のコスト上昇局面を勘案するとコストバランスを意識した計画が必要である。	・ 高速道路を通ると見えない場所。広報等を行う必要がある。 ・ アクセス面で本エリアにどう誘導していくかが課題。 ・ 本エリアだけでの完結でなく、周辺地域との連携が求められる。イベントの規模にもよると思うが、まずはこの場所に来てもらう方がまちにとってもよいと思う。
		市場価値	・ 魅力はある。	・ ビジネスゾーンだけでの単独集客というより、周辺ゾーンの魅力向上を踏まえたエリア集客が市場価値の重要なポイント。	—
		その他	—	・ 都市公園区域内においても収益活動（箱ものではなく、広告等のサービスの収益向上施策）の可能性を広げていくことも重要なポイントではないかと思われる。	—
問 2	魅力的なエリア整備のアイデア		・ 利用が想定される女性や子ども、高齢者にとっては夕方から夜の時間帯は不安があると予想する。 ・ 陸上競技場は、可能であれば今の敷地をフラットにし、民間側に改修も任された方が活かしやすい。 ・ バリアフリーの対応も多角化しており、臨機応変に対応しやすい方がよい。 ・ ウェルネスゾーンにある 50m プールは貴重性があるが、屋内型にするか現在と同様に屋外型にするか、議論が必要である。テニスコートやビジネスゾーンと一体的にすることで、屋内型として整備するとモデルケースになりやすいと考える。 ・ 高低差やインフラについては見直しが必要と感じる。 ・ 新たな施設整備にあたっては、コアなスポーツを対象にした施設にする方が、豊見城市にとってメリットだと考える。	・ 憩いゾーンとウェルネスゾーンのターゲットをどこに想定しているかによるが、一般的なイメージでは、憩いゾーンの方がターゲット層（ファミリーを中心とした一般市民）は広いと思われる。 ・ ビジネスゾーンで商業施設を検討するのであれば、集客が見込まれる施設に隣接する方が相乗効果を発揮しやすいため、ウェルネスゾーンと憩いゾーンのエリアの入れ替えを検討してはどうか。	・ スポーツ施設を計画するうえで、人が集まるまちの拠点を想定する必要がある。イベントがない時にどのような運営を想定するか、補完する機能を考える必要がある。 ・ 収益施設が大事だが、トレーニング施設やスポーツ施設は収益が生みづらいため、エリアのコンセプトに合わせた企業を誘致することがよい。健康関連企業などが参入すると、ブランディングもしやすい。 ・ スポーツ科学などの大学等の研究機関と連携した研究施設があれば、合宿の誘致、プロチームとの契約も考えられる。 ・ プロや専門チームだけでなく、地域の方にも発信したり体験してもらったりできると持続可能性が高まる。一般の人が体験している横でプロもトレーニングをしていると、一般の方もトップレベルを目指して頑張ることができる。一方で、なんでも整備するというのは難しいため、特化したものを整備していくとよい。 ・ 中央公民館等について、スポーツと文化的な施設が同じ場所にあるのは様々な使い方ができることから、現在の立地に問題がある訳ではないが、エリアのコンセプトに合わせた中央公民館等が求められる。 ・ プールは健康増進という点で大事な施設。50m プールの必要性は議論の余地があるが、屋外よりも屋内の方が

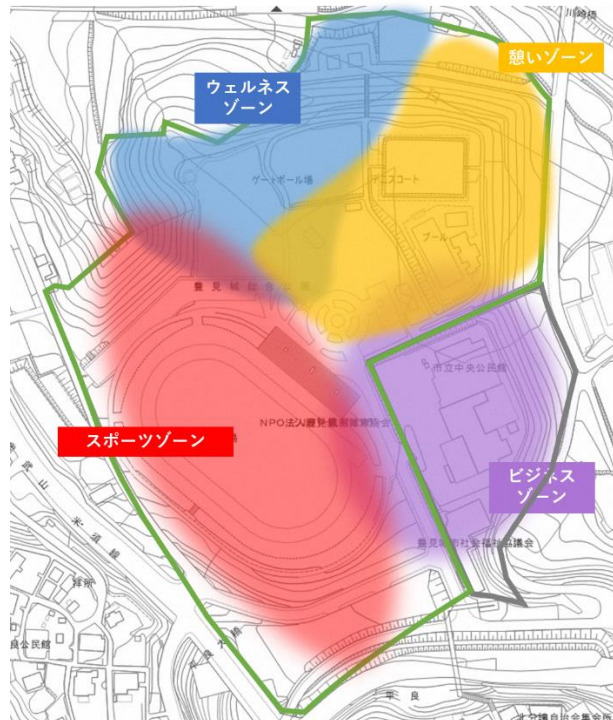
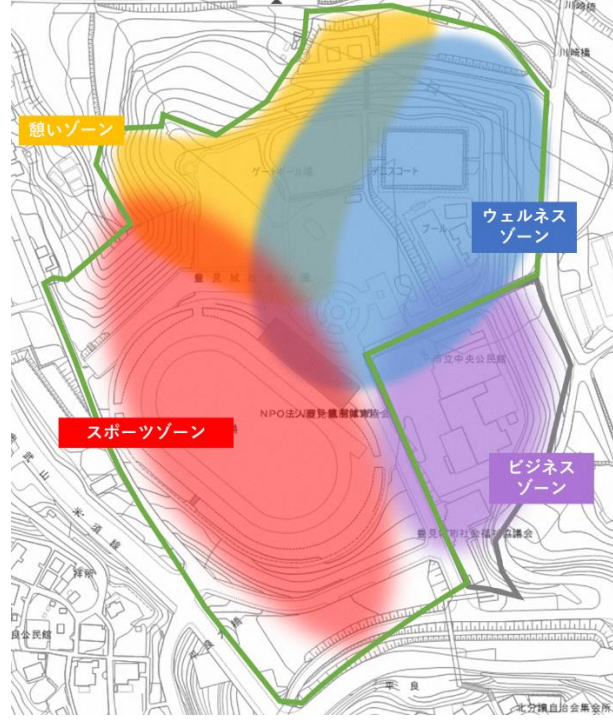
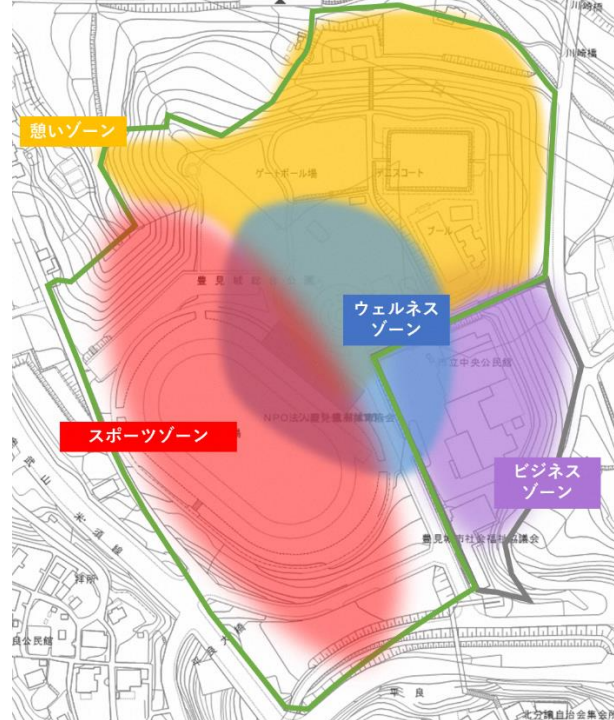
設問		不動産事業者 D	不動産事業者 E	設計事業者 F
				利用価値はある。維持管理費を多大に要する施設のため、行政判断も重要。ウェルネスゾーンとして整備するうえでは大事な機能である。
問 3	来訪者を増やす工夫や導入機能のアイデア	・市民とスポーツコンベンション、どちらの利用も押さえないというのは維持管理の面で難しい。芝の管理や施設の管理などが求められるのに対し、日常利用が多いとそのコストが大きくなる。 ・一般市民の利用を増やすうえでも、駐車場確保は課題。	・上記にも記載しているが、ターゲット層をあまり絞り込まない方が来訪者は増える傾向にあるため、施設利用者の間口を広げておく必要がある。 ・スポーツゾーンにおいては、核となる使用者（スポーツクラブ）を抑えて年間利用スケジュールを組み立てることが重要なポイントである。	・通年で賑わいをつくる工夫が必要。 ・誰にでも使える施設にして幅広い層に訪れてもらうこともよいが、特化した施設で該当する層に来てもらうことも考えられる。 ・子どもが集まる施設にするのであれば、ペット向けの機能を併設することで収益も出せる。キャンプなど、スポーツ以外にもレジャーやレクリエーションができるような機能があるとよい。 ・食事を楽しめたり、体験型の施設があったり、日常利用の促進を検討されたい。 ・駐車場は多目的広場や防災のための広場として転用する等、機能転換できる使い方がよいと思う。
問 4	望ましい配置・ゾーニングのアイデア	・商業施設を整備する際は複合型が多い。 ・ビジネスゾーンとウェルネスゾーンを一体的に整備すると、よい施設が検討できる。 ・ビジネスゾーンには従業員も来られるため、従業員用駐車場も用意する必要がある。 ・ビジネスゾーンとウェルネスゾーンを階層式にすることで駐車場を確保することができる。 ・公園に住居を入れることができれば先進的な例となり、市にもメリットが大きい。首長判断で独自性のある事例をつくることも求められると思う。 ・中央公民館は憩いゾーン側にあってもよい。 ・プールは屋内型にする方が利用頻度も高まる。 ・中央公民館は老朽化しており、利用頻度が高くなる規模を検討し、コンパクトな公民館でよいと思う。民間施設との併設も考えられる。	・上記にもあるが、ビジネスゾーンで商業施設を検討するのであれば、集客が見込まれる施設に隣接する方が相乗効果を発揮しやすいため、ウェルネスゾーンと憩いゾーンのエリアの入れ替えを検討してはどうか。	・ウェルネスゾーンとビジネスゾーンは、複合施設としてまとめてもよいのではないか。そうすると、地元市民も行きやすいのではないか。
問 5	駐車場の位置や台数、または検討におけるポイント	・公民館が移設できるのなら駐車場を面的に広げてよいが、現在の数も踏まえてフルスペックに集客機能を入れ込むのであれば、立体駐車場が必要だと思う。費用感との折り合いも考える必要がある。 ・沖縄では有料駐車場へのアレルギーが伺える。徐々に浸透してきているが、有料化で維持管理側とのバランスを図る必要がある。	・エリア全体としての来訪者の想定が分からないため、今回提示することは難しい。	・駐車場は分散して配置する方が運用しやすいと思う。歩車動線は分離すべき。
問 6	動線確保の考え方	常時	—	—
		イベント時	・入口と出口は、本来複数あった方がよい。	—

設問		不動産事業者 D	不動産事業者 E	設計事業者 F
問 7	民間施設の併設可能性について	・幅広い年齢層に利用いただけるような施設であれば、民間施設の併設も十分に考えられる。 ・商業機能は限定的である。通常のオフィス機能は難しいだろう。エリアのコンセプトとの関連も含め、健康増進に関わってくるような民間企業でないと参入は難しい。	・ビジネスゾーンだけで集客を担うにとしては面積規模が小さく感じるため、エリア全体としての集客を目指す必要がある。 ・エリア全体の集客可能性が高まれば、商業施設の可能性は高まると思われる。	・日常的に人が来て食事をしたくなる、ペットを遊ばせるエリアやペット用品を売っているお店、体験型の商業施設や便益施設があった方がよい。 ・キャンプ用品を扱っているお店であれば、公園で一泊できるような機能があると相互利用が見込める。店側も、その場所で出店できるメリットがある。 ・ウェルネスやスポーツに特化していることから、健康に関する商業施設や研究施設、オフィスが望ましい。 ・健康的な食事を提供するだけでなく、それを教えるような機能であれば、エリアコンセプトとの親和性が高い。 ・全体的に今回のエリアの価値を高めてくれる機能を目指す方がよい。 ・建物の施設の中に、回転式のレストランを入れる等、この場所にしかない機能も考えられる。
問 8	近年の複合施設整備や公園施設整備における面的整備の動向	・公有地活用が増えている。地代を 0 円にさせていただいてもよいと思う。 ・滋賀県大津市では市から土地を借り、競輪場跡地で公園も含めた商業施設を整備した。大津市の課題は、競輪場が塩漬けになった状態で、解体費が捻出できなかった。事業者側で地代を払い、解体費も持ち、事業用借地権をもって整備を進めている。地域の課題も異なるため、豊見城市と大津市を比較することは難しいが、点ではなく面で考える必要がある。 ・PPP/PFI もそうだが、民間の発想を求めるだけでなく、公共の努力や意気込み（やったことないならやってみよう）も必要となってくる。	【MIYASHITA PARK】 ・渋谷区所在の都市計画公園である宮下公園を立体都市公園制度を活用して 3 階屋上部分を公園として指定することにより、下層部を商業施設として活用した事例。 【久屋大通公園】 ・名古屋市の都市計画公園。パーク PFI を活用し、公園×商業施設として再整備を実施。	【佐賀サンライズパーク】 ・設計を担当。佐賀県事業だが、周辺の市の施設とも連携しながら、エリア全体での活性化を検討。ウォークブルを目指し、沿道に商業施設やキッチンカーを設ける等、イベント時は駅から歩くことを促す。 ・設計・施工は別発注、管理についても指定管理で別発注。佐賀県ではスポーツピラミッド構想を作成。 【福岡市総合体育館整備】 ・アイランドシティ（人工島）に市総合体育館を移転。南北に広がる公園の中心に、体育館を PFI 事業（BTO）で整備。 【栃木県日環アリーナ】 ・体育館とプールとトレーニングルーム、そして多目的ルームを整備。日常的利用は高い。BTO で整備。 【愛媛県今治市の里山スタジアム】 ・民間事業で施設整備を実施。スタジアムが元々ある場所を地域の核にしたいということで、日常的に人が集まれるような機能を整備。 【茨城県神栖防災アリーナ】 ・体育館とプールを一体整備。 【岩手県釜石、釜石住居復興スタジアム】 ・ラグビーワールドカップの会場にもなった。試合がない日は自由に使えるように開放している。
問 9	まちづくりに資する整備アイデア	・本エリアの整備事業がいつ動き出すのか、またどのようなかたちで仕掛けることができるのか確認したい。	・昨今の建築費上昇局面を鑑みると、投資をいかにして抑えていくかという点も重要だと思われるため、造成・建築計画を慎重に検討することがポイントである。	・エリアだけで完結するのではなく、まち全体で波及効果を生み出す整備を考えていく必要がある。

設問		不動産事業者 D	不動産事業者 E	設計事業者 F
		・豊見城市内の施設（あしびなーや iias、DPL など）とセットで、地域との連携・連動を生み出す可能性を創出できるとよい。	・各々のゾーンでの来訪者の向上を図ることは勿論だが、エリアに来訪した人たちをいかにストレスなく回遊してもらうかという点も重要な部分だと思われる。	・スポーツや健康、ウェルネスなど、目指すべきキーワードに沿った施設や機能、集客施設・便益施設を整備し、エリアの価値を上げる機能とすることで、ブランディング等も行いながら稼げるようになる。

(4) 民間活力の導入に関する事業者ヒアリング調査結果

■建設事業者

設問		建設事業者 A		建設事業者 B		建設事業者 C	
問 1	ゾーニング 4 案について意見	望ましい案	案 2	案 1	案 3		
							
		理由	・公園中央の既存広場を拡張して各ゾーンをつなぎ、ウェルネスゾーンとスポーツゾーンを隣接させる。 ・スポーツゾーンの北側に搬入出動線を確保することができれば、ホール施設を公園北側に配置することもあり得る。 ・案 4 については土木造成費が莫大になる。民間負担であると事業採算として困難。	・現状の施設構成や土地を、財政的にあまり負担をかけず、最大限利活用できると考える。 ・案 3、案 4 については、費用負担が大きくなる。事業全体でその費用対効果が生まれるかと考えると、よい案であると即答はできない。 ・案 4 は用地買収や道路整備等の様々な事業リスクが想定される。	・スポーツゾーンとウェルネスゾーンが融合したゾーンが望ましい。		
問 2	民間活力の活用の視点から望ましい整備箇所、施設整備・施設配置の留意点、懸念事項等	陸上競技場の整備	公園区域内公園区域外 ・スタンドと下の諸室について、1階回りの諸室機能の拡充が必要と考えると、スタンドも拡大がよい。日よけの屋根も必要。 ・トレーニングジムがあることが望ましい。ケアのための機能も隣接しているのが望ましい。 ・使い方によるが、トレーニングセンター内にクラブハウス機能があり隣接していれば、そちらに集約する可能性もある。	公園区域内公園区域外 ・既存施設のリノベーションが望ましい。2019 年に改修が入っているが建物は老朽化している。スポーツ施設として見栄えのよい施設に改修が必要。 ・J リーグ規格まで整備することは現実的ではなく、大学や実業団などのトレーニング、市民向けの利活用などを想定したバージョンアップが望ましい。	公園区域内公園区域外 ・整備する必要があるのか。新しいこれまでに無い施設を整備すべき。		
		テニスコートの整備（屋内含む）	公園区域内公園区域外 ・スポーツゾーン内に屋根付きの整備。	公園区域内公園区域外 ・現状機能を活かした改修が想定される。	公園区域内公園区域外 ・整備する必要があるのか。新しいこれまでに無い施設を整備すべき。		
		ゲートボール場の整備	公園区域内公園区域外 ・スポーツゾーン内に屋根付きの整備。	公園区域内公園区域外 ・現状機能を活かした改修が想定される。	公園区域内公園区域外 ・整備する必要があるのか。新しいこれまでに無い施設を整備すべき。		

設問			建設事業者 A	建設事業者 B	建設事業者 C
				・ゲートボール場の利用頻度が低ければ、民間活力での自由提案エリアとしての設定も考えられる。	
		ジョギングコースの整備 (軽運動施設)	公園区域内 ・ 公園区域外 ・既存の園路とあわせて、斜面地の整備をしながらトレイルコースの設定も可能性あり。	公園区域内 ・ 公園区域外 ・現状機能を活かした改修が想定される。	公園区域内 ・ 公園区域外 ・憩いゾーンにあってもよい。
		公園空間の整備	公園区域内 ・ 公園区域外 ・各施設へのアクセス性、安全性（歩車分離）に配慮が必要。	公園区域内 ・ 公園区域外 ・現状機能を活かした改修が想定される。	公園区域内 ・ 公園区域外 ・既存機能として継続することが望まれる。
		災害時対応施設・設備の整備	公園区域内 ・ 公園区域外 ・各施設に機能確保・充実。	公園区域内 ・ 公園区域外 ・公園区域内に整備することが望ましい。 ・中央公民館に併設させる可能性もある。	公園区域内 ・ 公園区域外 —
		トレーニングセンターの整備	公園区域内 ・ 公園区域外 ・可能であれば、陸上競技場とクラブハウス機能が連携を取れる位置が望ましい。 ・一般利用者とアスリートの動線が交差しないような配慮が必要。 ・プロスポーツのキャンプ地を目指すのであれば宿泊施設と連携することも可能性はある。	公園区域内 ・ 公園区域外 ・スポーツ拠点ということで整備は必須。 ・稼働率が低い施設を解体して、跡地に整備することも想定される。	公園区域内 ・ 公園区域外 ・県内には競技場が点在していることから、トレーニングに特化した施設を整備すべき。アスリートが高いレベルの高いトレーニングやウェルネス施設を使用したりハビリ等ができることよい。 ・一般市民が使用するような施設はここには不適切ではないか。トップアスリートが使用する施設がよいと思う。
		トレーニング・リカバリー施設 (プールを含む) の整備	公園区域内 ・ 公園区域外 ・プロスポーツチームの要望聴取が必要。	公園区域内 ・ 公園区域外 —	公園区域内 ・ 公園区域外 ・県内には競技場が点在していることから、トレーニングに特化した施設を整備すべき。アスリートが高いレベルの高いトレーニングやウェルネス施設を使用したりハビリ等ができることよい。 ・一般市民が使用するような施設はここには不適切ではないか。トップアスリートが使用する施設がよいと思う。
		商業施設（飲食・物販等）の整備	公園区域内 ・ 公園区域外 ・ビジネスゾーンの 1 番アクセスのよい箇所が望ましい。 ・公園の中にカフェを配置する可能性はある。	公園区域内 ・ 公園区域外 ・スポーツに関連した施設だとしてもニーズを見極める必要がある。 ・飲食店に関しては来園者をターゲットにしたカフェ等是有り得る。 交通量がある道路に面していれば、公園区域外（好アクセス地）での整備も可能性はある。	公園区域内 ・ 公園区域外 ・通常のホテルやカフェや物販はこの場所では難しい。
		宿泊施設	公園区域内 ・ 公園区域外 ・東側または北側の眺望のよい場所。東側であれば既存の公民館のあたり。	公園区域内 ・ 公園区域外 ・ニーズを見極める必要がある。 ・利用時期が限定される。（冬～春先）	公園区域内 ・ 公園区域外 ・通常のホテルやカフェや物販はこの場所では難しい。
		ホール施設（イベント・音楽・文化）の整備	公園区域内 ・ 公園区域外 ・搬出入に配慮した動線を確保する必要がある。 ・イベント時の一般客と動線を分ける必要がある。	公園区域内 ・ 公園区域外 ・採算性がとれるのが前提。	公園区域内 ・ 公園区域外 ・機能を多様化しないほうがよい。
		既存中央公民館（大ホール等）の整備	公園区域内 ・ 公園区域外	公園区域内 ・ 公園区域外 ・事業外とした方が事業者は参画しやすい。	公園区域内 ・ 公園区域外

設問			建設事業者 A	建設事業者 B	建設事業者 C
			・上記ホール施設との兼ね合いを踏まえ、そちらで補完できるのであれば不要。	・既存の公民館・社会福祉センターの場所で民間事業を実施するのであれば、更地にして民間事業者へ引き渡すことがよい。	・公園区域内の施設のオフィス機能は必要になる。公民館に併設することも考えられる。
		駐車場整備	公園区域内 ・ 公園区域外 ・現状台数が不足しているのであれば過去のイベント時などを踏まえ、必要台数を多めに設定することが望ましい。	公園区域内 ・ 公園区域外 ・可能な限り増やしていく必要がある。 ・駐車場位置は集中させたほうがよい。	公園区域内 ・ 公園区域外 ・駐車場の拡大は必須。公園機能の一部に増設することも想定される。 ・施設整備の際には低層階を駐車場にすることも想定される。
		アクセス道路整備	公園区域内 ・ 公園区域外 ・バスバースやタクシーバースはイベント興行用にあってもよい。（路線バスの接続可能性確認が必要） ・市のモビリティアクセスの考え方とも整合が必要。実証事業等の可能性もあるのであれば対象地になり得るのではないか。	公園区域内 ・ 公園区域外 ・大規模な整備は莫大なコストが必要となるため、既存道路をベースとした整備が望ましい。	公園区域内 ・ 公園区域外 ・特定のターゲットだけを想定する施設とするのであれば、アクセス道路は現状のままで問題ないと思う。 ・ゾーニング案4のように大規模造成は不要。
問3	望ましい整備区分	陸上競技場の整備	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営 ・行政側の負担が前提。指定管理の可能性あり。	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営
		テニスコートの整備（屋内含む）	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営 ・行政側の負担が前提。指定管理の可能性あり。	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営
		ゲートボール場の整備	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営 ・行政側の負担が前提。指定管理の可能性あり。	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営
		ジョギングコースの整備（軽運動施設）	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営 ・行政側の負担が前提。指定管理の可能性あり。	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営
		公園空間の整備	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営
		災害時対応施設・設備の整備	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営
		トレーニングセンターの整備	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営 ・施設内の設備は民間対応の可能性はある。	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営 ・対象とするターゲットによる。トップアスリート対象なら可能性はある。	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営
		トレーニング・リカバリー施設（プールを含む）の整備	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営 ・施設内の設備は民間対応の可能性はある。	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営 ・対象とするターゲットによる。トップアスリート対象なら可能性はある。	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営
		商業施設（飲食・物販等）の整備	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営
		宿泊施設	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営 ・運営を民間が担う。	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営 ・可能性は低い。	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営
		ホール施設（イベント・音楽・文化）の整備	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営 ・事業対象外とした場合は公設民営。	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営
		既存中央公民館（大ホール等）の整備	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営 ・事業対象外とした場合は公設民営。	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営
		駐車場整備	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営 ・イベント時などは民間に貸す可能性もある。	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営
		アクセス道路整備	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営
問4	民設民営の可能性のある施設の事業手法		1. 設置管理許可 2. P-PFI（都市公園） 3. 定期借地契約 4. その他	1. 設置管理許可 2. P-PFI（都市公園） 3. 定期借地契約 4. その他	1. 設置管理許可 2. P-PFI（都市公園） 3. 定期借地契約 4. その他

設問		建設事業者 A	建設事業者 B	建設事業者 C
		・民設民営は難しい。基本は公設民営で、一部民間が運営に必要なファシリティを確保することは可能。	・条件によって手法は異なる。公園の魅力向上につながり市外からの来園が見込めるのであれば可能性はある。 ・定期借地契約については借地料が安価であれば2～3階建ての整備が考えられる。	・収益性がないと民間が参入しない。このエリアには民設民営の施設をイメージしていない。
問5	民設民営での施設整備に関する関心度	1. 積極的に参画したい 2. 参画したい 3. 参画は考えていない —	1. 積極的に参画したい 2. 参画したい 3. 参画は考えていない ・公共側の支援が必要。全てを民間のリスクだと難しい。	1. 積極的に参画したい 2. 参画したい 3. 参画は考えていない —
問6	官民連携手法を導入した整備とする場合の参入可能性のある事業手法	公園区域内	—	1. Park-PFI 【既存施設全般】 —
		公園区域内・外	5. PFI (BTO) 【スポーツ関連施設全般】 ・宿泊施設は別事業とすることが望ましい。トップアスリート向け宿泊施設であれば一体的な整備の可能性はある。 2. PFI (RO) or 4. DBO 方式 【陸上競技場】 【ホール施設】 ・クラブハウスやリカバリーは一体で整備することも可能性あり。	—
		公園区域外	—	8. その他 【民設民営による商業施設】 ・ビジネスゾーンの市街化区域への編入が条件。 —
		共通	—	・この場所に PFI 的な賑わい施設商業施設などのエリアではない。
問7	事業手法に関する課題	・運営の民間事業者意向が見えていないため、そちらの意向次第。運営者の意見を踏まえ、事業性、収益性を確保できる手法が望ましい。	—	・一般人が利用する施設をつくるのであれば、魅力を感じない。特化した施設が望まれる。
問8	エリア整備事業における参画可能な業務	参画可能な業務	1. 設計 2. 施工 3. 維持管理 4. 運営	1. 設計 2. 施工 3. 維持管理 4. 運営
		理由	—	・民間施設（商業施設）の場合に限る。 ・企業連合を組むことが前提。維持管理については地元事業者が対応。
		懸念点	・事業性を考慮された事業であること。 ・公のサポートがどの程度あるのか、費用面等を踏まえ、参画を検討。	・運営はコンソーシアムを組んで実施。 ・旗振り役として、ネットワークを活かして事業を進める。
問9	エリア整備事業への参画意向	意向	1. 積極的に参画したい 2. 参画したい 3. 参画は考えていない	1. 積極的に参画したい 2. 参画したい 3. 参画は考えていない
		コメント	・条件次第では参画を検討する。	・他社から声掛けがあれば一部業務を担うことは可能。
問10	参画を検討するうえで参考とする指標や視点、さらに参画を決定する要素、地域のポテンシャル等	・那覇市のベッドタウンというポテンシャル。 ・どれほどの事業費が確保されるか。（参画を決定するポイント）	・事業採算性が確保できるか次第だが、魅力的な事業であれば参画したい。例えば、医療×スポーツをコンセプトとしたエリアは県内では見当たらない。	・社として地域貢献できる部分があるかという視点は持っている。 ・沖縄県は全社的に注目している。ネットワークを活かした旗振り役としてコンソーシアム組成に取り組む。

設問			建設事業者 A	建設事業者 B	建設事業者 C
				・地域のポテンシャルとしては人口が多いエリア。那覇からも多くの人が訪れる。	
問 11	官民のリスク分担や事業上想定しておくべきリスク等		・どれほどの事業費が確保されるか。行政側でしっかりと予算を確保されていれば民間投資の可能性も広がる。（相乗効果がもたらされるとよい） ・物価上昇の問題もあるが、来年から建設現場における労働時間の上限が規制されることから、規制を踏まえた充分な工期を確保されたい。	—	・収益性が確保できるか。収支が見合う仕組みを市で構築できるか。 ・事業をスタートした後の物価上昇等にも柔軟に対応できる契約内容にしておくことを望む。 ・事業者が最後まで収益があげられる仕組みを事前に用意しておく必要がある。
問 12	基本計画策定の段階から事業へ参画することについて	意向	1. 積極的に参画したい 2. 参画したい 3. 参画は考えていない	1. 積極的に参画したい 2. 参画したい 3. 参画は考えていない	1. 積極的に参画したい 2. 参画したい 3. 参画は考えていない
		コメント	・本事業は導入機能の用途が限定されており、自由度が高くない。公園のため建築の制約も様々であり、公園として民間が収益を上げることは難しいため、基本計画策定の段階から参画することはリスクが高い。 ・事業性の確度が高ければ考えられるが、スポーツ産業が成熟していない中で、民間事業者が収益を確保できるかというのは不透明。 ・スポーツ産業は投資金額に対しての利益がまだ安定しない業界。	・事業パートナー方式の条件による。パートナーが事業の責任を負うとなると参画は難しい。 ・一方で、今回の事業は何かしら工夫のある手法をとった方がよいと感じる。市として十分に検討してもらえれば可能性は生まれる。	・パートナーを募集する前に事業者サウンディングでアイデア募集してもいいと思う。もし豊見城市の意向に合うアイデアにインセンティブを付けてもらえるのであれば、事業者も参加しやすいと思う。 ・市としてアイデアを受け入れてもらえるのが懸念点。
問 13	市側で整理すべき条件・内容、要望等		・規模感、施設感については、市民ニーズも含め、分析されたうえで設定されたほうがよい。（交通も同様） ・大規模な造成をしてまでビジネスゾーンを拡張するのは現実的なのか。事業費のほとんどが造成費だと元も子もない。造成に関しては慎重な見極めが必要。	・公設する施設のプラン詳細検討が必要。 ・民間の意向を踏まえず事業化しても不調となるリスクがある。奥武山公園の整備事業とタイミングが重なってしまえば、事業者の関心が分散されてしまう。	・よい場所にあるので、世界へ発信できる夢のある場所にすることが望ましい。それによりお金も入ってくる。 ・スポーツ産業を実現させるエリアとしてスポーツビジネスの拠点を整備することが望ましい。 ・従来のスポーツ以外（eスポーツやアーバンスポーツ等）でもよいので全国初となるような施設がよい。 ・最新のスポーツを発信する拠点にして、一般市民にも認知されるとよい。 ・魅力的なエリアになれば、国の補助金や民間投資も期待できる。

■不動産事業者及び設計事業者

設問		不動産事業者 D	不動産事業者 E	設計事業者 F
問 1	ゾーニング 4 案について意見	望ましい案		
		案 3	案 2	案 3
		理由		
		案 4	案 2	案 3

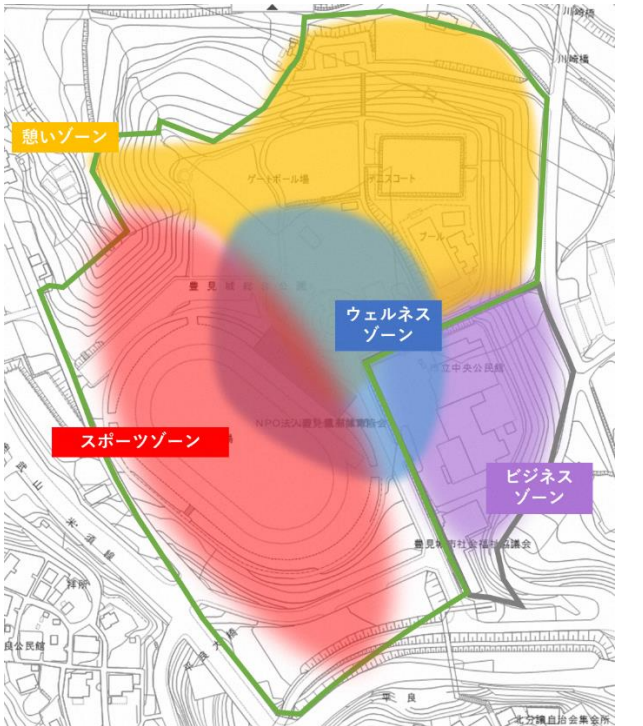
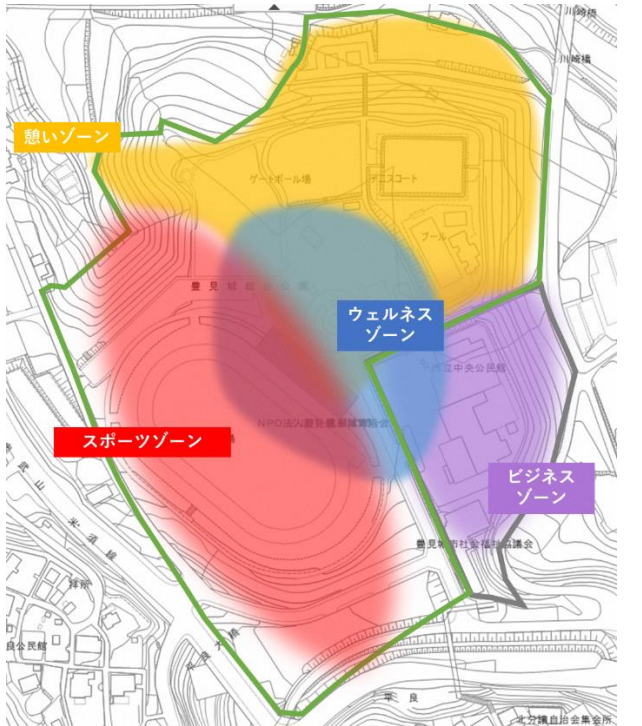
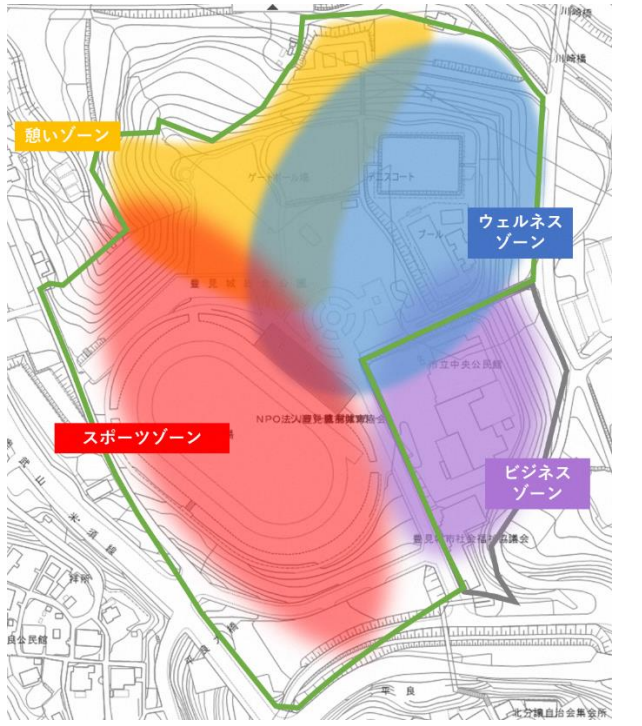
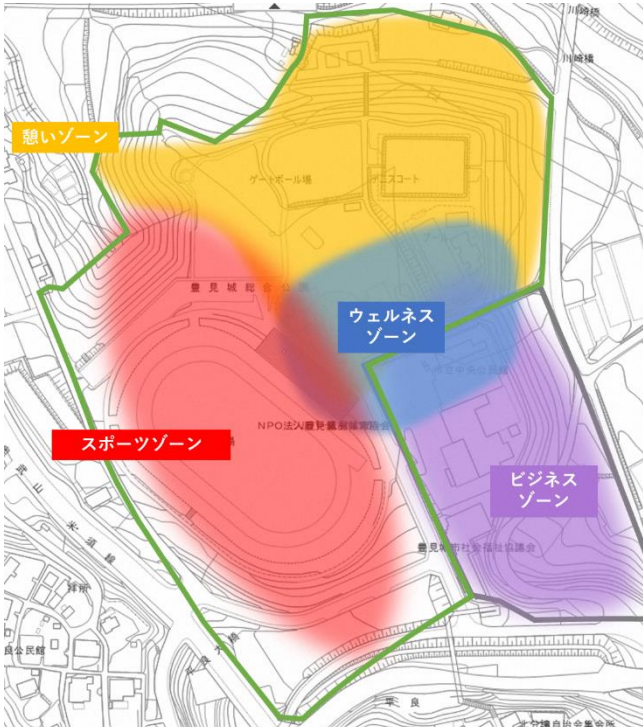
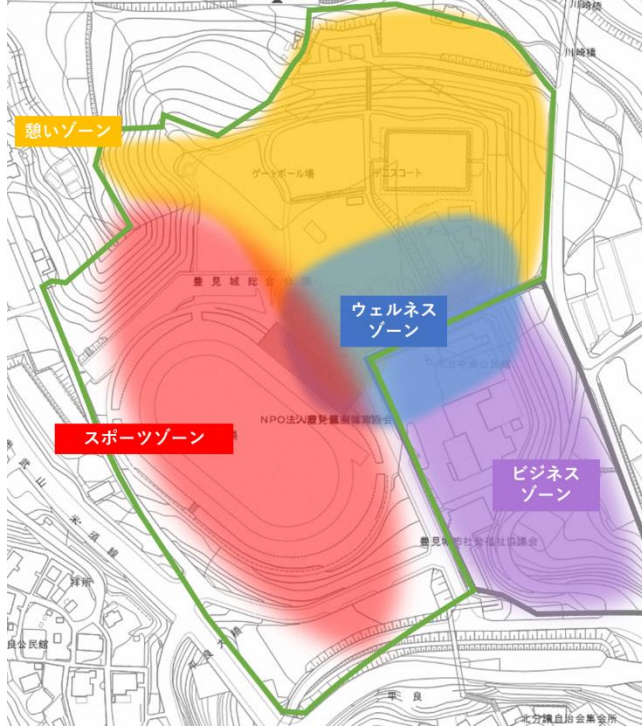
設問			不動産事業者 D	不動産事業者 E	設計事業者 F
			拡大という点では魅力的である。しかし、造成費等、市の負担を明確化する必要がある。	・商業施設といっても、スーパーマーケットでは隣地のサンエーとの競合が懸念される。	
問 2	民間活力の活用の視点から望ましい整備箇所、施設整備・施設配置の留意点、懸念事項等	陸上競技場の整備	公園区域内 ・ 公園区域外 ・既存の施設をすべて取り壊し、まっさらにした状態でゾーニング案等を考え直すことも一案である。	公園区域内 ・ 公園区域外 ・当該エリアは平場の活用が重要であり、陸上競技場内においても、イベントの利用など、陸上競技以外の機能を検討する必要がある。	公園区域内 ・ 公園区域外 ・他市との差別化を図る必要がある。どの種目・カテゴリをターゲットにするかによって整備内容が異なる。
		テニスコートの整備（屋内含む）	公園区域内 ・ 公園区域外 —	公園区域内 ・ 公園区域外 —	公園区域内 ・ 公園区域外 —
		ゲートボール場の整備	公園区域内 ・ 公園区域外 —	公園区域内 ・ 公園区域外 —	公園区域内 ・ 公園区域外 —
		ジョギングコースの整備（軽運動施設）	公園区域内 ・ 公園区域外 ・公園区域内全体に該当するが、現状、若年層や女性層は夜間に近寄りがたい場所である。人の出入りが確認でき、安心感がある施設にする必要がある。	公園区域内 ・ 公園区域外 —	公園区域内 ・ 公園区域外 —
		公園空間の整備	公園区域内 ・ 公園区域外 ・公園区域内全体に該当するが、現状、若年層や女性層は夜間に近寄りがたい場所である。人の出入りが確認でき、安心感がある施設にする必要がある。	公園区域内 ・ 公園区域外 —	公園区域内 ・ 公園区域外 —
		災害時対応施設・設備の整備	公園区域内 ・ 公園区域外 —	公園区域内 ・ 公園区域外 ・エリア内に 1 か所でよいか、あるいは各ゾーンに求められる機能なのか。平場が限られるエリアのため、1 か所で併用できるように検討されたい。	公園区域内 ・ 公園区域外 —
		トレーニングセンターの整備	公園区域内 ・ 公園区域外 ・キャンプや合宿での利用は、年間を通して 2 ～ 3 か月ほどの期間に限定される。設備等が充実した施設では、一般市民との利用混在がメンテナンスの面で懸念される。	公園区域内 ・ 公園区域外 ・施設規模や客層はどれほどになるのか。一般市民の利用も想定するのか。商業施設としては一般客が訪れるエリアの近くが望ましい。	公園区域内 ・ 公園区域外 —
		トレーニング・リカバリー施設（プールを含む）の整備	公園区域内 ・ 公園区域外 ・陸上競技場との連携について、クラブチームが利用することを考えると、なるべく同じ施設内で完結できることがよい。	公園区域内 ・ 公園区域外 ・上記と同一。	公園区域内 ・ 公園区域外 ・沖縄には珍しいプールを活かした方がよい。災害時等に水資源の確保が可能。 ・プールでの調整を望むアスリートもいる。
		商業施設（飲食・物販等）の整備	公園区域内 ・ 公園区域外 —	公園区域内 ・ 公園区域外 ・周辺環境や今後の計画等も踏まえて、ほかとの差別化を検討する必要がある。	公園区域内 ・ 公園区域外 —
		宿泊施設	公園区域内 ・ 公園区域外 ・プロもしくはアマチュア、またはどのようなスポーツ団体に絞るかによるが、可能であれば練習場所と隣接する方がよい。	公園区域内 ・ 公園区域外 ・スポーツコンベンションに合わせた宿泊施設は独自性があるが、キャンプや合宿等は時期が限定的であることが懸念される。	公園区域内 ・ 公園区域外 ・トップアスリート向けの宿泊施設は現実的ではない。市民向けに温浴施設と飲食店が併設している施設は考えられる。 ・大学生をターゲットにするのであれば、安価な合宿所などが求められる。
		ホール施設（イベント・音楽・文化）の整備	公園区域内 ・ 公園区域外	公園区域内 ・ 公園区域外 —	公園区域内 ・ 公園区域外 ・市民が家族連れで訪れることを想定した機能を付加できるとよい。

設問			不動産事業者 D	不動産事業者 E	設計事業者 F
			・既存中央公民館との関係も確認する必要があるが、中規模・小規模程度のホールが求められると考える。		・一方で稼働率確保の面から事業に含めると民間事業者の重荷になる。 ・市民目線でいうと、市役所付近の市街地のほうが利便性はよい。市役所に隣接させることで駐車場確保の点からもメリットはある。
		既存中央公民館（大ホール等）の整備	公園区域内 ・ 公園区域外 ・大ホールは別場所での整備も考えられる。 ・また、公共施設の複合化を検討し、賑わいをうむためにも文教施設等の集約化を図ることがよいと考える。	公園区域内 ・ 公園区域外 —	公園区域内 ・ 公園区域外 ・市民が家族連れで訪れることを想定した機能を付加できるとよい。 ・一方で稼働率確保の面から事業に含めると民間事業者の重荷になる。 ・市民目線でいうと、市役所付近の市街地のほうが利便性はよい。市役所に隣接させることで駐車場確保の点からもメリットはある。
		駐車場整備	公園区域内 ・ 公園区域外 ・商業施設等が入るのであれば、当然従業員駐車場も必要である。テナント誘致の上でもポイントとなる。 ・人が集まるエリアであれば、その分の台数確保も必須である。 ・まとまった駐車場もよいが、県民は歩くことを嫌がるため、施設と近いところで点在した方がよい。	公園区域内 ・ 公園区域外 —	公園区域内 ・ 公園区域外 —
		アクセス道路整備	公園区域内 ・ 公園区域外 ・エリア内から外部へのアプローチが複数個所欲しい。	公園区域内 ・ 公園区域外 —	公園区域内 ・ 公園区域外 —
問 3	望ましい整備区分	陸上競技場の整備	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営
		テニスコートの整備（屋内含む）	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営
		ゲートボール場の整備	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営
		ジョギングコースの整備（軽運動施設）	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営
		公園空間の整備	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営
		災害時対応施設・設備の整備	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営
		トレーニングセンターの整備	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営 ・民設民営でやりたいという事業者が出る可能性もある。
		トレーニング・リカバリー施設（プールを含む）の整備	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営 ・民設民営でやりたいという事業者が出る可能性もある。
		商業施設（飲食・物販等）の整備	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営
		宿泊施設	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営 ・慎重に検討する必要がある。	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営 ・ターゲットにもよるが、事業性が見込めるのであれば民設民営の可能性はある。
		ホール施設（イベント・音楽・文化）の整備	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営 ・指定管理で入る可能性あり。	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営

設問			不動産事業者 D	不動産事業者 E	設計事業者 F
		既存中央公民館（大ホール等）の整備	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営 ・複合化等で回転率を上げる必要がある。	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営
		駐車場整備	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営
		アクセス道路整備	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営
問 4	民設民営の可能性のある施設の事業手法		1. 設置管理許可 2. P-PFI（都市公園） 3. 定期借地契約 4. その他 —	1. 設置管理許可 2. P-PFI（都市公園） 3. 定期借地契約 4. その他 ・定期借地契約または土地取得による対応が可能である。 ・昨今、建築コストの高騰により、定期借地契約期間20年では収支の折り合いが付かず、30年などに伸びる傾向にある。	1. 設置管理許可 2. P-PFI（都市公園） 3. 定期借地契約 4. その他 ・事業として公共性の要素が強いため、定期借地契約は難しい。
問 5	民設民営での施設整備に関する関心度		1. 積極的に参画したい 2. 参画したい 3. 参画は考えていない ・1と2の中間ほどの意向。 ・使っていただけるほど、価値のある施設にする必要がある。	1. 積極的に参画したい 2. 参画したい 3. 参画は考えていない ・商業施設は施設規模が大きいほど集客力も高くなる。各施設の利用対象者が想定できた時点で、具体的な商業施設のコンセプト等も検討することになる。	1. 積極的に参画したい 2. 参画したい 3. 参画は考えていない ・参画したいという事業者がいれば、協業での参画の可能性はある。 ・プール施設の増築や屋内化などと絡めて、温浴施設や宿泊施設などを併設すると稼働率が上がるのではないかな。
問 6	官民連携手法を導入した整備とする場合の参入可能性のある事業手法	公園区域内	—	—	1. Park-PFI（特定公園施設） 【ホール施設】 1. Park-PFI（公募対象公園施設） 【トレーニングセンター】 【商業施設】 【宿泊施設】 2. RO 方式 【陸上競技場】
		公園区域内・外	—	—	—
		公園区域外	—	—	8. その他（事業対象外） 【既存中央公民館】 ・ビジネスゾーン内での整備は民間リスクが高く事業から外したほうがよい。
		共通	—	—	—
問 7	事業手法に関する課題		・1期目、2期目などのように、事業を分けることも一案と考える。	・開発においては計画当初と施工段階等で内容の変更が生じることが多い。これに対し、PFI は様々な分野の委員による評価が必要であり、提案当初の内容ばかり求められてしまうのはハードルが高くなる。	—
問 8	エリア整備事業における参画可能な業務	参画可能な業務	1. 設計 2. 施工 3. 維持管理 4. 運営	1. 設計 2. 施工 3. 維持管理 4. 運営	1. 設計 2. 施工 3. 維持管理 4. 運営
		理由	・代表企業としてすべてに参画することをイメージ。より適切なパートナーと進めることになる。	・ビジネスゾーンを中心に、事業主として参画可能である。あわせて、周辺のエリアマネジメントやイベント誘致などの連携施策について、見地やノウハウを伝えることができる。	—
		懸念点	・—		—
問 9	エリア整備事業への参画意向		1. 積極的に参画したい 2. 参画したい 3. 参画は考えていない	1. 積極的に参画したい 2. 参画したい 3. 参画は考えていない	1. 積極的に参画したい 2. 参画したい 3. 参画は考えていない

設問			不動産事業者 D	不動産事業者 E	設計事業者 F
		コメント	・自社グループを含め、市内で複数の施設を展開している。立地的にも参画を検討したい。	・エリアのコンセプトや利用者層の見通しが出た段階で判断することとなる。	・興味はあるが、現時点では回答を控える。
問 10	参画を検討するうえで参考とする指標や視点、さらに参画を決定する要素、地域のポテンシャル等		・事業手法について、PFI なのか否か。 ・物価上昇のリスク等も踏まえた、リスク分担ができるか。リスクを軽減するためにも短期間で実施する必要がある。 ・事業開始までに時間を要するのか。早く取り掛かることができるのだろうか。商業系であればより早期に運営に入りたい。	・道路付けはアクセス性等に大きく影響する。 ・周辺の人口状況等を確認する必要がある。 ・沖縄県内への進出を図りたいという県外の商業施設事業者は幾社かあり、沖縄のポテンシャルは高いと考えられている。 ・エリア内で立体駐車場を整備し、商業施設利用やイベント時の来訪など、兼用できるようにする必要がある。	・民間活力の導入がどこまで提案できるか。提案の自由度が低いと参画は難しい。
問 11	官民のリスク分担や事業上想定しておくべきリスク等		・資材高騰。 ・上記のほか、働き方改革によるコスト増。これにより、工事費が 10～15%上がる想定である。 ・予算の調整はより重要となってくる。	・客層を限定してしまっは、エリアの開発の展開も狭まってしまう。一般からトップアスリートまでの利用の実現が求められる。 ・ウェルネスゾーンや憩いゾーンの整備内容の実現性に応じて、ビジネスゾーンへの商業施設参画が判断される。	・周南市の案件では事業内容に RO による改修が含まれていたが、既存施設の状況が分からず、リスク分担の協議の際に調整が大変だった。 ・既存図面があったとしても実際の状態と違うこともあるため、予測不可能なところは後々交渉できると規定したほうがよい。
問 12	基本計画策定の段階から事業へ参画することについて	意向	1. 積極的に参画したい 2. 参画したい 3. 参画は考えていない	1. 積極的に参画したい 2. 参画したい 3. 参画は考えていない	1. 積極的に参画したい 2. 参画したい 3. 参画は考えていない
		コメント	・プレイヤーでありながら、構想段階から携われるのは有難い。一方、詳細協議期間の設定、及び詳細協議期間内における民間側が無条件で離脱できるようにされたい。また、基本計画の内容以外の整備を行った場合のペナルティーの有無についても確認されたい。	・自社は商業施設に関する事業者であり、陸上競技場など複数の施設整備事業となると参画は見送ることとなる。	・競争原理が働かない。おもしろい考え方とは思う。 ・工事費の変動が予測し難いため、今の状況では合わないと考える。 ・参画についてはパートナー次第。地元の事業者でないと参画しないのではないか。
問 13	市側で整理すべき条件・内容、要望等		・リスク分担の明確化を求める。 ・スピード感ある事業の実施をお願いする。	・ビジネスゾーン以外のゾーンにおいてどのような方向性で展開されていくのか、情報を適宜整理・共有いただきたい。引き続き情報交換をお願いする。	・市としてどのような方針でキャンプ誘致するか、どのような施設が求められるか、事業の戦略をしっかりと立てたほうがよい。 ・例えば、アーバンスポーツに特化させることが出来れば全国からプレイヤーが訪れるようになる。ほかの自治体にない施設とすることで集客を図りやすくなる。全国や海外からも訪れる。 ・ネーミングライツ制度を取り入れてはどうか。施設の呼び名が決まっていれば災害時には市民の共通認識として逃げる場所が分かりやすい。

■運営事業者

設問			運営事業者 G	運営事業者 H	運営事業者 I
問 1	ゾーニング 4 案について意見	望ましい案	案 3 	案 3 	案 1 
		理由	案 4  ・出来るのであれば案 4。区域を拡大できると事業展開の可能性が広がる。 ・陸上競技場はトラックの改修を行っているため残すことを前提にする。建物の改築とあわせて一体化しコンパクトにする整備ができるとよい。	案 3  ・スポーツゾーンに特化していることで、自社最大のノウハウが活用できる。 ・単独での参画は難しいため、県内の連携できる事業者の意向によっては望ましい案も変わる。 ・核となる施設は必要。	案 4  ・ビジネスゾーンは広いほうがよい。既存施設のうち、何を残すのかがポイント。

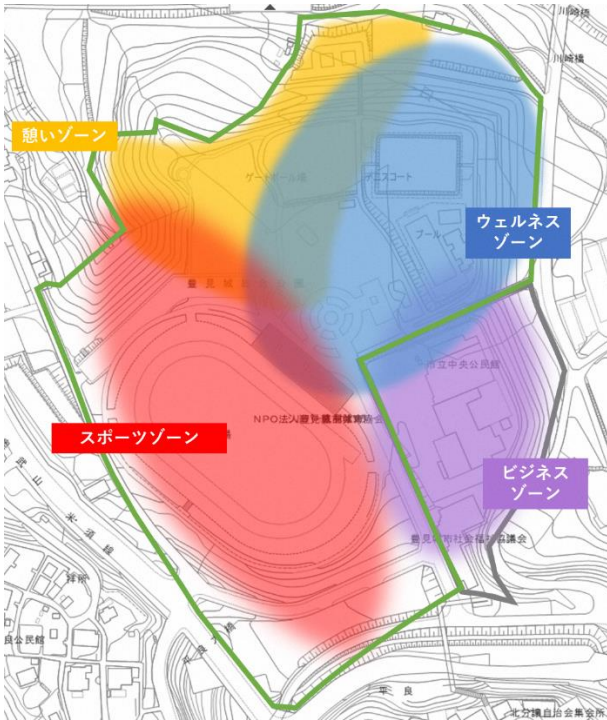
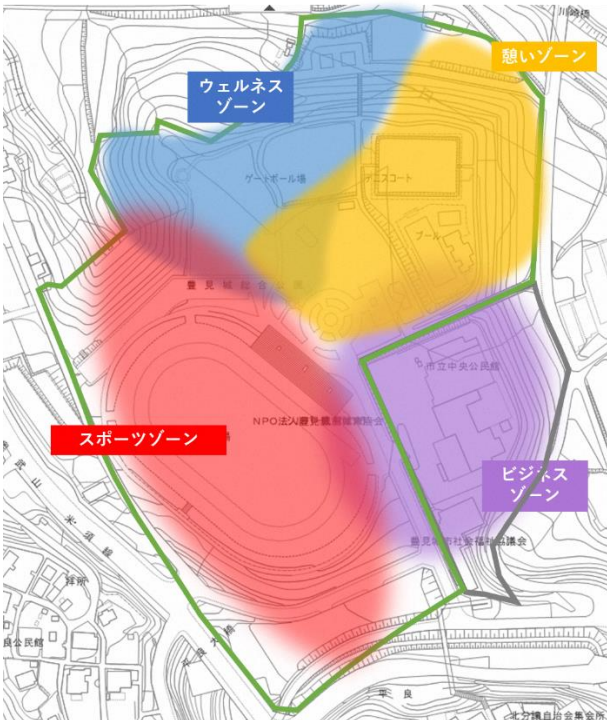
			・憩いゾーンとビジネスゾーンを広く確保されたい。		
問2	民間活力の活用の視点から望ましい整備箇所、施設整備・施設配置の留意点、懸念事項等	陸上競技場の整備	公園区域内 ・ 公園区域外 ・観覧席を改修できれば問題ない。	公園区域内 ・ 公園区域外 ・年間維持管理費（天然芝の維持管理費が大きな負担）が懸念される。 ・糸満や那覇に天然芝の競技場があるため、人工芝化して、多用途にできれば利便性は上がる。	公園区域内 ・ 公園区域外 —
		テニスコートの整備（屋内含む）	公園区域内 ・ 公園区域外 ・需要はある。屋外よりは屋内がよい。建物の一体化も検討できるとなおい。（夏場の利用促進や芝の管理等が行いやすい） ・現在の場所とは別で、ウェルネスゾーンでトレーニングやフィットネスと一体化するとよい。 ・高さが必要なので、構造上の課題など懸念。	公園区域内 ・ 公園区域外 ・老朽化した人工芝の改修が想定される。	公園区域内 ・ 公園区域外 —
		ゲートボール場の整備	公園区域内 ・ 公園区域外 ・需要があれば専用。規模は要検討である。 ・テニスコートと一緒に屋内のほうが管理が容易。 ・テニスコートをゲートボール場として兼用することも考えられる。（施設仕様は要確認）	公園区域内 ・ 公園区域外 ・利用頻度が分かると公園整備するうえでの必要性が検討できる。	公園区域内 ・ 公園区域外 —
		ジョギングコースの整備（軽運動施設）	公園区域内 ・ 公園区域外 ・樹木の根が張って危険である。 ・高齢者利用を想定すると勾配はない方がよい。 ・需要はあると思う。 ・負担が少ないようにゴム素材にする場合が多いが、維持管理の面で改修費用が高額になる。費用を事業者負担になるとリスクになる。	公園区域内 ・ 公園区域外 ・ゴムチップ舗装、人工芝化。（利用しやすい環境づくり、市民の来訪促進）	公園区域内 ・ 公園区域外 —
		公園空間の整備	公園区域内 ・ 公園区域外 —	公園区域内 ・ 公園区域外 ・安全面を踏まえた改修	公園区域内 ・ 公園区域外 —
		災害時対応施設・設備の整備	公園区域内 ・ 公園区域外 ・災害は突然訪れるため、予め協定等の締結が必要になる。	公園区域内 ・ 公園区域外 ・シェルター、簡易トイレ、非常食等の備蓄。	公園区域内 ・ 公園区域外 —
		トレーニングセンターの整備	公園区域内 ・ 公園区域外 ・アスリートを誘致するのであればウェルネスゾーンに配置することが望ましい。 ・トップアスリートはリハビリや軽負荷トレーニングでプール等を利用するため、トップアスリート向けには充実したウェルネス機能が求められる。市民向け施設・設備だとアスリートには不十分。 ・市民利用エリアとトップアスリート利用エリアを施設内で区分できるとよい。 ・フリーウェイトがあればアスリートは合宿で利用する。一般市民も使える。	公園区域内 ・ 公園区域外 ・豊見城体育館トレーニングルームとの差別化が必要。健康づくりをコンセプトとした施設にしてもよい。	公園区域内 ・ 公園区域外 —
		トレーニング・リカバリー施設（プールを含む）の整備	公園区域内 ・ 公園区域外 ・ウェルネスゾーンを充実しつつ、アスリート向けの設備があればよい。市民に開けた施設であ	公園区域内 ・ 公園区域外 ・プールの現状確認が必要。光熱費などのランニングコストにも関わる。	公園区域内 ・ 公園区域外 —

			りつつ、プロも利用できる（キャンプ時期）仕組みであればよい。		
		商業施設（飲食・物販等）の整備	公園区域内 ・ 公園区域外 ・平日・土日ではターゲットが変わるが、物販・飲食は、ビジネスゾーンがよりよいと思う。 ・公園区域内であっても対応できると思う。平日は利用者が少ないためリスクがない訳ではないが、工夫次第である。	公園区域内 ・ 公園区域外 ・周辺や市内に商業施設やスポーツ店があるため、どのような商業施設が望ましいか検討が必要。 ・公園区域内での整備については来園者数などの実績を確認する必要がある。	公園区域内 ・ 公園区域外 ・ビジネスに見合う場所で事業計画を検討することが必要。
		宿泊施設	公園区域内 ・ 公園区域外 ・会議や合宿、公民館機能を含ませた施設にするのはありえる。 ・民間施設の場合は固定資産税等の税負担が発生する。民間事業者としては利益を求めるため、減免処置があるとよい。	公園区域内 ・ 公園区域外 ・プロサッカーチームがキャンプで訪れるとすると活用時期が限定的。オフシーズンの稼働率をどう確保するかが懸念される。	公園区域内 ・ 公園区域外 ・ビジネスに見合う場所で事業計画を検討することが必要。
		ホール施設（イベント・音楽・文化）の整備	公園区域内 ・ 公園区域外 ・一定の利用者はいると思うが、どこまでの設備を求められるかによって、それに応じた提案は可能と思う。 ・施設規模や音響設備、ステージの広さなど、どこまで求められるのか。地域の会合や学校の集まり等、市民向けの施設であっても設備のグレードは変わる。 ・県内にもホール施設はあることから、その他の機能を充実したほうがよい。	公園区域内 ・ 公園区域外 ・既存中央公民館の老朽化部分及び設備の確認が必要。 ・ほかのスポーツ拠点では事例は少ない。有名アーティストの利用ではなく学生や市民団体の発表の場等での活用は想定される。	公園区域内 ・ 公園区域外 ・ビジネスに見合う場所で事業計画を検討することが必要。
		既存中央公民館（大ホール等）の整備	公園区域内 ・ 公園区域外 ・スポーツとの連携はあまり考えられない。 ・跡地に駐車場を整備したほうがよいと思う。	公園区域内 ・ 公園区域外 ・既存中央公民館の老朽化部分及び設備の確認が必要。	公園区域内 ・ 公園区域外 ・ビジネスに見合う場所で事業計画を検討することが必要。
		駐車場整備	公園区域内 ・ 公園区域外 ・空いている用地に整備したほうがよい。 ・車社会なので、駐車場は充実した方がよい。 ・ある程度はまとまって整備することが望ましい。一方で、身障者や子連れの方は利用する場所までアプローチできるような駐車場が必要と思う。	公園区域内 ・ 公園区域外 ・イベント時の有料化は想定される。 ・収益性を上げるためにコインパーキング化することも想定される。	公園区域内 ・ 公園区域外 —
		アクセス道路整備	公園区域内 ・ 公園区域外 ・高安地域側からのアクセスポイントがある方がよい。 ・機材搬入の際には関係者ルートがあるとよい。	公園区域内 ・ 公園区域外 —	公園区域内 ・ 公園区域外 —
問3	望ましい整備区分	陸上競技場の整備	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営
		テニスコートの整備（屋内含む）	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営
		ゲートボール場の整備	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営
		ジョギングコースの整備（軽運動施設）	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営
		公園空間の整備	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営 ・カフェやキャンプ施設	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営
		災害時対応施設・設備の整備	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営

		トレーニングセンターの整備	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営
		トレーニング・リカバリー施設 （プールを含む）の整備	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営 ・民設民営とする場合には、医療機関との連携などが必要。	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営
		商業施設（飲食・物販等）の整備	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営 ・施設のグレードによって運営者は変化する
		宿泊施設	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営 ・施設のグレードによって運営者は変化する
		ホール施設（イベント・音楽・文化）の整備	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営
		既存中央公民館（大ホール等）の整備	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営
		駐車場整備	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営
		アクセス道路整備	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営
問 4	民設民営の可能性のある施設の事業手法		1. 設置管理許可 2. P-PFI（都市公園） 3. 定期借地契約 4. その他 ・公共の土地を活用した事業であれば、いずれの手法も可能と思う。市民サービスとの兼ね合い次第。 ・提供するサービスや採算を含め、それらの事業手法で事業採算性が確保できるか検討することになる。	1. 設置管理許可 2. P-PFI（都市公園） 3. 定期借地契約 4. その他 ・様々な提案の中から事業を選定できるため。	1. 設置管理許可 2. P-PFI（都市公園） 3. 定期借地契約 4. その他 ・民設民営の場合は定期借地契約のほうが民間事業者はやりやすいと思われる。公共床を複合化させる場合はリース形式が想定される。
問 5	民設民営での施設整備に関する関心度		1. 積極的に参画したい 2. 参画したい 3. 参画は考えていない ・自社としての直接参画は現状難しいが、参画意向のある事業者は出てくるのではないかと思う。また、そういった事業者と組むことで参画できると考える。	1. 積極的に参画したい 2. 参画したい 3. 参画は考えていない ・老朽化した施設の問題がある箇所は修繕または改修し、サービスが滞るような状態を改善。 ・有料化できる施設は有料化して収益性を確保。	1. 積極的に参画したい 2. 参画したい 3. 参画は考えていない —
問 6	官民連携手法を導入した整備とする場合の参入可能性のある事業手法	公園区域内	1. Park-PFI 4. DBO 方式 【スポーツ、ウェルネス、憩いゾーン】 ・スポーツ公園を得意としているが、ホール機能は業種が違うので得意ではない。 ・出来る部分とできない部分があるため、連携できる事業者がいるかどうか。	1. Park-PFI or 4. DBO 方式 【公園全般】 【中央公民館】	—
		公園区域内・外	—	—	8. その他（定期借地契約） 【宿泊施設】 【商業施設】 商業施設収入で借地料捻出
		公園区域外	—	— 【商業施設】 【宿泊施設】	—
		共通	—	— 【駐車場】 アクセス 【道路】	—
問 7	事業手法に関する課題		・まとまった事業となると、参画のハードルは上がるかもしれない。 ・事業を分ける方が望ましい。	・建設事業者で連携できる内容を検討する必要がある。	・設計・施工と運営は事業と切り離れたほうがよい。分離発注のほうがコストコントロールしやすい。

				・事業にビジネスゾーンを含めると参画意向は高まると思われる。 ・新たな施設を整備するうえでは、既存施設の使用継続の有無によって整備内容が変わる。	
問 8	エリア整備事業における参画可能な業務	参画可能な業務	1. 設計 2. 施工 3. 維持管理 4. 運営	1. 設計 2. 施工 3. 維持管理 4. 運営	1. 設計 2. 施工 3. 維持管理 4. 運営
		理由	—	—	—
		懸念点	・市内事業者に限られると参画できない。 ・参加要件のハードルが気になる。	・施工業務の参画検討には既存施設の現状情報が必要。 ・運営業務の参画検討には各施設の現在の利用者数情報が必要。	—
問 9	エリア整備事業への参画意向	意向	1. 積極的に参画したい 2. 参画したい 3. 参画は考えていない	1. 積極的に参画したい 2. 参画したい 3. 参画は考えていない	1. 積極的に参画したい 2. 参画したい 3. 参画は考えていない
		コメント	—	—	—
問 10	参画を検討するうえで参考とする指標や視点、さらに参画を決定する要素、地域のポテンシャル等		・運動機能を充実させてほしい。弊社は総合運動公園の維持管理を行っているが、関連する自主事業も強みとしている。 ・スポーツゾーン、ウェルネスゾーン、憩いゾーンを重視した事業であれば参画したい。キャンプ誘致活動にも協力できる。	・現状の利用状況及び使用用途の情報。	・地域優先の提案が受け入れられるか（提案できるか）。
問 11	官民のリスク分担や事業上想定しておくべきリスク等		・物価、水光熱費、賃金などの想定を超えたペースで高騰しているなか、施設運営の利益だけでは賄えなくなった際には協議ができるようにしてほしい。リスク分担の考え方は配慮してほしい。	・水光熱費の支払について事前に明確にしたい。 ・物価上昇に対する物価スライドがどこまで反映されるか。 ・スケジュール感を十分に整理されたい。	—
問 12	基本計画策定の段階から事業へ参画することについて	意向	1. 積極的に参画したい 2. 参画したい 3. 参画は考えていない	1. 積極的に参画したい 2. 参画したい 3. 参画は考えていない	1. 積極的に参画したい 2. 参画したい 3. 参画は考えていない
		コメント	・よいものがつくられると思う。ただし、具体的にどのようなものが欲しい、という大まかな要望しか把握できないため、提案が難しくなる。希望に沿えるかどうか懸念される。 ・公園区域外の施設は、規模も含め、どのように整備されるかが懸念である。ほかの施設とも連携できるだろうか。また、長期間の運営が可能なのか。	・ある程度整備条件が定められているほうが、提案は行いやすい。 ・メリットとしては事業のスピードアップが見込めるが、デメリットとしては事前の想定が外れたときの補償。	・事前に事業情報を知っていれば参画を検討するが、公表時に事業を知った場合は参画しない。
問 13	市側で整理すべき条件・内容、要望等		・色々な要素が盛り込まれているため、もう少しコンセプトをシンプルにまとめたほうがよい。シンプルにいくとコストも含めて参画しやすくなる。	・想定事業費の試算・精査。 ・具体的な整備内容を提示することで、事業者側はより細かな提案も可能となる。 ・タータンの素材には 10 年未満で更新が必要なものもあり、それら施設部位の更新時期等が重なってくると検討の内容も変わってくる。	・事業の魅力を整理していただきたい。

■運宮事業者

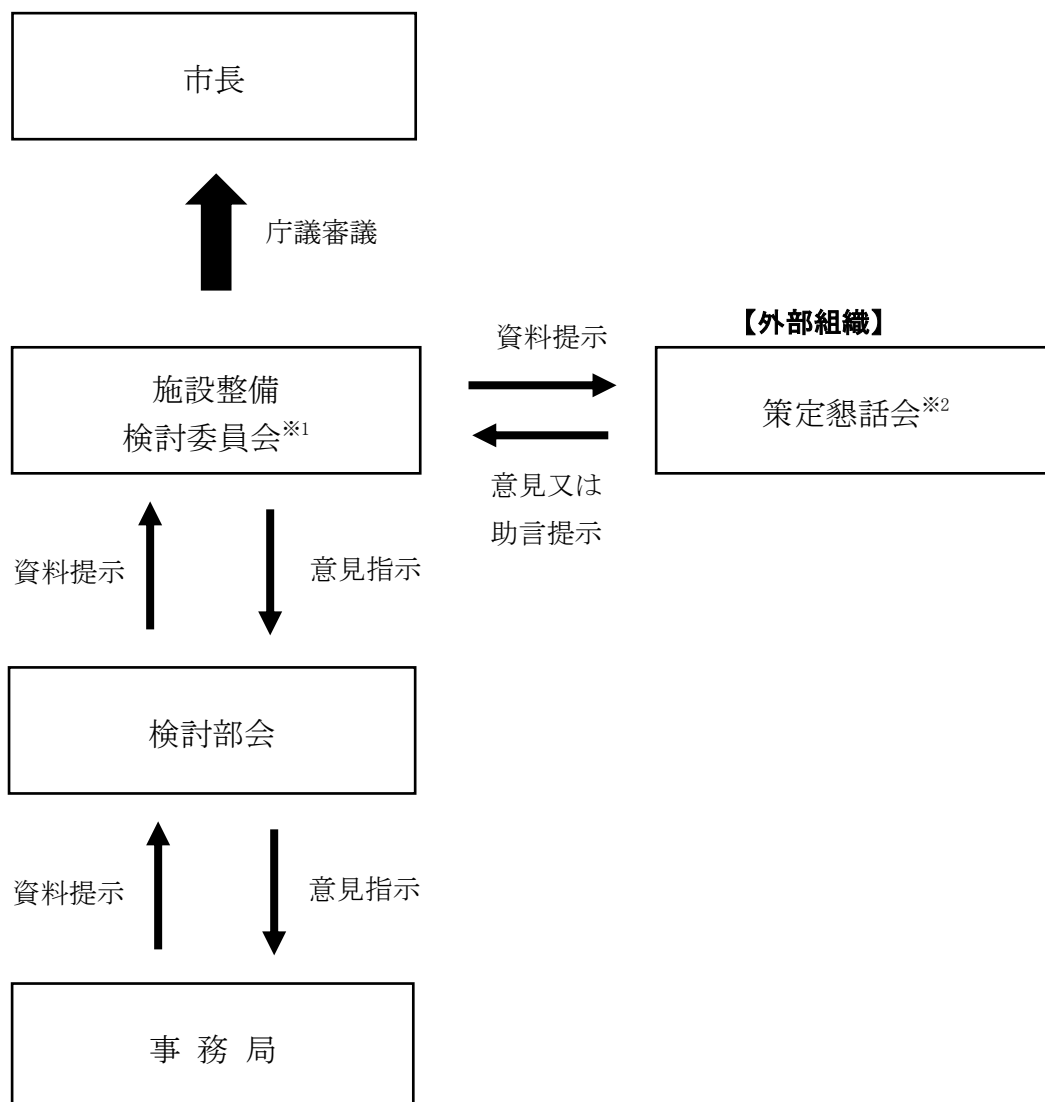
設問		運営事業者 J	
問 1	ゾーニング 4 案について意見	望ましい案	案 1  案 2  理由 ・陸上競技場ありきで合わせていくのが方向性なのかと考えていた。 ・陸上競技場は改修で、案③は大掛かりになりすぎと感じた。 ・案②でもプールの整備等は斜面地の整理が大変だと思うため、どちらかというとな案①の方が現実的。
問 2	民間活力の活用の視点から望ましい	陸上競技場の整備	公園区域内 ・ 公園区域外 ・観客席数などの整備で、大規模な大会などを実施できるようにするのがポイント。

	整備箇所、施設整備・施設配置の留意点、懸念事項等	テニスコートの整備（屋内含む）	公園区域内	・	公園区域外
		ゲートボール場の整備	公園区域内	・	公園区域外
		ジョギングコースの整備（軽運動施設）	公園区域内	・	公園区域外
		公園空間の整備	公園区域内	・	公園区域外
		災害時対応施設・設備の整備	公園区域内	・	公園区域外
		トレーニングセンターの整備	公園区域内	・	公園区域外
		トレーニング・リカバリー施設（プールを含む）の整備	公園区域内	・	公園区域外
		商業施設（飲食・物販等）の整備	公園区域内	・	公園区域外
		宿泊施設	公園区域内	・	公園区域外
		ホール施設（イベント・音楽・文化）の整備	公園区域内	・	公園区域外
		既存中央公民館（大ホール等）の整備	公園区域内	・	公園区域外
		駐車場整備	公園区域内	・	公園区域外
		アクセス道路整備	公園区域内	・	公園区域外
問3	望ましい整備区分	陸上競技場の整備	1. 公設公営	2. 公設民営	3. 民設民営
		テニスコートの整備（屋内含む）	1. 公設公営	2. 公設民営	3. 民設民営
		ゲートボール場の整備	1. 公設公営	2. 公設民営	3. 民設民営
		ジョギングコースの整備（軽運動施設）	1. 公設公営	2. 公設民営	3. 民設民営
		公園空間の整備	1. 公設公営	2. 公設民営	3. 民設民営
		災害時対応施設・設備の整備	1. 公設公営	2. 公設民営	3. 民設民営
		トレーニングセンターの整備	1. 公設公営	2. 公設民営	3. 民設民営

		トレーニング・リカバリー施設 （プールを含む）の整備	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営
		商業施設（飲食・物販等）の整備	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営
		宿泊施設	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営
		ホール施設（イベント・音楽・文化）の整備	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営
		既存中央公民館（大ホール等）の整備	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営
		駐車場整備	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営
		アクセス道路整備	1. 公設公営 2. 公設民営 3. 民設民営
問 4	民設民営の可能性のある施設の事業手法		1. 設置管理許可 2. P-PFI（都市公園） 3. 定期借地契約 4. その他 ・全体的な整備であれば2、即時性が求められるのであれば1。
問 5	民設民営での施設整備に関する関心度		1. 積極的に参画したい 2. 参画したい 3. 参画は考えていない ・自社としては難しい。本業ではない。 ・ヨガスタジオなどの専門部分であれば検討できると思うが、立地的に難しいと考える。
問 6	官民連携手法を導入した整備とする場合の参入可能性のある事業手法	公園区域内	—
		公園区域内・外	2.PFI（RO） + 5.PFI（BTO） 【全ての施設】
		公園区域外	—
		共通	—
問 7	事業手法に関する課題		・全体整備はかなり大きな事業となる。多様な事業者を集めないといけない。チームアップなどが必要。小分けの事業であれば該当事業者で実施できると思うが、組成できるのかが懸念である。
問 8	エリア整備事業における参画可能な業務	参画可能な業務	1. 設計 2. 施工 3. 維持管理 4. 運営
		理由	—
		懸念点	・沖縄県内で公共事業への参画経験がなく、地元事業者とのネットワークがない。 ・また、人的なリソースの確保が可能かどうか懸念である。
問 9	エリア整備事業への参画意向	意向	1. 積極的に参画したい 2. 参画したい 3. 参画は考えていない
		コメント	・現地法人もなく、受け入れてもらえる土壌があるのか確認したい。 ・現地の事業者と連携、あるいは下請けでの参画がより可能性あると思う。
問 10	参画を検討するうえで参考とする指標や視点、さらに参画を決定する要素、地域のポテンシャル等		・まずは赤字にならないこと。 ・参画したうえで、地域のために貢献できるかどうか。自社でなく、地元の企業でもよいという状況であれば参画は控える。自社だからこそできることで、まちの活性化につながるのであれば、参画の可能性はある。
問 11	官民のリスク分担や事業上想定しておくべきリスク等		・不可抗力のリスク。 ・災害時の分担。

			・水光熱費が上昇しており、運営開始するまでにかなりの振り幅があると思う。都度協議しながら、市の方でもってもらえると参画の意向は高まる。すべて民間事業者となっては、会社を説得するのに骨が折れる。 ・他市町村では、1年目の動きを見るなどで、その後の対応を検討する場合が多い。
問 12	基本計画策定の段階から事業へ参画することについて	意向	1. 積極的に参画したい 2. 参画したい 3. 参画は考えていない
		コメント	・運営側からすると、事業実施自体はやぶさかではないが、マイナス面、リスク面からの意見が多くなる。計画を定めて、条件まで定められている方がやりやすいと感じる。効率よく運営するうえでのアイデアも出しやすい。
問 13	市側で整理すべき条件・内容、要望等		—

(5) 本構想の策定体制



※1 豊見城市スポーツ拠点エリア等に関する施設整備検討委員会

※2 (仮称) 豊見城市スポーツ拠点エリア構想策定懇話会

(6) 本構想の策定経過

令和4年4月～ 7月	各種調査実施 ・市民アンケート ・障がい者アンケート ・関係団体等アンケート ・中央公民館利用者アンケート／管理者ヒアリング ・社会福祉センター利用者アンケート／管理者ヒアリング
令和4年8月	令和4年度第1回豊見城市スポーツ拠点エリア等に関する施設整備検討委員会 ・これまでの検討内容説明 ・各種調査結果報告 ・基本方針（案）協議
令和4年8月	令和4年度第1回（仮称）豊見城市スポーツ拠点エリア構想策定懇話会 ・策定懇話会の進め方共有 ・これまでの検討内容説明 ・各種調査結果報告 ・基本方針（案）協議
令和5年6月	令和5年度第1回豊見城市スポーツ拠点エリア等に関する施設整備検討委員会 ・基本方針決定
令和5年7月～ 8月	事業者ヒアリング実施（1回目） ・ゾーニング及び配置（案）について
令和5年8月	令和5年度第2回豊見城市スポーツ拠点エリア等に関する施設整備検討委員会 ・ゾーニング及び配置（案）協議 ・構想の名称（案）協議
令和5年9月	令和5年度第1回（仮称）豊見城市スポーツ拠点エリア構想策定懇話会 ・ゾーニング及び配置（案）協議 ・構想の名称（案）協議
令和5年10月	令和5年度第3回豊見城市スポーツ拠点エリア等に関する施設整備検討委員会 ・ゾーニング及び配置決定 ・構想の名称協議決定
令和5年11月～ 12月	事業者ヒアリング実施（2回目） ・ゾーニング及び配置案について ・事業手法について ・事業参画意向について

令和6年1月	令和5年度第4回豊見城市スポーツ拠点エリア等に関する施設整備検討委員会 ・構想（素案）決定
令和6年1月～ 2月	パブリックコメントの実施
令和6年2月	令和5年度第2回（仮称）豊見城市スポーツ拠点エリア構想策定懇話会 ・構想（素案）協議
令和6年3月	令和5年度第5回豊見城市スポーツ拠点エリア等に関する施設整備検討委員会 ・構想（案）決定
令和6年3月	庁議 ・構想（案）審議
令和6年3月	・構想決定

(7) 策定懇話会及び施設整備検討委員会名簿

本構想の策定期間（令和4年2月～令和6年3月）に（仮称）豊見城市スポーツ拠点エリア構想策定懇話会及び豊見城市スポーツ拠点エリア等に関する施設整備検討委員会の会員及び委員の氏名・所属等は次の通りです。

① （仮称）豊見城市スポーツ拠点エリア構想策定懇話会

任期：令和4年6月17日から令和6年3月31日まで

所属等	氏名（敬称略）	備考
琉球大学 国際地域創造学部 教授 ※座長	荒川 雅志	
琉球大学 工学部 教授	小野 尋子	
内閣府沖縄総合事務局 経済産業部 企画振興課長	長嶺 さおり 多和田 悟	令和4年度 令和5年度
沖縄県 文化観光スポーツ部 スポーツ振興課長	嘉数 晃	
豊見城市体育協会 会長	赤嶺 豊	
豊見城市商工会 青年部長	仲村 悟 知念 章太	令和4年度 令和5年度
豊見城市観光協会 事務局長	仲村 やよい	
一般社団法人 沖縄スポーツ関連産業協会 代表理事	青田 美奈	
沖縄振興開発金融公庫 調査部 地域連携情報室長	徳松 安史 平良 貴洋	令和4年度 令和5年度
一般財団法人 沖縄ITイノベーション戦略センター 専務理事	山田 一誠	

② 豊見城市スポーツ拠点エリア等に関する施設整備検討委員会

役職等	氏名（敬称略）	備考
豊見城市 副市長 ※委員長	小川 和美 大城 正	令和４年度 令和５年度
豊見城市 総務企画部長 ※副委員長	奥濱 真一 内原 英洋	令和４年度 令和５年度
豊見城市 政策調整監	大城 智	令和４年度
豊見城市 市民部長	大城 直人 上地 五十八	令和４年度 令和５年度
豊見城市 福祉健康部長	久手堅 勝	
豊見城市 都市計画部長	大城 堅 嘉川 聡子	令和４年度 令和５年度
豊見城市 経済建設部長	比嘉 操 城間 保光	令和４年度 令和５年度
豊見城市 教育部長	嘉川 聡子 赤嶺 太一	令和４年度 令和５年度
豊見城市 こども未来部長	森山 真由美	令和５年度
豊見城市 上下水道部長	大城 堅	令和５年度
豊見城市 消防長	高良 寛	令和５年度

森×風 Spo-Park 構想

令和 6 年 3 月

発行：沖縄県豊見城市

沖縄県豊見城市宜保一丁目 1 番地 1

電話（098）850-0364

編集：総務企画部 企画調整課